

令和6年度事業報告書

社会福祉法人 愛 隣 園

拠 点 別 目 次

1.法人総括、本部	P4～P19
2.地域共生センター	P20～P22
3.愛隣こども園	P23～P35
4.ガリラヤ荘	P36～P61
5.ガリラヤ久米	P62～P87

社会福祉法人 愛 隣 園

令和6年度 社会福祉法人愛隣園事業報告書

1. 法人の基本理念

「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」

聖書 ルカによる福音書第10章27節

2. 総括

当法人愛隣園は、創設以来「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」という基本理念のもと、利用者の方々お一人お一人の人格を尊重し、誰もが「心豊かな生活」が送れるよう支援していくことを使命として、社会福祉事業を経営してきた。

また、このような考え方のもと施設は入所者だけのものではなく、地域の人々のためにあるという思いを大切にしながら地道な取り組みを行ってきた結果、ある程度の評価はいただけるようになったところではあるが、昨今の増々深刻化する人手不足、諸物価の高騰、賃金の上昇など、これまでのような拡大一辺倒の経済社会のあり様が大きく変化している中であって、法人経営の在り方も抜本的な見直しが必要となってきた。

本年度は、社会情勢の急激な変化を踏まえ、令和3年度に策定した中期経営計画（2022年（令和4年）～2026年（令和8年）の5か年）の見直しを行うとともに、5年度に設置した「営業戦略プロジェクトチーム」、「生産性向上プロジェクトチーム」、「コスト削減プロジェクトチーム」の3つのプロジェクトチームの活動を通じ、利用者の獲得、業務の効率化、コスト削減の方策などについて、幅広く議論を重ねながら検討を行ったところである。

結果的には、介護報酬の改定とともに稼働率の向上による収入の大幅増につながり、また、5年度に導入した介護記録ソフトや眠りセンサー、事務部門での勤怠管理システムと給与ソフトの導入など ICT 化の推進により、業務の効率化は徐々にではあるが進んでおり、さらに、コスト削減の面では、職員の節約意識というものが浸透してきていることを実感している。

こういった中で、特に力を入れたのは、人材の確保・育成・定着である。人材の確保については、外国人材の受け入れ（技能実習生、留学生）と定着支援、ハローワークや人材派遣会社の活用、介護福祉士養成校等からの実習生や見学等の積極的受け入れによる施設の PR、あるいは、職員紹介制度などを活用し、人材の確保に努めた。

また、人材の育成・定着の面では、各種の社内研修の実施や外部研修への参加、定期的及び随時の職員面談や年2回の人事評価の実施、リフレッシュ休暇（7連休～9連休）の推進、短時間正職員制度の活用、さらに、処遇改善加算による賃金改善などに取り組んだ結果、職員の定着率は安定してきている。

このような取り組みの結果、令和6年度の当期資金収支差額は25,073,164円、前年度と比較すると12,400,953増となっている。

また、収支差額率を見ると、本年度が7.7%、5年度が4.2%、4年度がコロナの影響もあり1.3%となっている。また、人件費率についても、本年度が66.8%となっており、5年度70.1%、4年度72.3%と比較すると着実に改善しており、稼ぐ力が着実についてきたことは明らかである。

各事業所の状況については、愛隣こども園にあつては、当期資金収支差額7,366,668円、収支差額率13.5%、ガリラヤ荘については、当期資金収支差額36,224,491円、収支差額率は11.7%ガリラヤ久米については、当期資金収支差額は▲16,610,291円、収支差額率5.2%となっている。

なお、ガリラヤ久米にあつては、なお厳しい経営状況が続いているものの、収支差額率が5年度1.8%、4年度1.6%であったことを思うと、収支状況の改善の兆しが見えてきたことは喜ばしいことである。

一方、公益的取組の拠点として設置した地域共生センターの活動については、本年度も引き続き、ガリラヤ荘での「おげんきですか」の発行や「ほっこり喫茶」の営業、「えがお食堂」の開催などに取り組むとともに、また、久米においては「ふらりカフェ」や「ミニふらりカフェ」の開催などを実施し、これらの活動も定着しつつある。また、こども園においても「地域子育て支援事業」を通じて子育て家庭を地域で支える取り組みを行っているところである。

前述のとおり本年度の決算状況を見ると、コロナ禍以降低迷してきた当法人にとってようやく反転攻勢に転じるきっかけをつかんだとは言えるものの、相変わらず現状は厳しいものがあり、これからがまさに正念場と言っても過言ではない。

人材の確保、ICT化の推進による業務の効率化・生産性の向上、職員のやる気を引き出す新たな給与システムの構築、働きやすい職場環境づくりなど、取り組むべき課題は枚挙にいとまがないほどであり、次年度は、これらの課題解決に向け職員一丸となつて一つずつ具体的な取り組みを進めていきたいと考えている。

3. 事業の概要

【沿革】

- ・ 1930 年（昭和 5 年） 松山市神田町に三津キリスト教会附属保育（託児）事業所開設
- ・ 1949 年（昭和 24 年） 4 月 日本キリスト教団三津教会附属愛隣保育園開園
- ・ 1967 年（昭和 42 年） 8 月 社会福祉法人「愛隣保育園」の法人認可
- ・ 1972 年（昭和 47 年） 11 月 社会福祉法人「愛隣園」と名称変更
- ・ 1973 年（昭和 48 年） 4 月 現東温市松瀬川に特別養護老人ホーム「ガリラヤ荘」（定員 50 名）開設
- ・ 1977 年（昭和 52 年） 4 月 特別養護老人ホーム「ガリラヤ荘」増設（定員 80 名）
- ・ 2000 年（平成 12 年） 4 月 「ガリラヤ荘」介護老人福祉施設の指定
- ・ 2008 年（平成 20 年） 11 月 「ガリラヤ荘」東温市南方 1766 番地 1 へ新築移転
- ・ 2016 年（平成 28 年） 4 月 「愛隣保育園」松山市三津三丁目 6 番 30 号へ新築移転
- ・ 2017 年（平成 29 年） 4 月 「愛隣保育園」幼保連携型認定こども園移行により「愛隣こども園」に名称変更
- ・ 2017 年（平成 29 年） 5 月 松山市久米窪田町 667 番地 1 に高齢者総合福祉施設「ガリラヤ久米」開設
- ・ 2018 年（平成 30 年） 7 月 法人の主たる事務所を三津の「愛隣こども園」から久米の「ガリラヤ久米」に移転
- ・ 2021 年（令和 3 年） 6 月 「地域共生センターあいりん」設置

【事業】

事業所名	施設長	所在地	定員等
愛隣こども園	羽藤美知子	松山市三津三丁目 6 番 30 号	66 名
ガリラヤ荘	高橋 雅志	東温市南方 1766-1	特養 80 名、ショートステイ 20 名 デイサービス 35 名、その他居宅介護支援事業所、 在宅介護支援センター、訪問介護を運営
ガリラヤ久米	佐々木 忍	松山市久米窪田町 667-1	特養 29 名、ショートステイ 10 名、 グループホーム 18 名、介護付有料 35 名、デイサービス 18 名、その他居宅 介護支援事業所を運営

4. 理事会、評議員会等の開催

(1) 役員・評議員等

【役員：理事 6 名、監事 2 名】

理事長	佐々木信也	理 事	佐々木 忍
理 事	西川 潤子	監 事	和田 政也
理 事	長谷川 寿	監 事	川中 国和
理 事	羽藤美知子		
理 事	高橋 雅志		

【評議員 7 名】

評議員	田坂 信一	評議員	乗松 健二
評議員	二宮 秀生	評議員	杉野 典子
評議員	野村 忠秀	評議員	丹 紀代
評議員	別府 頼房(3/9 死去)		

【評議員選任委員】

評議員選任委員	形上 哲也	評議員選任委員	砂子 治幸
評議員選任委員	西山 裕一		
評議員選任委員	川中 国和		
評議員選任委員	小原 伸広		

(2) 理事会

開催年月日	出席者数		議 案
	理事	監事	
令和 6 年度 第 1 回理事会 6 月 11 日(火)	6 名	2 名	【決議事項】 第 1 号議案 令和 5 年度事業報告について 第 2 号議案 令和 5 年度計算書類（決算報告）について —報告事項— 令和 5 年度監事監査報告について 第 3 号議案 愛隣こども園運営規程の一部改正について 第 4 号議案 令和 6 年度定時評議員会の日程及び議案について

			—報告事項— 1. 元河野小児科医院の活用について 2. 現況報告（本部・こども園・ガリラヤ荘・ガリラヤ久米）
令和6年度 第2回理事会 10月22日（火）	6名	2名	【決議事項】 第1号議案 給与規程等の一部改正について —報告事項— 1. 令和6年度上半期収支状況及び6年度決算見込みについて 2. 理事長の職務執行状況について 3. ガリラヤ荘及びガリラヤ久米の行政指導監査結果について 4. 現況報告（本部・こども園・ガリラヤ荘・ガリラヤ久米）
令和6年度 第3回理事会 12月18日（火）	6名	2名	【決議事項】 第1号議案 令和6年度第一次補正予算（案）について 第2号議案 準職員にかかる就業規則の一部改正について 第3号議案 令和6年度第2回評議員会の日程及び議案について —報告事項— 1. 地域共生センターあいりん整備計画について 2. ケア・アシスタント制度の導入について 3. 現況報告（本部・こども園・ガリラヤ荘・ガリラヤ久米）
令和6年度 第4回理事会 令和7年 3月11日（火）	6名	2名	【決議事項】 第1号議案 令和6年度第二次補正予算（案）について 第2号議案 令和7年度理事長報酬（案）について 第3号議案 令和7年度事業計画（案） 第4号議案 令和7年度当初予算（案）について 第5号議案 評議員選任委員の改選について 第6号議案 諸規程の一部改正について 第7号議案 運営規程の一部改正について 第8号議案 令和6年度第3回評議員会の日程及び議案について —報告事項— 1. 令和7年度補正対応について 2. 理事長の職務執行状況について 3. 愛隣こども園指導監査結果について 4. 現況報告（本部・こども園・ガリラヤ荘・ガリラヤ久米）

(3) 評議員会

開催年月日	出席者数		議 案
	評議員	役 員	
令和6年度 定時評議員会	5名 欠席	理事 6名	【報告事項】 令和5年度事業報告 【決議事項】

6月25日(火)	2名	監事 2名	第1号議案 令和5年度計算書類等(決算報告)の承認について 報告事項 令和5年度監事監査報告について 【報告事項等】 1. 元河野小児科医院の活用について 2. 現況報告(本部・こども園・ガリラヤ荘・ガリラヤ久米)
令和6年度 第2回評議員会 令和7年 1月30日(木)	6名 欠席 1名	理事 6名 監事 2名	【決議事項】 第1号議案 令和6年度第1次補正予算(案)の承認について 【報告事項等】 1. ガリラヤ荘及びガリラヤ久米の行政指導監査結果について 2. 地域共生センターあいりん整備計画について 3. ケア・アシスタント制度の導入について 4. 現況報告(本部・こども園・ガリラヤ荘・ガリラヤ久米)
令和6年度 第3回評議員会 令和7年 3月25日(火)	6名 欠席 2名	理事 6名 監事 2名	【決議事項】 第1号議案 令和6年度第2次補正予算(案)について 第2号議案 令和7年度理事長報酬(案)について 第3号議案 令和7年度事業計画(案)について 第4号議案 令和7年度当初予算(案)について 【報告事項等】 1. 令和7年度補正対応について 2. 愛隣こども園の行政指導監査結果について 3. 育児・介護規程の一部改正について 4. 評議員選任委員の一部改選について 5. 現況報告(本部・こども園・ガリラヤ荘・ガリラヤ久米)

5. 監事監査

令和6年6月4日(火)に、和田政也及び川中国和の両監事により令和5年度事業報告及び当該年度に係る計算書類関係に基づき業務及び財務の状況について監査が実施された。

6. 本部事務局体制

局長、次長、総務企画係長1名、事務職員2名の計5名体制で、法人運営のほか財務会計、人事労務、企画等の事務を処理。そのほか、久米の事務職員2名を本部事務局兼務とし、会計及び人事労務を担当。

- ・法人運営：理事会、評議員会の運営等
- ・財務会計：決算、予算管理、財産管理、経理等
- ・人事労務：新卒採用、人事管理、労務諸規程の制定・変更等、研修、勤怠管理、給与支給等
- ・経営企画：法人全体及び各事業所の経営分析、中期経営計画の策定、その他各種企画立案

7. 会議等の開催

(1) 幹部会（理事長、事務局長、園長、施設長、地域共生センター長、事務局次長）

開催日	議 事 内 容
第1回 4月10日（水）	1. 4月の行事予定について 2. 昇給・昇格・人事異動について 3. 6年度の会議等の予定について (理事会、評議員会、互助会、衛生委員会、法人研修等)
第2回 5月8日（水）	1. 5月及び6月の行事予定について 2. 処遇改善手当の支給方法について 3. 収支改善に向けた具体的取組みについて 4. 7月人事異動の実施について 5. その他（電力料金、喀痰吸引研修）
第3回 6月5日（水）	1. 6月及び7月の行事予定について 2. 令和5年度決算状況について 3. 処遇改善の手当の支給方法について 4. 6年度人事異動について 5. デジタル人材（ITリーダー）の育成について 6. その他 ・ 元河野小児科医院の活用方策 ・ 定額減税の仕組み ・ 令和6年度第1回経営会議（6月28日（金）13時30分～）
第4回 7月3日（水）	1. 7月及び8月の行事予定について (BCP研修、衛生委員会、管理職研修) 2. 給与制度の見直しについて 3. その他 ・ 外国人の雇用（技能実習関係） ・ 会計処理の手順 ・ 本部事務局事務分掌表
第5回 8月5日（月）	1. 8月及び9月の行事予定について 2. 令和6年4月～8月分の執行状況について 3. 洗濯及び給食の業務委託費の値上要請について 4. その他（デジタル研修、権利擁護委員会等の日程）
第6回 9月3日（火）	1. 9月及び10月の行事予定について 2. 令和6年度4月～8月の収支状況について 3. 職員の処遇について 4. 意見交換 5. その他 ・ 最低賃金アップ ・ 食費の値上 ・ ガリラヤ荘指導監査結果（7/18実施）

第7回 10月3日（火）	10月及び11月の行事予定について - 第2回理事会の議題（給与規程の改正）について - 意見交換 - その他 - 電気代の推移 - 食費の値上 - 広報誌（2024年秋号）編成方針 - 留学生マッチング面接の日程 - 元河野小児科医院の活用
第8回 11月5日（火）	11月及び12月の行事予定について - 生活相談員の職務手当の見直しについて - 中期経営計画の見直しの具体的進め方について - 各事業所懸案事項について - その他 - 理事会、評議員会の日程 - 補正予算及び冬季賞与 - 本部事務局事務分掌表 - 技能実習生の受入れ - 年賀状の件
第9回 12月3日（火）	12月及び令和7年1月の行事予定について - 令和6年度4月～10月の収支状況及び第一次補正予算について - 処遇改善加算の算定要件について - 安否確認のための一斉通報システムの導入について - 非常用発電装置について - 喀痰吸引研修について - 介護助手制度の創設について - その他 - 冬季賞与 - 準職員就業規則の改正
第10回 令和7年 1月7日（火）	- 令和7年1月及び2月の行事予定について - 令和6年度4月～11月の収支状況について - 生活相談員の待遇改善及び組織体制・管理職手当の見直しについて - 中期経営計画の見直しについて - 令和7年度補助金申請の準備について - 県介護テクノロジー一定着支援事業等 - その他 6年度補正予算、7年度当初予算及び事業計画の作成 7年度人事異動、昇格 - 理事会、評議員会の今後の予定
第11回 令和7年 2月4日（火）	- 令和7年2月及び3月の行事予定について - 令和6年度4月～12月の収支状況について - 令和7年度取組み方針について

	4. 地域共生センター整備検討の進めについて 5. 中期経営計画の見直し及び令和7年度法人事業計画について 6. その他 ・第3回経営会議の開催
第12回 令和7年 3月4日（火）	1. 令和7年3月及び4月の行事予定について 2. 令和7年度取組み方 4. 地域共生センター整備について 5. 奨学金貸与規程の見直しについて 6. その他 ・ALSOKからの値上要請

（2）経営会議（理事長、理事、事務局長、園長、施設長、部長、事務局次長）

開催日	議 事 内 容
第1回 6月28日（金）	1. 令和5年度決算状況について 2. 処遇改善加算制度について 3. 人事異動の実施及び組織改正について 4. 令和6年度法人研修の実施について 5. 委員会等各種会議の開催について 6. その他（広報誌の発行等）
第2回 10月18日（金）	1. 令和6年度上半期収支状況及び決算見込みについて 2. 中期経営計画の見直しについて 3. 給与規程の見直しについて 4. その他 ・プロジェクトチームの活動状況について 営業戦略プロジェクトチーム 生産性向上プロジェクトチーム コスト削減プロジェクトチーム
第3回 令和7年 2月28日（金）	1. 令和6年度決算見込みについて ・第2次補正予算の概要 2. 令和7年度法人事業計画及び当初予算について 3. 令和7年度の取組について 4. プロジェクトチームの活動について 5. その他 ・技能実習生の受入れ

（4）事務局会議（事務局長、次長、事務職員）

開催日	議 事 内 容
第1回 11月26日（火）	1. 本部事務局事務分掌について 2. 外国人雇用について 3. 会計処理について 4. 経費削減について 5. その他（意見交換）
第2回 令和7年 2月21日（金）	1. 令和6年度第2次補正予算作成について 2. 令和7年度当初予算の作成について 3. 日常の会計処理について

(5) 危機管理委員会

危機管理委員会メンバー：理事長、本部事務局長、次長、各事業所施設長、部長、課長、防火管理者等

開催日	議 事 内 容
第1回（緊急） 8月12日（月）	1. 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）への対応について 2. 各事業所における防災対策について 3. その他

(6) ガリラヤ荘・ガリラヤ久米安全衛生委員会合同会議（安全衛生委員会メンバー）

開催日	議 事 内 容
第1回 7月21日（金）	1. 令和5年度健康診断及びストレスチェックの状況について 2. 令和6年度の取り組み方針について 3. その他

8. 事業収支及び資産の状況

【資金収支計算書】

（単位：千円）

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
① 事業活動収入	1,169,878	1,143,935	1,192,252	1,275,848
② 人件費	799,943	827,235	835,305	852,231
③ 人件費率（②/①）	68.4%	72.3%	70.1%	66.8%
④ 事業費等	278,233	302,222	307,388	325,845
⑤ 経費率（④/①）	23.7%	26.4%	25.7%	25.5%
⑥ 事業活動支出	1,078,176	1,129,457	1,142,693	1,178,076
⑦ 事業活動資金収支差額（①—⑤）	91,702	14,478	49,559	97,772
⑧ 収支差額率（⑥/①）	7.8%	1.3%	4.2%	7.7%
⑨ 施設整備等資金収支差額	▲65,830	▲83,529	▲83,106	▲66,712
⑩ その他の活動資金収支差額	▲8,166	14,946	46,219	▲5,987
⑪ 当期資金収支差額	17,706	▲54,105	12,672	25,073
⑫ 前期末支払資金残高	643,271	660,978	606,873	619,545
⑬ 当期末支払資金残高	660,978	606,873	619,545	644,618

【事業活動計算書】

（単位：千円）

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
① 介護保険事業収益	1,035,013	1,008,564	1,047,293	1,102,302
② 保育事業収益	131,206	131,414	139,300	167,610
③ その他	60	542	1,801	969
④ サービス活動収益計	1,166,279	1,140,520	1,188,394	1,270,881
⑤ 人件費	806,204	808,310	826,260	856,258
⑥ 事業費	161,239	177,806	176,664	180,198
⑦ 事務費	103,557	111,432	117,618	132,876

⑧ 利用者負担軽減額	—	—	267	42
⑨ 減価償却費	108,812	105,944	93,515	83,869
⑩ 国庫補助金等積立金取崩額	▲28,507	▲27,788	▲25,179	▲25,206
⑪ サービス活動費用計	1,151,305	1,175,704	1,189,145	1,228,056
⑫ サービス活動増減差額	14,974	▲35,184	▲751	42,825
⑬ サービス活動増減差額率 (⑫/④)	1.2%	▲3.0%	▲0.06%	3.3%
⑭ サービス活動外収益計	4,888	5,103	5,783	8,493
⑮ サービス活動外費用計	13,435	12,983	12,840	12,710
⑯ サービス活動外増減差額	▲8,547	▲7,880	▲7,057	▲4,216
⑰ 経常増減差額 (⑫+⑯)	6,427	▲43,064	▲7,808	38,608
⑱ 経常増減差額率 (⑰/④)	0.5%	▲3.8%	▲0.7%	3.0%

【資産・負債の状況】

(単位：千円)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
① 流動資産	709,032	667,976	695,803	721,575
② 固定資産	2,072,743	1,976,863	1,882,732	1,816,186
③ 資産合計	2,781,775	2,644,839	2,578,535	2,537,761
④ 流動負債	196,968	185,794	186,507	186,001
⑤ 固定負債	1,616,067	1,540,337	1,463,295	1,386,422
⑥ 負債合計	1,813,035	1,726,131	1,649,803	1,572,423
⑦ 純資産	968,740	918,708	928,732	965,338
⑧ 流動比率 (①/④)	360.0%	359.5%	373.0%	387.9%
⑨ 純資産比率 (⑦/③)	34.8%	34.7%	36.0%	38.0%

9. 法人借入金状況

(単位：千円)

事業所	借入先	利率	期首残高	当期借入額	当期償還額	期末残高
愛隣こども園	福祉医療機構	0.75%	89,960	0	4,152	85,808
	福祉医療機構	0.05%	21,840	0	1,008	20,832
	伊予銀行	0.65%	25,210	0	1,140	24,070
	小 計		137,010	0	6,300	130,710
ガリラヤ荘	福祉医療機構	1.80%	26,300	0	5,260	21,040
	伊予銀行	0.40%	365,384	0	24,768	340,616
	愛媛銀行	0.40%	52,430	0	3,540	48,890
	小 計		444,114	0	33,568	410,546
ガリラヤ久米 (有料含む)	福祉医療機構	0.95%	395,508	0	17,196	378,312
	愛媛銀行	0.45%	518,600	0	22,200	496,400
	小 計		914,108	0	39,396	874,712
合 計			1,495,232	0	79,264	1,415,968

10. 主な修繕及び備品等の購入状況（10 万円以上）

（単位：円）

区 分	内 容	金 額
愛隣こども園	西側駐車場マンホール工事 200,200 円 西側駐車場門扉工事 544,500 円 ひよこ組ロッカー 160,000 円 耐震設備工事 149,600 円 50 型液晶テレビ 184,580 円 絨毯 4 枚 176,000 円 子ども用椅子 24 台 372,000 円 ロールスクリーン工事 162,690 円 パタパタ畳 4 名 127,600 円 プール 2 個 347,600 円 子ども用机 5 個、身長体重計 463,840 円	2,888,610 円
ガリラヤ荘	眠り SCAN 2,813,712 円 デュアル周波数体重計 312,180 円 軽自動車（車いす移動車） 1,835,630 円 エレベーター修理費 1,405,800 円	6,367,322 円
ガリラヤ久米 （有料含む）	ドラム式洗濯機 148,000 円 NAS システム導入費 330,000 円 ブリサク（厨房） 218,900 円 介助式車いす 450,000 円 浄化槽ろ過配管、ポンプ入替工事 346,500 円 昇降機修理費用 610,500 円 温冷配膳車修理 117,590 円 特殊浴槽修理 103,400 円 エアコン修理（共用部） 101,200 円 エアコン設置費（実習生） 148,390 円 防犯カメラ修理 165,000 円 デュアル周波数体重計 312,180 円 DS 用中古自動車 123,860 円	3,175,520 円
合 計		12,431,452 円

11. 利用者の状況

施 設・事業名		定 員	年間延べ利用者数	1 日平均利用者数
愛隣こども園		66	24,059 人	81.8 人
ガリラヤ荘	特養入所	80	28,016 人	76.8 人
	ショートステイ	20	5,872 人	16.1 人
	デイサービス	35	8,404 人	27.1 人

ガリラヤ久米	特養入所	29	10,146 人	27.8 人
	ショートステイ	10	3,235 人	8.9 人
	デイサービス	18	4,522 人	14.6 人
	グループホーム	18	6,489 人	17.8 人
	介護付有料	35	11,836 人	32.4 人

12. 職員の状況（令和7年3月31日現在）

（1）職員配置

（単位：人）

区 分	本 部			愛隣こども園			ガリラヤ荘			ガリラヤ久米			合 計		
	期首	期末	増減	期首	期末	増減	期首	期末	増減	期首	期末	増減	期首	期末	増減
正規職員	1	3	+2	17	16	-1	74	68	-6	60	56	-4	152	143	-9
準職員	3	3	±0			±0	42	47	+5	21	23	+2	66	73	+7
非常勤/パート				13	13								13	13	±0
小計	4	6	+2	30	29	-1	116	115	-1	81	79	-2	231	229	-2
派遣										2	2	±0	2	2	±0
嘱託				3	3	±0	3(4)	3(4)	±0	1(4)	1(4)	±0	11	11	±0
合 計	4	6	+2	30	29	-1	119 (4)	118 (4)	-1	84 (4)	82 (4)	-2	244	242	-2

※嘱託のうち（4名）は、ガリラヤ荘・久米兼任

（2）職員構成（職種、事業所別）

（単位：人）

区 分		本 部	こども園	ガリラヤ荘	ガリラヤ久米	計
施設長・局長・ 園長等	正規職員		1	1	1	3
	準職員/パート	1				1
統括部長・ 次長	正規職員			1	1	2
	準職員/パート	1				1
事務職員	正規職員	3		3	2	8
	準職員/パート		1			1
保育教諭	正規職員		12			12
	準職員/パート		10			10
生活相談員	正規職員			3(1)	4(1)	7(2)
	準職員/パート	1				1
介護職員	正規職員			52	41	93
	準職員/パート			29	15	44
	派遣				2	2
看護職員	正規職員		1	4	4	9
	準職員/パート			9	4	13
主任介護支 援専門員	正規職員			(1)※部長兼務	1	1(1)
	準職員/パート					0

介護支援専門員	正規職員			2 (4)	1 (2)	3 (6)
	準職員/パート			2		2
機能訓練指導員	正規職員			1 (1)	(2)	1 (3)
	準職員/パート			(3)	(1)	0 (4)
	嘱託			3 (2)	(2)	5※兼務 2 名
管理栄養士	正規職員			1	1	2
栄養士	正規職員					0
	準職員/パート					0
調理員	正規職員		2			2
	準職員/パート		2			2
用務員等	準職員/パート			7	4	11
嘱託医			3	2 (2)	1 (2)	8※兼務 2 名
合 計	正規職員	3	16	68	56	143
	準職員/パート	3	13	47	23	86
	派遣				2	2
	嘱託		3	3 (4)	1 (4)	11※兼務 4 名

注) 兼務職員については、主たる職務へカウント

(3) 離 職 率 (1 年間の退職者数を年度当初の在籍者数で割ったもの)

区 分	当 初	退職者数	離職率	5 年度離職率	4 年度離職率
愛隣こども園	30	1	3.3%	11.1%	7.4%
ガリラヤ荘	116	11	9.5%	5.2%	6.0%
ガリラヤ久米	81	12	14.8%	11.8%	19.0%
本 部	4	0	0.0%	60.0%	25.0%
法人合計	231	24	10.4%	9.0%	11.2%

※派遣・嘱託職員は除く

(4) 年齢構成・男女の比率

区 分		～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳～	合 計
男 性		0	6	4	16	10	5	6	47
女 性		1	20	25	54	40	28	14	182
合 計		1	26	29	70	50	33	20	229
割 合		0.4%	11.4%	12.7%	30.6%	21.8%	14.4%	8.7%	100%
男女比	男	0.0%	23.1%	13.8%	22.9%	20.0%	15.2%	30.0%	20.5%
	女	100.0%	76.9%	86.2%	77.1%	80.0%	84.8%	70.0%	79.5%

※最高齢：78 歳 ※派遣・嘱託職員は除く

(5) 職員平均年齢、平均勤続年数（派遣・嘱託職員は除く）

・高齢部門 職員平均年齢

区 分	正職員		準職員		全 体	
	人 数	平均年齢	人 数	平均年齢	人 数	平均年齢
介護職	90	41.5	44	51.8	134	44.9
看護職	8	52.9	13	59.3	21	56.9
介護支援専門員	8	51.8	2	54.0	10	52.2
相談員	8	45.0	1	77.0	9	48.6
その他	13	50.7	13	67.8	26	59.3
計	127	48.4	73	62.0	200	52.4

※相談員・介護支援専門員については、兼務職員もカウント

・子育て部門（愛隣こども園）職員平均年齢

区 分	正職員		臨時・パート職員		全 体	
	人 数	平均年齢	人 数	平均年齢	人 数	平均年齢
保育教諭	12	33.9	9	41.0	21	37.0
看護師	1	26			1	26
調理員	2	45.5	2	50	4	47.75
その他	1	60.0	2	50.0	3	53.3
計	16	41.4	13	47.0	29	41.0

・平均勤続年数

高齢部門 : 8年4カ月

子育て部門（愛隣こども園）: 11年3カ月

全体 : 8年9カ月

13. 外国人の受け入れ

- ・令和6年度の外国人の受け入れについては、留学生から正規職員として採用した職員が2名（ベトナム籍1名、ネパール籍1名）。中国籍の男性1名は退職。
- ・技能実習生としては、フィリピンから令和4年11月に4名、令和7年3月に6名の計10名の女性を受け入れている。結果、外国人の雇用は、現在、4か国からの計12名となっている。
- ・なお、当法人では、令和元年度に河原医療福祉専門学校と提携して、介護を学ぶ留学生を対象に生活費及び学費の援助を目的とした奨学金貸与制度を設けたところであり、7年度には、新たに、3名の留学生（ネパール籍2名、中国籍1名）に奨学金を貸与することとしている。

※奨学金貸与制度の内容

2年間の在学中、毎月37,500円（2年間で900,000円）を貸与、卒業後は、介護福祉士の資格を取得し当法人に5年間勤務した場合、返済は免除

- ・さらに、技能実習生の受け入れにあたって、各種手続き等を担う監理団体については、フィリピンからの受け入れを専門としている「日比介護国際協同組合（平成29年11月設立）」令和元年10月に加入しているところである。

14. 職員研修

各事業所では、職員の保育や介護技術のスキルアップを目指して外部研修に積極的に参加するほか内部での専門研修をきめ細かく実施しているほか、福祉を取り巻く厳しい環境の変化に対応していくためには、これらの専門研修に加えて、以下のとおり組織運営のマネジメントスキル向上を目指した階層別研修などにも取り組んでいる。

○管理職研修

日時：令和6年10月18日（金） 13時30分～15時30分

参加者：理事長、施設長、部長、課長、係長等21名

講師：西山裕一氏（社会福祉法人福角会本部事務局長）

テーマ：「今、社会福祉法人経営に求められるものは何か」

～これまでの福角会の取り組みを通して～

○ネクストリーダー研修

日時：令和6年11月13日（水）13時30分～16時30分

参加者：中堅職員（入職5年～10年、主任、副主任を含む）10名

講師：天野淑子氏（一般社団法人スキルドエヒメ代表理事・ジョブカフェ愛媛 専任講師）

テーマ：リーダーのコミュニケーション

～前向きに主体的に仕事に取り組む～

○初任者研修

日時：令和6年9月5日（木）13時30分～16時30分

参加者：新卒職員及び入職3年までの職員 9名

講師：天野淑子氏（一般社団法人スキルドエヒメ代表理事・ジョブカフェ愛媛 専任講師）

テーマ：新入職員の接遇

～組織人としての意識をしっかりと～

○BCP研修

日時：令和6年10月1日（火）14時00分～16時00分

参加者：危機管理委員会構成メンバー 15名

講師：西川昌祐氏（中小企業診断士/ITコーディネーター、NPO法人ITC愛媛監事、介護労働安定センター専任講師）

テーマ：災害対策BCPの見直し

15. 本部事務局の状況

➤1990年代以降の福祉分野における大きな経営環境の変化に対応するため、2017（平成29）年5月のガリラヤ久米開設を契機に、措置制度下の基本であった施設・事業所を単位とした施設管理から、法人全体でトータルとして採算をとっていく法人単位の経営に移行するため、2019（平成31）年4月1日に局長、次長、新規採用の事務職2名の計4名で、本部事務局を設置。

以後、人事労務・会計等の事務処理や資金管理の一元化を推進するとともに、理事長の指示や理事会の意思決定などに基づき、法人全体の経営戦略の立案、具体化等を行ってきたところである。

➤令和6年度は、職員の入れ替わりが激しかったものの、後半には、事務職2名の採用により、局長、次長、企画人事労務担当3名（内1名：久米受付担当兼務）、会計2名（内1名：

久米会計担当兼務)の計7名(内2名兼務)と、スムーズな事務処理が可能な職員体制となった。

- 主な取組みとしては、経営会議や幹部会の開催により、法人運営の円滑化を図るとともに、人事労務に係る業務については、新たな勤怠管理システムと給与ソフト(給与明細の電子化等)を導入し、ペーパレス化を推進する一方、会計事務については、経営方針を定める際の重要な指針となる会計データを迅速に整理し、各種会議等へのタイムリーな提供を心掛けた。なお、会計システムについては、発注の際の電子決済や証拠書類の電子保存などが今後の課題として残っているが、人事労務関係では、次年度において採用・退職・社会保険等の諸手続きについてもペーパレス化し、完全ペーパレス化を実現していきたい。
- また、本部事務局の本来業務は企画管理業務にあることを常に意識し、今後は、人事労務・会計等の的確な事務処理はもとより、特に、法人全体を俯瞰した企画管理業務の処理能力を高めるため、事務局職員個々のスキル・専門性の向上を図っていききたいと考えている。

R6年度 地域共生センターあいらんの活動実績（令和6年4月～令和7年3月）

Ⅰ. ガリラヤ荘の取り組みについて

ほっこり喫茶の内訳			在宅介護支援センター
年 月	デイサービス利用者	地域住民および面会家族	
R6 4月	ほっこり喫茶(6回) (92人)		・「おげんきですか」第9号発行(4月) 令和6年度が始まります!! (制度や法律が変わり、私たちの生活にも影響が出ます)
R6 5月	ほっこり喫茶(6回) (93人)		
R6 6月	ほっこり喫茶(6回) (94人)		
R6 7月	ほっこり喫茶(6回) (85人)		・「おげんきですか」第10号発行(7月) ガリラヤ荘で働く専門職の紹介
R6 8月	ほっこり喫茶(6回) (93人)		
R6 9月	ほっこり喫茶(6回) (90人)		
R6 10月	ほっこり喫茶(6回) (104人)	家族 (3人)	・えがお食堂 (深まりゆく秋を楽しみませんか!!) 10月12日 (土) 15:30～17:00ガリ荘近 隣住民 (6人) ・「おげんきですか」第11号発行(10月) あなたのそばのキラキラ人☆彡
R6 11月	ほっこり喫茶 (6回) (114人)	家族 (6人)	
R6 12月	ほっこり喫茶(6回) (124人)	家族 (4人) 地域住民 (4人)	
R7 1月	ほっこり喫茶(3回) (58人) ※ 1/9～1/11はインフルが蔓延したため中止	家族 (1人) 地域住民 (2人)	・「おげんきですか」第12号発行(1月) 已年生まれの年男・年女と100歳以上の長寿者特集
R7 2月	ほっこり喫茶(6回) (123人)	家族 (2人) 地域住民 (3人)	
R7 3月	ほっこり喫茶(6回) (111人)	地域住民 (3人)	

具体的取組について

①第3回えがお食堂は令和6年10月12日 (土) 15:30～17:00にガリラヤ荘駐車場で実施した。

初めての試みで、ガリラヤ荘周辺住民にチラシを配布 (約400部) で参加者を募った。送迎なしということで、自分で来られる方を対象にした。なかなか締め切りまでの電話申し込みは少なく、知り合い等に声掛けをした結果、8名は集まったが、当日にキャンセル等があり、**6名の参加者とスタッフ12名**でオープンした。

気温は24度、風は少し強かったが、チラシのサブタイトル「深まりゆく秋を楽しみませんか!!」にふさわしい秋空のもと、えがおがいっぱい、お腹がいっぱい、参加者とスタッフの話がいっぱい、焼き鳥がいっぱい、

あっという間の1時間30分だった。

参加者に感想や意見を聞くと全員が「楽しかった、良かった」だったが、中には「毎日一人で寂しい」という方もいた。こういう人のために開店する意義はあるも、1年に2回では少ないと感じたが、今の現状は難しい。しかし、参加者同士が携帯電話の番号を交換してお友達になった方もいた。

ガリラヤ荘を中心にどんどん輪が広がり、高齢になってもさびしいと感じなく、楽しい明るい地域になれば最高! そういう地域を目指して職員一丸となり地道に頑張っていきたい。

②「ほっこり喫茶」は、1回の利用者は大体14、5人だが、一人で実施していくのは厳しく、

ボランティアを募集しても中々応募してくれなかったが、10月から、東温市社協が養成した「**ハッピーサポーター**」のメンバーが毎回2人組で3時間手伝ってくれるようになり、非常に助かっている。デイサービスの利用者にとって好評で喜んでくれている。

令和6年12月から地域の住民にも開放しており、だいたい月2～3名利用してくれている。

中にはデイの利用者と意気投合して話が弾み、デイの利用者が帰宅の時間を忘れそうになることもある。

経営的には赤字にならないよう工夫し、薄利多売で一人100円で続けていきたい。

Ⅱ. ガリラヤ久米の取り組みについて

2025年5月23日報告

年	月	内 容
R 6	4月	ミニふらりカフェ (4月18日) 4人
R 6	5月	第5回ふらりカフェ (5月19日) (6人)
R 6	6月	ミニふらりカフェ (6月20日) (1人)
R 6	7月	ミニふらりカフェ (7月25日) (0人)
R 6	8月	
R 6	9月	第6回ふらりカフェ (9月8日) (5人)
R 6	10月	(ミニふらりカフェ) (10月17日) (1人)
R 6	11月	ミニふらりカフェ (11月14日)
R 6	12月	第7回ふらりカフェ (12月8日) (9人)
R 7	1月	ミニふらりカフェ (1月16日) (2名)
R 7	2月	ミニふらりカフェ (2月13日) (2名)
R 7	3月	第8回ふらりカフェ (3月9日) (9人)

総括

ふらりカフェは毎回チラシを500部ぐらい地域に配布して、参加者は10名足らず。さらに、カフェの最後にアンケートをとり、またそれぞれに口頭で感想を述べてもらっている。ほとんどの人が、アンケートの設問6では1. 非常に満足か 2. やや満足のどちらかに○をして、設問7では、もし差支えなければ、設問6の満足した点や不満点を具体的に書いていただけますか。と問うと 「楽しかった。また来たいです。」「運動が楽しく程よい汗をかきうれしいです。」「久しぶりに筋肉体操をしてよかったです」等書いてくれている。しかし、実際には毎回来てくれる方は決まっており、初めての方が次も来てくれることはほとんどない。何回か間をおいて久しぶりの参加者はいるが・・・

令和7年度の課題は、初めての参加者が次回のふらりカフェに継続して参加してくれるためにはどうすればいいのである。何回目の参加であるかや、ひょっとして送迎が必要なのか等アンケートの内容を精査して、分析する必要があると考える。

もう一つの課題は、第8回ふらりカフェで5歳の女の子が参加してくれたが、みんなが珍しがって質問したりして怖じ気付き泣き出し、家族が迎えにきて帰ってしまったことがあった。ふらりカフェは誰もが参加できるカフェなので、そういうケースの対応も事前に考えておくことが重要だと感じる。

添付資料【ふらりカフェについてのアンケート】

ふらりカフェについてのアンケート

2024年 月 日

このアンケートは、今後の活動に生かすために実施します。個人を特定するものでもありません。
3分程度で終わりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

設問1 あなたの性別をお伺いします。(いずれかに○)

1. 男 2. 女 3. どちらともいえない

設問2 あなたの年齢をお伺いします。(いずれかに○)

1. 10歳未満 2. 10代 3. 20代 4. 30代 5. 40代 6. 50代
7. 60代 8. 70代 9. 80代 10. 90歳以上

設問3 あなたのお住まいはどちらですか。(いずれかに○)

1. 久米窪田町 2. 平井町 3. 鷹子町 4. 高井町 5. その他 ()

設問4 今日はどのような交通手段で参加されましたか。(いずれかに○)

1. 自分で車を運転して来た 2. 公共交通機関と徒歩 3. 自転車で来た 4. 徒歩
5. 配偶者、子ども、知り合い等に車で送ってもらった 6. その他 ()

設問5 ふらりカフェがあることをどのような方法で知りましたか。 該当するもの全てに○(複数回答)

1. 町内の掲示板をみた 2. チラシで知った 3. 近所の方や家族から教えてもらった
4. ケアマネから教えてもらった 5. デイサービスやヘルパーさんから教えてもらった
6. その他 ()

設問6 参加してみての感想をお聞かせください。(いずれかに○)

1. 非常に満足 2. やや満足 3. どちらとも言えない 4. やや不満
5. 非常に不満

設問7 もし差支えなければ、設問6の満足した点や不満点を具体的に書いていただけますか。

--

設問8 次回は、どのような内容だったら参加したいですか。

--

次回の開催案内をご希望する方は、お名前とお電話番号をお書きください。(希望者のみ)

お名前 :

お電話 :

以上でアンケートは終わりです。ありがとうございました。

2024年度(令和6年度)事業報告

愛隣こども園

1. 保育・教育の目的

キリスト教主義の保育・教育理念、方針、目標に基づき、松山市より委託された乳幼児を下記の法において保育・教育をおこなった。

記:児童福祉法第39条を目的とし、児童福祉施設最低基準
第5章第32条より第36条を遵守した。

理念 多くの賜物を与えられて誕生した子どもたちを、ひとりひとり大切にみつめつつ保育及び教育
することで他者と共に生きることのできる子どもに育てる。
「自分を愛するように あなたの隣人を愛しなさい」(聖書のことばから)

方針 1「地域の人々と共に」 過疎化が進み高齢者が多くなりました。地域の人々と共に交流し、
保護者の家庭を含めて共生する使命があります。
2「基本的習慣を身につけ養う」 他者と心をつなぐ道です。それは他者の人格を尊び、
人権を大切にすることを育てることでもあります。

目標 1. 基本的生活習慣を身につけよう。
2. 他の子どもとともに生きる子どもになろう。
3. 自分を豊かに表現できる子どもになろう。
4. 主体的に活動できる子どもになろう。

2. 児童数

2024年度は、定員66名に対して77名でスタートし、最終86名で終える。

定員が66名であるが、4月当初より定員を超過して受け入れ、また年度途中で育休復帰の0歳児、
緊急性のある3歳児を主に受け入れた。一時預かり事業、地域子育て支援拠点事業等の影響も
あるが、卒園児が保護者で帰ってきたり、見学の方に選んだ理由を尋ねると口コミの影響も大きい。

児童数

2025年3月31日現在

月	0歳児 3号	1歳児 3号	2歳児 3・2号	3歳児 2号 1号	4歳児 2号 1号	5歳児 2号 1号	合計 3・2号 1号	総合計	備 考
4月	4	12	15	13 3	15 0	12 3	71 6	77	内、新入園児11名
5月 ┌ 7月	4	12	15	14 3	15 0	12 3	72 6	78	3歳児1名 入園
8月	8	12	15	14 3	15 0	12 3	76 6	82	0歳児4名 入園
9月 ┌ 10月	9	12	15	14 3	15 0	12 3	77 6	83	0歳児1名 入園
11月 ┌ 12月	10	12	15	14 3	15 0	12 3	78 6	84	0歳児1名 入園
1月 ┌ 2月	10	13	15	14 3	15 0	12 3	79 6	85	1歳児1名 入園
3月	10	14	15	14 3	15 0	12 3	80 6	86	1歳児1名 入園

3. 職員数

職員の状況は、年度初めに正規1名、保育補助1名を採用した。途中退職者の2名は、精神疾患
的なことで継続は難しかった。6月、8月、9月には臨時やパート職員ではあったが採用することができ
大きな穴をあけることなく、クラス運営を行うことができた。

(参考…2025年度 正規職員1名補充)

月	園長	保育教諭			看護師	保育補助		調理員			事務員	合計			備 考
		正規	非常勤	パート		非常勤	パート	正規	非常勤	パート		正規	非常勤	パート	
4月 5月	1	20			1	2		4			1	29			保育教諭の内、正規1名、 保育補助の内、非常勤1名(4月1日)採用 保育教諭非常勤1名育休
		13	4	3	1	1	1	2	1	1	1	17	7	5	
6月	1	21			1	2		4			1	30			保育教諭パート1名(6月1日)採用
		13	4	4	1	1	1	2	1	1	1	17	7	6	
7月	1	21			1	1		4			1	29			保育補助非常勤1名(6月26日)退職
		13	4	4	1	0	1	2	1	1	1	17	6	6	
8月	1	22			1	1		4			1	30			保育教諭非常勤1名(8月1日)採用
		13	5	4	1	0	1	2	1	1	1	17	7	6	
9月 10月	1	23			1	1		4			1	31			保育教諭パート1名(9月1日)採用
		13	5	5	1	0	1	2	1	1	1	17	7	7	
11月 3月	1	22			1	1		4			1	30			保育教諭非常勤1名(11月12日)退職 保育教諭非常勤1名(11月21日)育休復帰
		13	4	5	1	0	1	2	1	1	1	17	6	7	

4. 保育・教育内容について

- 0歳児は、計画的途中入園を考えていたが、保護者の希望により、8月に1度に4名入園となる。
その時は、新入園児に手が取られたため、4月入園の子たちが、不安定になったが、フリーの職員等も対応して落ち着くことができた。担任制はとっているが、全職員で全園児に関わるということをベースにしているので、カバーができたと感じている。看護師を配置していることにより体調の変化や配慮が必要な子に対して、より丁寧に安心して対応することができた。また、保育時間が長い子が多く、そのため職員の配置も考えたり、睡眠等の生活リズムを整えることに力を注いだ。担任との愛着関係をしっかり築くこともできたと感じている。
- 1歳児は、ベテラン保育士が細やかなところまで心を配り保育することができた。一緒に組んでいた保育士が11月に退職したが、育休復帰の保育士がクラスに入り、特に影響はなくクラスの運営をすることができた。また、子どもたちがとても落ち着いていてトラブルが少ないクラスであったが、自己主張もあまりなく今後の課題と捉えている。安心できる人間関係、環境であることも園の中から自分の思いを伝えたり、友だちの思いを聞いたりできる機会を大事にしたので、今後も取り入れたい。
- 2歳児は、一人ひとりの性格がはっきりしていて子ども同士ぶつかりあったり、けんかをしたりすることが多く、また声大きいこともあり、クラス全体が賑やかな感じであった。活動に対しては積極的で、友だち同士相乗効果があり、楽しんでいるのが伝わってきた。このクラスには配置基準を多く上回る職員を配置したり、障害児に担当を一人つけて、できるだけ一人ひとりの子どもたちに寄り添えるようにした。年度末の遊戯会の行事ではそれぞれの個性が出て伸び伸びと表現ができていた。
- 3歳児はベテランと若い職員の二人担任にして、それぞれの負担を軽くした。一人ひとりにゆったりと関われる体制でスタートした。5月に父子家庭で要支援家庭の子どもを急遽入園させた。保護者支援が必要で、市を始め、児童相談所等の対応や保護者への一つ一つの対応や働きかけを園長が主になって行う。保護者も心を開き、関係性を築くことができた。子どもも特性はあるが、クラスに馴染むのは早かった。クラス全体も個々の遊びや主張から友だちと一緒に遊んだり、友だちの思いも聞くことができ始め複数の友だちとの活動や集団での活動も楽しめるようになる。
- 4歳児は男の子5人のうち4人が発達がゆっくりだったり、配慮が必要だったりする。(1名は既に吃音のリハビリを受けている)保護者の受け止め方に園との温度差を感じながら少しずつ園での様子を話したり、実際見てもらったりする中で伝えることができた。5歳児相談を案内し、3人は相談にかかることができ、それぞれ療育の施設や医療機関につながることもできた。クラス運営は配慮の必要な子に

引っ張られることもあり、加配はつけていたものの常時入っているという感じではなかったもので、中途半端なこともあったと反省する。必要な時に寄り添えるように加配のあり方を2025年度は考える。

- ・5歳児は、前年度4歳児の時の振り返りとして配慮の必要な子に担任や加配の職員の関わり方が過度に関わりすぎと保護者より話があったので、そのことを意識してクラス運営を行った。手を添えることは最低限とし、見守ることを意識する中で、子ども同士が助け合ったり、気にとめて接する様子が見られ、クラス全体も底上げできたと実感している。また、それぞれの保護者が自分の子どもだけではなく、他児の成長も一緒に喜びあえるようになったことは嬉しいことである。男児の割合が多い活発なクラスであったが日々の積み重ねが行事等に現れ、子どもたちの自信につながっていったと感じている。

5. 保護者との連携

保護者の価値観や考え方も様々であるが、保育園選びの見学時から、当園の理念や方針を伝えまた、保育・教育内容を丁寧に説明することで、十分に理解して入園してくださっている。

コドモンアプリを活用して、登降園の管理もスムーズに行うことができ、お知らせもアプリでその都度行えるので、伝え漏れや後回しがなくなり、効果があった。その分色々な話が、職員と保護者間ででき、この形が定着してきた。新入園の保護者もすぐに活用できている。

当園は保護者会があり会長、副会長、会計の三役が保護者を代表して役割を担ってくださっている。2024年度は会長のところに話があることがあり、その都度声にだしてくださったので対応することができた。

在園児、一時預かりの保護者との連携は、連絡ノートや送迎時の時間帯に日々の様子を伝えている。また相談があれば、担任や主幹保育教諭、園長が随時話をきいたり、相談にのったりしている。また、意見等はできるだけすぐに対応し、改善できることは改善したり、取り組んだ結果を伝えたりするように努めた。地域子育て支援センターの利用者の相談にも積極的にのったり、電話での問い合わせのときも親身になって話を聞くように心がけた。また、要支援家庭の保護者やシングルのお家庭には特に配慮をし働きかけるようにした。

6. 設備等について

- ・保育所施設設備整備等積立金へ4,000,000円積み立てる
- ・一般の修繕・工事、固定資産等
 - 西側駐車場マンホール工事(200,200円)
 - 西側駐車場門扉工事(544,500円)
 - ひよこ組ロッカー(160,000円)
- ・施設機能強化推進費を活用
 - 地震に備え各部屋のロッカー、ピアノの耐震(149,600円)
- ・延長保育事業補助金を活用
 - 液晶テレビ(184,580円)
 - 絨毯4枚(176,000円)、子ども用椅子14台(217,000円) 等
- ・地域子育て支援拠点事業補助金を活用
 - ロールスクリーン工事(162,690円)、パタパタ畳4枚(127,600円)
 - プール2個(347,600円)、子ども用椅子10個(155,000円)
 - 子ども用机5個(321,500円)、身長体重計(142,340円)

行事的保育・教育活動

月 日	曜日	行 事 的 保 育 ・ 教 育 活 動 他	
4月3日	水	入園式	感染症には配慮しつつ、通常の形で行う。ホールでの全園児と保護者による式は三津教会 森分望 牧師の祈りにより始まり、理事長、園長、挨拶各組担任による園児の紹介、歓迎の歌、職員の人形劇を行う。各クラスの集まり、記念写真を撮影する。保護者会の役員選出は年長児のクラスで行い、三役を決める。参加者:85名
4月15日	月	アイテムえひめダンボール恐竜展	年長児参加
5月9日	木	内科検診	医師 井上 哲志氏 15:00～16:30
5月11日	土	歓迎遠足	伊予市 しおさい公園 参加者:106名
5月17日	金	芋苗付け	祓川の芋畑に苗付けをくま組と職員で行う。(芋苗300本)
5月22日	水	歯科検診	医師 道田 里美氏 10:00～12:00
6月12日	水	花の日	三津教会で森分牧師、教会員の方々と一緒に礼拝を守る。 保護者会、園で用意したお花をクラスに分かれてご近所や、公共施設に届ける。
6月21日	金	減災教育	子どもたち、職員に減災について話をしてもらう。地震体験マットゆれたを体験する。(年中、年長児)
6月24日	月	三津浜幼稚園との交流会	(年長児が三津浜幼稚園を訪問し年長児と交流)
6月 5 8月	月 水 金	}	保育参観 9:30～13:00頃まで体験型の参観をする。
7月8日 5	月		
7月22日	月		
7月8日	月	聖カタリナ短期大学保育実習 2年生 1名来園	
7月8日	月	三津浜幼稚園との交流会	(三津浜幼稚園年長児が当園を訪問し年長児と交流)
7月24日	水	松山市指導監査	13:30～
7月27日	土	年長児モンテッチ海岸海水浴	(くま組15名 引率者:職員…7名)
8月21日	水	三津浜児童クラブと交流	13:20～14:00
8月28日	水	交通安全教室	
9月10日 5	火	}	三津浜中学校(2名)・津田中学校(3名) 2年生 職場体験
9月12日	木		
9月14日	土	敬老参観日	祖父母の方はどなたでもという形で行う。参加者:82名 子どもたちの歌やハンドベル、職員の劇、フラダンスの催し ものを楽しむ。

月 日	曜日	行 事 的 保 育 ・ 教 育 活 動 他
9月25日 }	水	人間環境大学小児看護学実習 3年生 4名来園
9月26日	木	
10月17日	木	内科検診 医師 井上 哲志氏 15:00～16:30
10月22日 }	火	人間環境大学 地域・在宅看護学実習 (計5名)
10月23日	水	
10月25日	金	派遣研修 横浜市 ゆめ和ほいくえんより来園 理事長兼園長、保育士2名
10月26日	土	
10月26日	土	運 動 会 大可賀公園で保護者はもちろん、地域の方どなたでも 9:00～12:15 という形で行う。親子ゲームをはじめ小学生、祖父母、未就園児 のゲーム等も用意する。 参加者:265名 + 地域の方々
11月8日	金	歯科検診 医師 道田 里美氏 10:00～12:00
11月9日	土	親子遠足 松山総合公園 現地集合 参加者:120名
11月12日	火	芋ほり 全クラスで祓川の芋畑で行い、そのあと給食弁当を祓川公園で食べる
11月13日	水	感 謝 祭 三津教会で森分牧師、教会員の方々と一緒に礼拝を守る。 家から持ち寄った果物・野菜をクラスに分かれてご近所や、公共施設に 届ける。
11月20日	水	角笛シルエット劇場 年長児が観劇したあと松山城に登りお弁当を食べる。
12月7日	土	愛隣・三津教会合同バザー 10:00～14:00 保護者会と一緒に計画し、三津教会からも出店する。地域の方々 にも案内する。田村裕子氏による砂絵アートをみんなで見たり、 親子で製作のコーナーや玩具で遊ぶコーナーを設ける。 (4・5歳児の手作りクッキー、職員の焼きたこ焼き、ポップコーン、わたがし、 ピザ、給食室のカレーライスの販売⇒収益は保護者会・三津教会へ)
12月21日	土	クリスマス祝会 10:00～11:30 全園児で降誕劇を行いその後礼拝をする。(三津教会森分牧師) 保護者参加者:137名
12月25日 }	水	人間環境大学小児看護学実習 3年生 5名来園
12月26日	木	
2月3日 }	月	河原学園保育実習 1年生 2名来園
2月17日	月	
1月・2月		各火曜日 … 体操教室参観日 (2歳児・年少児・年中児・年長児) 各木曜日 … 英語教室参観日 (年中児・年長児)

月 日	曜日	行 事 的 保 育 ・ 教 育 活 動 他
3月8日	土	遊戯会 9:15～11:45 子どもたちによる歌・劇・合奏を行 保護者参加者:148名
3月19日	水	くま組お別れ遠足 今治市波方公園 (くま組15名 引率者:職員…3名)
3月26日	火	くま組お別れ会 在園児が年長児を送る
3月29日	土	卒園式 10:00～11:00 卒園児家族参加者:59名
3月		新入園児面接 日程を調節し各家庭ごとに新入園児の家庭と面接を行う。

※ 誕生会 … 毎月1回 全クラスで合同でお祝いをする。

※ お弁当給食 … 毎月1回 (家庭で用意していただいた弁当箱に給食を詰めて園内、園外で食べる)

※ 避難訓練 … 毎月1回(総合訓練年2回) ※ 身体測定 … 毎月1回

▶各行事はコロナ禍前に戻り、全クラスで行うことができた。どの行事も保護者が積極的に参加されていて嬉しいことである。保育参観、体操・英語教室の参観等も日頃の様子を知ってもらえる良い機会となっているのを実感する。2024年度初めて三津教会と合同でバザーを行う。地域の方はもちろん卒園児や教会関係の方も参加してくださり、良い交わりの時となった。教会のほうからも2025年度も合同で行いたいという意向があり、11月に行う予定である。

▶養成校の実習や中学校の職場体験は受け入れを積極的に行った。学びの場を提供することの大切さを感じているが、その後の人材確保につながっていないのが残念である。

7. 特別保育事業

- ①一時預かり事業 … 家庭で保育を受けることが困難となった乳児または幼児について、主に昼間、保育所や幼稚園等で一時的に子どもを保育する事業をいう。

一時預かり保育延人数(基本は月～金 8:30～17:00 土曜保育、延長保育は要相談)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	19	19	23	27	25	29	27	30	31	31	32	30	323
延人数	200	193	201	212	170	196	206	196	199	192	180	187	2,332

参考:2023年度実人数合計:346人 延人数合計2,370人

※前年度と比較すると実人数、延人数共にやや下回っている。実人数(登録者)の変動は途中入園(他園も含め)の希望が叶ったり叶わなかったりで増減している。

2024年度は幼稚園を退園せざるを得ず、その後の施設探しで相談に来られる方が2名(年少児1名 2歳児1名)一時預かりで対応した。2名とも療育支援が必要であった。(内1名は2025年度1号で当園入園が決まる)

週に1回程度のリフレッシュでの利用もあるが、仕事はしているが入園が決まらず、やむを得ず一時預かりを利用している家庭も多い。そのため、延長保育や土曜保育を利用する家庭が増えた。他園とかけもちしての利用も5,6組ほどあった。

また、松山市で一時預かり事業を行っていた園が、事業をやめたり、縮小したり、余裕活用型に変更したり、と人材確保の観点から事業の継続が難しくなっているところもある。当園も他人事ではないと感じている。

サービスに格差(延長保育の利用、土曜保育の利用、アレルギー対応等)がないよう一時預かりを利用していただく家庭にもできるだけ丁寧に寄り添うように努めていることで、利用者からは良い評価を受けている。

- ②延長保育事業 … 延長保育とは保育園等が提供している従来の預かり時間の範囲を延長して行う保育サービスのこと。

延長保育事業延人数(基本は月～金 18:00～19:00 の利用者)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
未満児	38	37	42	40	20	37	45	45	42	35	35	56	472
3歳児	24	26	32	33	28	17	29	22	26	28	28	15	308
4歳児以上	39	63	48	53	31	42	63	53	54	52	37	49	584
合計	101	126	122	126	79	96	137	120	122	115	100	120	1,364

参考:2023年度延人数合計1,240人(未満児:630人 3歳児:169人 4歳児以上:441人)

※2023年度と比較すると延人数が100人以上増えている。特定の園児が利用することが多いのでクラス担任からの引継ぎを丁寧に、体調面等に配慮しながら担当は丁寧に保育に当たっている。

- ③地域子育て支援拠点事業 … 地域の子育て中の親子の交流促進や育児相談等を実施し、子育ての孤立感、負担感の解消を図り、全ての子育て家庭を地域で支える取組である。

▶地域交流室(センタールーム)、園庭開放 : 月曜日～金曜日 10:00～15:00

様々な玩具や絵本をそろえて親子でゆったりと自由に遊べるよう開放している。

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者	参加組	56	57	61	79	39	43	61	50	50	39	56	55	646
	子ども	60	68	70	92	51	51	71	60	62	45	69	66	765
	保護者	57	59	61	80	41	43	62	50	51	39	59	56	658

▶育児講座 : 月1回程度、製作等を中心に育児や生活が楽しくなるような内容や保護者の関心のある活動を取り入れ、園内外で実施する。

月	活動内容	利用者			月	活動内容	利用者		
		参加組	子ども	保護者			参加組	子ども	保護者
4	園庭遊び	3	3	3	10	運動会(大可賀公園)	20	21	20
5	チェーン玩具作り	5	5	5	11	読み聞かせ・音楽会	9	10	9
6	運動遊び	7	7	7	12	カレンダー作り	3	3	3
7	水遊び	8	8	8	1	運動遊び	5	5	6
8	水遊び	6	6	6	2	乗り物玩具作り	7	4	4
9	ベビーマッサージ	中止			3	絵の具遊び	3	3	3
10	運動会ごっこ	8	9	8	合 計		84	63	86
					参考:2023年度 合 計		86	89	87

※2024年度は保護者からの声をもとに、玩具作りやカレンダー作りを計画すると、大好評ですぐ予約が埋まった。ベビーマッサージは、講師の体調不良により中止になってしまったので、2025年度開催できたらと思う。

【 あかちゃん広場 】

(三津浜、高浜公民館にて0歳児対象で活動の場を提供)

月	三津浜公民館			高浜公民館		
	参加組	子ども	保護者	参加組	子ども	保護者
4	5	5	5	4	4	4
5	5	5	5	3	3	3
6	5	5	5	5	5	5
7	5	5	5	4	4	4
8	5	5	5	2	2	2
9	4	4	4	3	3	3
10	4	4	4	5	5	5
11	3	3	3	5	5	5
12	3	3	3	5	5	5
1	4	4	4	5	5	5
2	4	4	4	2	2	2
3	2	2	2	5	5	5
合計	49	49	49	48	48	48

【 親子ふれあい広場 】

(三津浜、高浜公民館にて1～3歳児対象で活動の場を提供)

月	三津浜公民館			高浜公民館		
	参加組	子ども	保護者	参加組	子ども	保護者
4	4	4	4	1	1	1
5	4	4	4	2	3	2
6	3	3	3	2	3	2
7	8	8	9	0	0	0
8	9	11	9	2	3	2
9	5	5	5	1	2	1
10	5	5	5	3	4	3
11	3	3	3	2	4	2
12				4	5	4
1	2	2	2	2	2	2
2	4	4	4	4	7	4
3	4	4	4	5	9	5
合計	51	53	52	28	43	28

【三津浜幼稚園親子ふれあい広場】

- ・9月(参加組 5組、子ども 6人、保護者 5人)
- ・10月(参加組 7組、子ども 7人、保護者 7人)
- ・12月(参加組 9組、子ども 11人、保護者 9人)
- ・1月(参加組 4組、子ども 6人、保護者 4人)
- ・2月(参加組 6組、子ども 8人、保護者 7人)

【 相談件数及び内容 】

▷情報提供 … 7件 ・他の支援センターや児童館の場所 ・一時預かりの利用の仕方 等

※2023年度に三津浜幼稚園の年長交流が始まり、そこからのつながりで、三津浜幼稚園での親子ふれあい広場を月1回程度、実施するようになった。松山市子ども家庭部こどもえがお課による「にこっと」がInstagramでイベント情報を掲載し、紹介してもらうことにより、情報を見て広場の予約、来園される方が少しずつ見られ始めている。掲載する写真や内容を工夫して、より効果ができるようにしたい。毎年好評である給食試食会では、2024年度から2組に増やしたことで、保護者同士が食事についての悩みを話されることもあり、共感される姿もあった。入園前に給食を試食したいということで予約し、子どもたちが意欲的に食べる様子を見て安心して帰られた。無料ということで驚かれる方も多い。育児講座では、園外での活動ができなかったのが、公園で遊んだり散歩したりなど、園外での活動も計画していきたい。また、講師によるベビーマッサージや、卒園児の保護者で英語に長けている方に来ていただいて、英語の絵本を読んでもらったり、歌をうたってもらったりして、英語で楽しく遊ぶ時を取り入れたい。

④障害児保育事業 … 障害児の保育を推進し障害児に対する適切な処遇の確保をする。

対象児 : 5歳児 2名 (児童発達支援放課後等デイサービスちゅーりっぷ利用)

(こども発達サポートにこら利用)

- ・ちゅーりっぷ利用児…生活の基盤は園におき、ちゅーりっぷを利用、年長児ということで2024年度は午後に利用し、小学校に上がる準備をする。
- ・にこら利用児…母親と一緒に休みの時に利用している。

4歳児 4名

- ・市民病院で吃音の相談をし、伊予病院を紹介されてリハビリ開始。
- ・3名に5歳児健診を勧め、内2名は児童発達支援放課後デイサービスちゅーりっぷの利用につながる。1名は医療機関を受診。

3歳児 1名 難聴児で鷹ノ子病院の耳鼻科で治療や訓練をしている。

2歳児 1名 ウエスト症候群という難病で、県立中央病院・療育センターで診察やリハビリを受けている。多機能型事業所コーラルを週2回利用。

配慮が必要な園児 : 3歳児 1名

- ・父子家庭で保護者自身も困難を抱えている要支援家庭である。園での様子を丁寧に伝え、保護者としての意識も高めてもらうよう関わるようにした。本児自身は長時間(11時間)園で過ごす。生活習慣をはじめできるだけ経験させたい。

※2024年度は、保護者の支援が必要なケースで、4月は一時預かりを利用してもらい5月より3歳児クラスに入園。父親一人家庭で要支援家庭となっていて地域の保健師とも情報共有をしている。また、定期的に児童相談所からも問い合わせが入る。一年間経過したが、はじめは時間にルーズだったり、信頼関係も十分ではなかったが、一年を経過する中、だいたルールも守れるようになり、行事等にも参加し、信頼関係も築けてきたと感じている。

5歳児の2名は小学校が目前となり教育相談を受けるよう働きかける。小学校で教育を受けるにあたってより良い場を支援員、保護者とともに模索した。

配慮が必要な園児と向き合う中で家庭との連携がとても重要となってくる。また職員も学びを深め一人ひとりの違いを認め適切な関わりができるようにスキルアップする必要があることを痛感している。

8. 小学校との連携

【卒園児15名】

三津浜小学校 … 3名 宮前小学校 … 7名 高浜小学校 … 2名

生石小学校 … 1名 姫原小学校 … 1名 横浜市立都田西小学校 … 1名

※三津浜幼稚園の年長児と交流を持つ。園を行き来したりお手紙を書いたりしたが、行事等で忙しくなると、機会を設けることができず反省である。また、三津浜小学校で行われたわくわくおもちゃランドも日程が合わず2024年度は参加できず残念であった。三津浜児童クラブの夏のお楽しみ会には参加でき小学生との交流が持てた。

また、引き継ぎでは、支援級の教員が園の様子を見に来てくださったり、各小学校の教員と対面や電話で個々の様子を丁寧に聞きとりしてくださる。合わせて幼保連携型認定こども園園児指導要録を各小学校に提出する。

9. 苦情及び苦情解決の状況について

※2024年度は外部に向けて報告する苦情はなかった。(ホームページ等)

※保護者から相談等はあるが苦情につながるものはなかった。

10. 職員の資質向上・育成 (参考資料:別記1)

※各職員にできるだけ今の保育情勢の研修、専門分野の研修、実技研修等に参加できるようにした。また、キリスト教夏季保育大学が2025年度愛媛で行われ、その事務局を引き受けていることより、2024年度は例年より多い3名で参加し、様々な角度から学ぶことができた。

※横浜のゆめ和ほいくえんとの交流も深まり、実際に他の園の保育を見て体験したり、反対に他園の職員に見学や体験をしてもらい情報を交換することは自分たちの保育を振り返る良い時となっている。

※職員の育成はなかなか思うようにはいかないが、確実に育ってきている職員もいることは確かである。特に正職の2年目、3年目、5年目の3人は少しずつではあるが前進している。園での自分の役割が明確になり、また自分が必要とされていることを実感しているように感じる。

30代の職員たちが自分たちの在り様を通して丁寧に関わってきてくれたことの現れかと思う。しかし、臨時職員やパート職員はどうしても意識がそこまでいっていないのが現状である。子どもや保護者のまえでは、雇用形態は関係ないことを実感できるよう、意識を高くもってもらえるように、ひとりひとりの必要性や特長を折に触れて伝えるようにした。

11. 食育活動、アレルギー対応について

※食育の取り組み

年齢別に年間食育計画を立て、園児の健やかな食習慣を培うようにした。

2024年度は後半にバイキング形式での食事を復活させた。こどもたちには適量を示したり、フードロス話をしながら、ひとりひとりに合った量で楽しく食事がとれるように意識した。極端に食べ過ぎたり、少なすぎる子はみられなかった。また、苦手な食材も自分でよそうことにより、決めた量は食べる姿も見られた。

誕生日会、給食弁当は月1回行う。

月	活 動 内 容
4月・5月	いちごの収穫 園庭のネギを収穫 5/9 魚のオニオンソースに追加 各クラスで野菜の苗を購入、苗植え 5/11 うさぎ組(3歳児)・・・きゅうり、ミニトマト 5/13 りす組(2歳児)・・・トマト きりん組(4歳児)・・・きゅうり くま組(5歳児)・・・きゅうり 祓川の畑(職員がマルチング) 5/15 芋苗を購入 5/17 芋苗つけ (保育教諭、くま組) (草引き、芋の根が付くまでは、こまめに水やりをし根付いてからは、土の乾きや苗の様子を見ながら水やりをした)
6・7・8月	6・7・8月の月・水・金で参観日を実施 (給食の試食あり) かき氷 すいか割りごっこ 海水浴 野菜の収穫 とうもろこしの皮むき 猛暑のため定期的に水やりを行う
11月	11/12 全園児芋掘り遠足(お弁当給食) 祓川の畑、園庭
12月	12/6 年中、年長児がクッキーの型抜き(ミニバザー用) 12/7 愛隣ミニバザー(カレーライス・たこ焼き・クッキー) わたあめ・ピザ・ポップコーン(三津教会) 12/25 クリスマス立食パーティー(バイキング) (サンドイッチ・鶏肉の竜田揚げ・ハンバーグ・ナポリタン・グリーンサラダ・フルーツ盛り合わせ・お菓子)
3月	3月は卒園児のリクエストメニュー 3/14 お誕生日会 マックセット(チーズバーガー、ポテトフライ、コールスローサラダ) 3/21 おでんパーティー 3/22 たこ焼き大会

※アレルギー児への対応は入園前の面接で保護者と話をし、個々の状況を把握する。

アレルギー対応が必要な園児は、かかりつけ担当医のアレルギー除去食に関する連絡票を提出してもらいその指示に従って給食を提供する。2024年度は10名に対応した。大事には至らなかったが3歳児に誤食もあり、その時は人的ミスが重なったり、職員同士の連携ミスによるものである。0歳児の誤食は、口に磁石を入れていたもので(キャラクターの大きなもの)おもちゃの見直しを行う。一時預かり利用者のアレルギー対応の子も多い。

給食は、離乳食、アレルギー食、体調によりメニュー変更様々な対応をしている。が、ひとつ間違えば命に関わるものでもある。慣れあいにならないよう、職員同士で声を掛け合い確認を怠らないようにしたい。また、保護者に伝えるときに、おことわりをするのと同時に丁寧に説明し、今後の対応策も説明する。

	年齢・性別	アレルギー	除去の状況
1	0歳男児	卵	完全除去
2	0歳男児	乳糖不耐症	牛乳そのものは除去
3	0歳男児	乳	完全除去
4	1歳男児	卵	生卵は除去
5	2歳男児	卵 バナナ	つなぎはOK (プリン・ケーキ系・菓子パン・アイス・マヨネーズ×) 令和6年6月解除 完全除去
6	2歳男児	卵	完全除去
7	3歳女児	卵 乳 小麦 キウイ	そのものは除去(プリン・ケーキ系・アイス・マヨネーズ×) 牛乳・ヨーグルト 100gOK うどん100g、カステラ1切れ、パン類OK 完全除去
8	3歳男児	卵	そのものは除去(プリン・ケーキ系・アイス×) マヨネーズ10gOK
9	3歳女児	卵 乳 小麦	そのものは除去(プリン・アイス×) マヨネーズ10gOK プリン・アイス× 牛乳100g、スライスチーズ1/2OK 令和6年12月解除 そのものは除去(うどん60gまでOK) 令和6年4月解除
10	4歳男児	卵 小麦 その他	完全除去 完全除去 (醤油・味噌のみOK) 完全除去 (軟体甲殻類・ごま・アーモンド系×)

12. ケガ・感染症について

こども園で手当てをし、保護者に報告したもの(ヒヤリハット報告書)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	参考2023年度
唇(舌)のケガ	4 1歳児1名 4歳児2名 5歳児1名		2 1歳児2名	2 0歳児1名 1歳児1名	1 0歳児1名	2 0歳児1名 2歳児1名		1 3歳児1名		3 0歳児1名 3歳児1名 4歳児1名		1 1歳児1名	16	9
打ち身等	9 1歳児4名 3歳児2名 4歳児2名 5歳児1名	5 2歳児1名 3歳児1名 4歳児3名	3 1歳児1名 2歳児1名 4歳児1名	5 1歳児3名 2歳児1名 5歳児1名	2 1歳児2名		2 0歳児1名 5歳児1名	2 0歳児2名	2 0歳児1名 5歳児1名	6 0歳児3名 1歳児1名 2歳児1名 5歳児1名	3 0歳児3名	5 0歳児2名 1歳児1名 3歳児2名	44	43
ひっかき傷	1 2歳児1名	1 3歳児1名	2 3歳児1名 5歳児1名	1 2歳児1名				2 1歳児1名 5歳児1名		4 0歳児1名 1歳児2名 5歳児1名	7 0歳児1名 3歳児1名 4歳児2名 5歳児3名	1 4歳児1名	19	28
噛み付き	2 2歳児2名	4 2歳児2名 3歳児2名	4 2歳児1名 3歳児1名 4歳児1名 5歳児1名	1 1歳児1名	3 1歳児1名 2歳児2名	2 2歳児1名 4歳児1名		2 0歳児2名	2 0歳児2名	2 0歳児1名 2歳児1名		1 1歳児1名	23	47
すり傷		1 1歳児1名				1 4歳児1名	1 1歳児1名	3 0歳児1名 3歳児2名				2 1歳児1名 5歳児1名	8	15
虫刺され			1 2歳児1名			1 2歳児1名			1 0歳児1名				3	0
つねった傷							1 3歳児1名						1	3
指(身)をつめる	1 4歳児1名			1 4歳児1名	1 2歳児1名							1 5歳児1名	4	2
誤食			1 3歳児1名				1 0歳児1名						2	1
爪のケガ								1 3歳児1名					1	0
誤薬						1 0歳児1名							1	0
切り傷		1 5歳児1名											1	0
かぶれ										1 2歳児1名			1	0
刺し傷(木片)			2 3歳児2名			1 4歳児1名						1 2歳児1名	4	2
合計	17	12	15	10	7	8	5	11	5	16	10	12	128	150

内病院を受診したもの10件(参考2023年度9件)

病院受診のケガ

▷歯で舌を噛む…1歳児 玩具の片付け中、絨毯に座ろうとした際にバランスを崩し、自分の歯で舌を噛む。噛んだ直後、割と出血があり、口を洗い、タオルで止血する。出血は止まったが、舌に横線のような傷が残し、市川歯科を受診し、様子をみることとなるが、問題なかった。

▷引っ掻き…3歳児 遊んでいる際、他児に左目の横を引っ掛かれる。わたなべ皮膚科を受診し、傷は深くなく、ワセリンを処方される。

▷虫刺され…2歳児 散歩中足を虫に刺され、赤く腫れる。翌日も赤みが引かなかったため園より竹宮皮膚科を受診する。塗り薬が処方される。

▷水筒が足の指に落ちる…4歳児 水筒を左足小指に落としてしまい、爪が青っぽくなる。三津整形を受診し、レントゲンを撮る。異常はなく爪の下が内出血していたが、自然に治癒するとのこと。

▷棘が刺さる…3歳児 広場で遊んでいた際、右手の人差し指と中指に棘が刺さる。竹宮皮膚科を受診し、棘を取ってもらう。

▷棘が刺さる…3歳児 広場で遊んでいた際、親指に棘が刺さる。竹宮皮膚科を受診し、棘を取ってもらう。

▷棘が刺さる…4歳児 広場で転倒し、右足の親指辺りに棘が刺さる。大瀬戸皮膚科を受診し、棘を取ってもらう。

▷虫刺され…0歳児 降園後に手の指が赤く腫れていることに母親が気付く。いつできたものかわからないが、翌日も腫れが続いており、園より竹宮皮膚科を受診し、虫刺されであった。

▷油性マジックで頬が赤くなる…2歳児 油性マジックが頬に付き、水と石鹸で洗う。摩擦が強すぎたのか頬が赤くなってしまった。竹宮皮膚科を受診し、塗り薬を処方してもらう。

▷棘が刺さる…2歳児 広場で遊んでいた際に、右手に棘が刺さる。竹宮皮膚科を受診し、棘を取ってもらう。

曜日別のケガの件数

	月	火	水	木	金	土	合計
午前	15	18	17	16	16	6	88
午後	9	8	6	13	4	0	40
合計	24	26	23	29	20	6	128

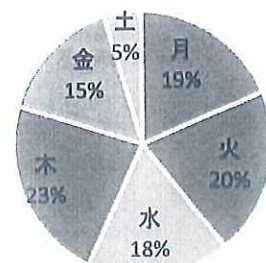
曜日別 病院を受診したもの

	月	火	水	木	金	土	合計
午前	2	1	1	4	2	0	10
午後	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	1	1	4	2	0	10

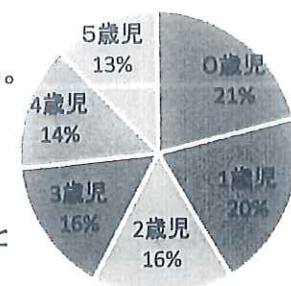
年齢別のケガ

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
27	26	21	20	18	16	128

曜日別発生状況



年齢別ケガの状況



【考察】

大事に至る怪我はなかった。

病院受診は10件であったがそのうち4件は外遊び中に棘がささったものである。以前は園で処置していたが、子どもたちの皮膚が弱くなり、その後化膿したり十分にとれないこともあるので、最初から皮膚科を受診するようにしている。棘はとても小さい柔らかいものも多く、子どもたちも気づかないうちに刺さっていることが多い。また、虫刺されで(蚊等)腫れる子も増えてきている。

基本、園で怪我をしたり、虫に刺されたりして異常がある場合は、受診することになっている。また、噛み付きが半減している。

感染症	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	参考 2023年度
インフルエンザA型								1	5 (職員2)	6 (職員1)			12 (職員3)	48 (職員14)
インフルエンザB型													0	3
コロナウイルス感染症				(職員1)						1 (職員3)	7 (職員1)		8 (職員4)	16 (職員10)
感染性胃腸炎 (ノロウイルス、ウイルス性胃腸炎、 急性胃腸炎、胃腸炎を含む)	2	1	1	6	8	1		2	4			2	27	8
嘔吐下痢													0	1
気管支炎	1	3		1		1	2		1		1	2	12	
肺炎							1						1	5
ヘルパンギーナ	5	2											7	17
溶連菌		2		1		1	1		1	6	1	1	14	19
手足口病	12				1	31	1						45	5
RSウイルス	1	2				6							9	15
アデノウイルス		2											2	10
扁桃腺炎		1											1	1
ヒトメタニューモウイルス											1	18	19	11
突発性発疹	1						1						2	0
結膜炎		1											1	0
クループ		1				1							2	0
マイコプラズマ肺炎		1				2		1	1				5	0
リンパ節炎												1	1	0
咽頭炎						1	1		2				4	0
合計	22	16	1	8	9	44	7	4	14	13	10	24	172	159

〈感染症〉 インフル、コロナは2023年度と比較すると感染者は減少していたが、感染性胃腸炎や手足口病等は感染力が強かった。重症化するようなものはなかったが、全国的に流行する感染症は遅れて同じような傾向で流行するので、気にとめておきたい。

(別記1) 研修参加状況について
2024年度 施設外研修

No.	実施月	研修会名	参加職種	研 修 内 容	場 所
1	2024.4.16	日本キリスト教保育所同盟 2024年度 四国地区理事長・園長会	園長 主幹保育教諭	1. 2023年度四国地区事業報告と決算報告 2. 2024年度四国地区事業 計画と予算 3. 2024年度地区活動についての協議 4. 2025年 日本キリスト教保育所同盟 夏季保育大学開催に関する件	徳島県
2	2024.5.1	令和6年度 発達支援実践研修(第1回)	看護師	講演「乳幼児期に育てたい『食べる力』～正常な食べる機能～」	松山市
3	2024.5.17	令和6年度 第1回松山市地域子育て 支援拠点事業研修会	保育教諭	・地域子育て相談機関についての説明 ・施設自己紹介 ・情報交換、事務連絡	松山市
4	2024.5.29 5 2024.5.31	ゆめ和ほいくえん 視察研修	園長 保育教諭	施設見学、実習、情報交換	神奈川県
5	2024.6.4	令和6年度 発達支援実践研修(第2回)	保育教諭	講演「保育における愛着の土台作りが必要な時期のこどもへの関わり」	松山市
6	2024.6.19	令和6年度 愛媛県教育・保育施設 初級職員研修会	保育教諭	I 講義「新任保育士のための接遇のココロ」 II 実技「子どもと取り組む リズムトレーニング」 III 講義・実技「わらべうたと伝承遊びで育てる心と体」	松山市
7	2024.6.15	令和6年度 第1回 松山市 新任保育士研修会	保育教諭	講演 ①保育士としての心構え ②不安や悩みの解消方法 ③保育所等の安全管理等について	松山市
8	2024.6.7	主任保育士・主幹保育教諭研修会	主幹保育教諭	講義「主任保育士・主幹保育教諭として輝くためのスキルアップ講座」	松山市
9	2024.6.26	令和6年度 聴覚障がい児担任者研修会	保育教諭	聴覚障がいの基礎知識 難聴疑似体験 講演「聴覚障がい児の理解と支援について」	松山市
10	2024.6.18	保育士・保育教諭実技研修会	保育教諭	講義「楽しく仕事を続けるために ～腰痛予防と改善～」	松山市
11	2024.6.28	令和6年度 保育従事者のための救命講習会	看護師	救命講習	松山市
12	2024.7.2	令和6年度 発達支援実践研修(第3回)	保育教諭	講演「保育における愛着の強化・拡充を図る時期のこどもへの関わり」	松山市
13	2024.6.22	第1回 松山市子ども・子育て連絡協議会研修会	保育教諭	講演「被災教育」について	松山市
14	2024.7.5	令和6年度 第2回松山市地域子育て 支援拠点事業研修会	保育教諭	講演「コミュニケーションワークショップ」 グループ討議・事務連絡	松山市
15	2024.8.21 5 2024.8.23	日本キリスト教保育所同盟 第63回「夏季保育大学」	園長 主幹保育教諭 事務員	主題講演 I「行き場のない妊産婦支援からみえるもの」 フィールドスタディーツアー 主題講演 II「人生、山あり谷あり 家族あり」	松山市
16	2024.7.31	こどもを守ろう！保育職員のための救命講習会	保育教諭	講話 実技指導「乳幼児の応急手当」 ワークショップ	松山市
17	2024.8.1	令和6年度 愛媛県保育協議会 主任保育士・主幹保育教諭研修会	主幹保育教諭	I 講義「保育の質を高めるために必要な子どもの見方・伝え方」 II 講義「保育現場を取り巻く制度の動向とこれからの主任保育士」 III 講義・演習「管理職としての自分づくり」	松山市
18	2024.8.24	令和6年度 第2回 松山市 新任保育士研修会	保育教諭	①保育士としての心構え ②不安や悩みの解消方法 ③保育所保育指針・乳幼児保育について	松山市
19	2024.10.28 5 2024.10.29	日本キリスト教保育所同盟 2024年度 四国地区職員研修会	園長 保育教諭	パワーポイント発表 ～鴨島ひかり会のあゆみ～ 施設見学 講演「あらためて今、キリスト教保育である意味を一緒に考える」	徳島県
20	2024.8.29	令和6年度 発達支援実践研修(第4回)	主幹保育教諭	講演「発達障がいの子を持つ親として」	松山市
21	2024.9.5	令和6年度 発達支援実践研修(第5回)	保育教諭	講演「子どもを社会で育てる」	松山市
22	2024.9.3	令和6年度 松山市要保護児童対策 関係機関研修会	保育教諭	講義「子どもを支援するということとは？」 ～継続的な地域の支援を目指し、事例を通して考える～	松山市
23	2024.9.7	全体研修会	保育教諭	講義「笑顔いっぱい、シアター遊び ～歌って踊って楽しもう～」	松山市
24	2024.9.21	令和6年度 松山市中堅保育士・主幹教諭研修会	保育教諭	講演「新任保育士の職場定着に向けて」	松山市
25	2024.9.5	令和6年度 新入職員接遇研修	保育教諭	講座「社会人として基本となるマナーを身につける等」	松山市
26	2024.10.5	第8回 愛媛県小児在宅医療研修会	看護師	講演「医療的ケア児の酸素療法と人工呼吸療法」「小児の気管切開と カニューレ管理について」「当院での小児在宅医療と成人医療への移行 について」講義「在宅人工呼吸について」「吸引について」「徒手排 痰手技について」「災害時の電源確保について」 ・実習(ハンズオン)	松山市
27	2024.10.11	令和6年度 松山市要保護児童対策関係機関研修会	園長	講演「不登校とひきこもり～ひきこもりの理解と支援～」	オンライン
28	2024.11.16	松山市保育会 体育実技研修会	保育教諭	実技 <テーマ> 「和・輪・WA・繋がる力は無限大∞」	松山市
29	2024.11.30	令和6年度 第4回 松山市地域子育て 支援拠点事業研修会	保育教諭	講演「親子の居場所ですむ愛着関係」 グループ討議、事務連絡	松山市
30	2024.11.29	令和6年度 障がい児保育派遣研修会	主幹保育教諭	講演「配慮が必要な子を含めたクラス運営の仕方～強度行動障害について～」	松山市
31	2024.12.4	保育所等給食・食育担当者研修会	調理員	講話「食物アレルギーの理解と対応～安全・安心な給食提供のために～」	松山市
32	2024.11.30	第2回 松山市子ども・子育て連絡協議会 研修会	主幹保育教諭 保育教諭	講話「こどもまんなか社会」(私たちの園で何ができるのか)	松山市
33	2025.1.29	松山市人権教育研究大会	園長	講演「部落問題と向き合う若者たち」 分科会「不登校とフリースクール 選択～不登校そのものは、全く問題ないという考え方～」	松山市
34	2025.1.30	令和6年度 松山市要保護児童対策 関係機関研修会	園長	子どもの脳を傷つけない子育て～マルトリートメントによる脳への 影響と回復へのアプローチ～	松山市
35	2025.1.29	令和6年度 愛媛県保育協議会 中堅保育士研修会	保育教諭	講義 I 抱きしめる親子育て ～親子を抱きしめることができる保育園とは～ 講義 II 保育って楽しい！ ～同僚や保護者と楽しむ保育とコミュニケーション～	松山市
36	2025.2.8	第3回松山市子ども・子育て連絡協議会研修会	保育教諭	講演「療育とは？集団、個別の支援について」	松山市
37	2025.2.19	令和6年度 第6回 松山市地域子育て 支援拠点事業研修会	保育教諭	グループ討議「子育て支援の現状と今後の課題について」 ～次年度の活動について検討する～	松山市
38	2025.3.25	松山市保育会代議員会	主幹保育教諭	令和6年度事業報告・会計報告 令和7年度事業計画・会計予算	松山市

2024 年度(令和 6 年度)
ガリラヤ荘 事業報告

〔事業の種類〕

I. 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設入所者生活介護)	定員 80 名
II. ショートステイ(〔介護予防〕短期入所生活介護)	定員 20 名
III. デイサービス(〔介護予防〕通所介護)	定員 35 名
IV. ホームヘルプサービス(〔介護予防〕訪問介護)	
V. 居宅介護支援事業所(居宅介護支援)	
VI. 在宅介護支援センター(委託事業)	

1. ガリラヤ荘(全体)

取組事項	取組内容
命と尊厳を守り安心して生活できる施設づくり	① 穏やかな生活を提供できるように、基礎介護力を高め、トータルケア(総合的視点による認知症ケア)の知識・技術を実践する。(目標:外部研修〔WEB 含む〕参加、フィードバックのための内部研修〔WEB・書面含む〕開催) ■ 外部研修参加 (集合研修及び WEB 研修へ参加、10.施設外研修の状況参照) ■ 内部研修開催 (各感染症対策として、書面開催または小規模開催、9.施設内研修状況参照) ② 人権尊重、プライバシー保護を徹底するとともに身体拘束廃止、虐待防止、事故防止に努める。(目標:委員会活動〔毎月〕による検討・分析・評価のもと、総合委員会〔毎月〕を開催し、情報共有、ケア方法の見直しをより多く実現する) ■ 総合委員会 ※)生産性向上委員会へ名称変更 [年間 12 回]※毎月開催 その他、各委員会活動〔年間 12 回〕※毎月開催 ■ 内部研修開催 1)ケア向上(排泄ラウンド)〔2 回〕 ※(株)光洋排泄アドバイザー派遣 2)看取りケア〔2 回〕 3)介護事故防止(リスクマネジメント)〔2 回〕 4)身体拘束等虐待防止〔2 回〕 5)衛生管理(感染症対策)〔総合訓練 2 回、勉強会 2 回(食中毒/感染症全般)〕 6)権利擁護・法令遵守〔1 回〕 ■ 朝礼(全体/各部署)の開催〔月～土〕 ③ 健康管理。服薬管理を徹底し、トータルケアを実践することで、疾病の重症化予防、再発予防に努める。(目標:記録管理のもと、専門職によるダブルチェック〔毎週〕を開催の上、医療との連携を強化。長期入院の減少、利用減少予防を目指す) ■ 利用者・入所者の状態をダブルチェックする検討会(不定期※隔週目安)開催 ■ ミールラウンドによる摂食嚥下機能検討/評価の開催〔月 1 回〕 ■ 衛生管理委員会(1-2 回/月)開催(各感染症対策会義を含む) ■ 内部研修開催〔4 回〕(うち 2 回感染対策訓練) ■ 施設内感染症発生時、拡大防止対策の実施

自立支援に視点を置き、個別性を尊重した、より良質なケアサービスを提供する	① アクティビティ(各種イベント・レクリエーション活動など)を充実させ、スタッフと共に楽しみながら、暮らしが豊かになる環境を創る。(目標:年間計画に基づき、計画的に実践する。各種感染症にかかる基本的感染対策を継続したイベント活動の調整と実地の見直し〔運動会/感謝祭等〕) ■ 全体行事について各感染症対策及び入居者の重度化に伴い中止(運動会/感謝祭等) ■ 通所及び特養短期ユニットについて、毎月小規模による行事開催 ■ 家族面会について、居室面会継続中(R5.5 から) ■ 永眠者記念会の再開(令和 6 年 11 月 24 日 出席:29 家族 43 名) ② 排泄ケア・入浴ケア・ノーリフティングケアの実践を定着させ、ケアスタッフの介護技術向上に努める。(目標:技術の定期確認と福祉用具の適切運用管理)※)ケア向上委員会の継続 ■ 排泄ケア 現場ラウンドチェック実施 ※)業務課長、ユニットリーダー、(株)光洋アドバイザー ■ ノーリフティングケア 現場ラウンドチェック実施 ※)業務課長、機能訓練指導員 ■ 多職種共同による個別困難ケースの評価と実践 ③ 在宅サービスをトータル的にサポートし、個別ニーズに応じた必要なサービスを提供できるよう支援する。(目標:在宅委員会による困難ケースの共有、地域関係期間との連携) ■ 地域包括支援センターとの連携〔各種会議・研修参加〕 ■ 関係機関との連携(東温市生活支援協議体、介護ネット東温、東温市健康相談) ■ 在宅委員会開催〔12 回〕
地域における福祉拠点となるよう、福祉また社会ニーズを捉え、地域との交流を充実する。	① 地域における公益的な取組を推進・継続する。(目標:おとこ塾(男性介護者の会)定期開催・地域サロンへの出前講座、法人地域共生センターとの連携による活動、各種感染症にかかる基本的感染対策を継続した対策のもと、可能な計画を実行する。) ■ 地域サロンへの出前講座〔0 回〕※依頼なし ■ おとこ塾(男性介護者支援の会)〔0 回〕※)感染症対策に伴い未実施 ■ 東温市介護相談員訪問〔12 回〕 ■ 地域共生「えがお食堂」〔1 回〕令和 6 年 10 月 10 日 ② 地域交流の機会を積極的に実践する。(目標:地域の幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校との交流会、各種ボランティアの受入など、各種感染症にかかる基本的感染対策を継続した対策のもと、可能な計画を実行する。) ■ 各交流会開催(松山しのめ認定こども園(花の日訪問/収穫感謝訪問)ほか) ■ 各ボランティア受入(各種レク、園芸、清掃等) ■ 東温市ハッピーサポート活動事業参画 令和 6 年 10 月から(毎月) 延 100 名 ■ 東温市婦人会歳末訪問(車椅子清掃) 令和 6 年 12 月 12 日 ■ (株)いすら清掃訪問(車椅子清掃) 令和 6 年 8 月 24 日 ■ 地域自主防災組織連携(防災合同訓練) 令和 6 年 6 月 9 日 ③ ホームページ・ブログを活用し、情報更新を積極的に行う。(目標:ホームページを中心として情報発信をする。ブログを全事業所毎月更新する)※)チラシ/パンフレットを定期的に製作し各事業所の営業活動を実践する。 ■ ブログ配信〔定期更新中〕(https://www.ailinx.jp/) ■ 広報誌〔法人広報誌年 1 回発行〕 ■ 営業用チラシ〔通所年 4 回 特養短期 1 回 製作〕 ■ 施設玄関受付デジタル掲示運用 ■ 各機関デジタルサイネージ協賛(愛媛大学医学部付属病院、東温市市役所)

スタッフ個々の基礎介護力と実践力の向上を目指す。	① 所属する全スタッフ(専門職)を対象とした研修を継続実施し、最新の知識・技術と合わせ、専門性と実践力の向上につながる機会を積極的に設ける。(目標:基礎介護テキストの活用、外部研修のフィードバック、法定研修の実施など。※集合研修・資料回覧のほか、WEB研修の開始) ■ 職員会議(内部研修会)開催 [4回] ■ 専門書籍、最新情報等の職員回覧の実施 ■ 介護職員喀痰吸引等研修 [参加者 8名] ② 新任・中途採用者教育を継続実施し、エルダーによる助言指導、定期面談を計画的に実施する。(目標:研修体制・テキストの更新及び研修開催) ■ 新人研修テキスト更新実施 ■ 入職時新人研修及び、フォローアップ研修開催 ■ エルダーによる個別面談開催
やりがいを感じ働きやすい職場づくり、離職者ゼロを目指す。	① リフレッシュ休暇による有給休暇(長期連休または分割取得)の計画的付与を行う。※別途取得要綱(内規)に基づき各事業所・部署・職種、及び個人の取得希望により可能な範囲で調整を変更する。 ■ リフレッシュ休暇取得推進(計画取得済) ② 委託機関と連携し、メンタルヘルス対策、ストレスマネジメントを積極的に取り組む。(目標:定期的な情報発信、ストレスチェック、メンタルヘルス研修実施) ■ ストレスチェック実施(NPO 法人こころ塾との従業員支援事業委託) ■ メンタルヘルスに関する最新情報提供実施 ■ メンタルヘルスフォローアップ研修(個別面談)及び新人職員個別面談開催 [各1回] ③ スタッフの成長とチームワーク向上、スキルアップの活性化を目的とし、継続的に業務改善に対する検討を図る。(目標:業務マニュアルの見直し、定期的な法人内人事異動及び施設内人事異動の実施) ■ 各種業務マニュアルの見直し確認継続実施 ■ 特養短期介護職員ユニット移動実施[令和6年5月1日]
各業務の可視化・標準化における介護ロボット・ICTなどの導入を目指し、2025年に向けた既存事業の強化を図る。	① 目的と効果を明確にした介護ロボット・ICT等の導入のもと、評価・見直しを継続する。(目標:法人中長期計画との連動【介護記録ソフト、見守りセンサーの運用開始、オンライン研修導入等】※)ICT推進委員会継続 ■ 各導入機器等の運用に関する協議(生産性向上委員会)開催 [年12回]※委員会名称変更 ■ 各通信設備・デジタル機器等の活用 [Wi-Fi、PC・タブレット] ・介護記録ソフト(絆core-内田洋行) 運用開始(特養/短期) ・見守りセンサー(眠りSCAN-パラマウントベット) 運用開始(特養/短期 54床設置済) ② 在宅サービス利用者数の増加及び入所稼働率向上に向けた魅力ある事業所づくりを進める。(短期・通所・訪問の市場拡大の検討、特養待機者の確保、各種加算の取得)※事業所説明会(相談会の開催) ■ 運営会議/在宅委員会開催(毎月)し協議検討実施。[12回] ■ 部課長会議開催[不定期/随時]し課題整理実施。[6回] ■ 各事業所・部署会議開催[1回/月]し情報共有。[12回] ※ 事業所説明会について感染症対策に伴い未実施 ③ 物価高騰対策とした、事業所毎の適正な予算編成と管理を行い、ムリ・ムラ・ムダのない運営を実践する。(目標:5S推進、取引商品の積極的見直し、消耗物品在庫管理の徹底、予算管理の情報共有)※)各種使用量の分析を行いながら積極的な経費節約・削減を実践する。

	※)運営改善委員会継続 ■ 運営会議開催(運営改善委員会を含む)し各事業所毎月の稼働実績を正確に把握。 ■ 各種消耗品等の在庫整理の見直し実施(運営会議での共有実施) ■ 節電・節水に関する職員周知の徹底と実績状況の評価分析 ■ 各種修繕に係る状況整理及び物損・紛失防止に関する職員周知の徹底
快適な居宅環境の整備をすすめ、感染症対策また防災防犯対策を強化する。	① 移転後 15 年経過による、各種設備・備品等の経年劣化に対する修繕計画を作成し、計画的に実行する。(目標:中長期計画との連動【空調設備(エアコン)、通信設備(電話・ナースコール)など]) ■ 各種洗面温水機器、居室エアコン不具合による修繕実施 ※館内空調設備の全取替保留 ■ 通信設備(外線・内線・ナースコール機器)不具合による修繕実施 ※令和7年度取替を検討 ■ 給排水設備不具合における修繕実施 ② 各種感染症予防対策を継続する。必要物品管理、基本的感染対策の徹底を行う。特に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策について徹底し、大規模クラスター発生防止に努める。(目標:各施設内感染発生「0」を目指しながら、クラスター発生時にも対応できる状況を保つ) ■ 各種感染症対策会議へ変更し定例開催のもと周知徹底事項について全職員への情報発信を継続実施。※)衛生管理委員会内 ■ 感染対策時の必要物品管理の継続。 ■ 入居者新型コロナウイルスワクチン接種の実施。 新型コロナウイルス感染症発生状況 : クラスター発生 0 件 ③ BCPに基づき、大規模災害/感染症発生に対する対策に努める。また地域(行政・地域住民(自主防災)との連携に努める。(目標:定期防災訓練・防犯訓練の実施、福祉避難所訓練の実施、地域防災活動との連携) ■ BCP(事業継続計画書)の見直しにかかる検討会議開催。 ■ 各種訓練の開催 (感染症対策に伴い一部中止、また規模縮小開催)

2. I.特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設入所者生活介護)

2.-1 入所者の状況(令和7年3月31日現在)

【入所・退所状況】

待機者数(令和7年3月末現在 40 名)

入 所			退 所		
男	女	計	男	女	計
7	17	24	5	17	22

【年齢構成】

	男	女	全体
入所者数	19	61	80
平均年齢	86.4	90.6	89.6
最高齢	100	101	-
最年少	66	70	-

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
1	0	0	0
2	0	1	1
3	1	6	7
4	7	32	39
5	11	22	33
平均	4.5	4.2	80

2.-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延日数
4 月	7	89
5 月	8	107
6 月	8	64
7 月	7	123
8 月	10	100
9 月	5	49
10 月	6	53

	実人数	延日数
11 月	8	112
12 月	12	136
1 月	8	121
2 月	7	54
3 月	9	121
合計	95	1,129
月平均	7.9	94

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	19	17
尿路感染	1	1
胆・膵・肝機能系	3	5
腸閉塞・腸炎	1	5
心疾患	8	6
脳梗塞	1	1
骨折	2	1
その他(各種感染症含)	25	17
合計	60	53

【医療管理状況】

医療行為	今年度	前年度
胃ろう	5	4
在宅酸素療法	2	2
人工肛門	0	0
尿道留置カテーテル	2	2
インシュリン注射	0	0
痰の吸引(常時)	6	6
合計	15	14

※緊急搬送回数 2 件 (前年度 1 件)

《総評:健康管理係長》

入居者の要介護度の平均が 4.3 と年々重度化が進んでいる。入居者個人の抱える疾患が非常に多く、多種多様な疾患による入院者数が増加している。また、クラスターまでには至らないが感染症発生による入院者数も 5 名となった。令和 6 年度は、水分不足や微熱の早期発見への対応不足が反省として挙げられる。令和 7 年度は介護記録ソフトを有効に活用し、異常の早期発見につながるアラート機能等を定着させ、多職種でのダブルチェックにより長期入院等の改善に努めていきたい。協力医療機関の病床が地域包括ケア病棟のため、入院期間が 30 日越えとなった入居者が年間 11 名もおられた。協力医療機関と入院者の情報共有を密にとりながら、状態状況確認に努め、退院が可能となった場合は速やかな受入を行っていきたい。

2-3 機能訓練の状況

【週間スケジュール】

	担当	月	火	水	木	金	土
午前	ユニット職員	集団体操（各ユニットにて）					
	機能訓練指導員	個別機能訓練(南 2)	ダブルチェック	個別機能訓練(中1)	個別機能訓練(中2)	個別機能訓練(南 1)	個別機能訓練(フリー)
	ユニット職員	お口の体操（各ユニットにて）					
午後	機能訓練指導員	レクリエーション:各ユニット月2回程度 クラブ活動:習字クラブ(月1回1ユニットずつ実施) 縫布クラブ(第4金曜)※R6.10再開 /俳句会(未実施)					
	理学療法士(非常勤)		個別機能訓練 宮岡PT			個別機能訓練 宮岡 PT	

【機能訓練内容】

職種	内容	
ユニット職員	生活リハビリ	離床、体位交換・除圧、ポジショニング・シーティング、口腔ケア・リハ、座位・立位訓練など、手作業・代替行動の提供など
	集団体操	朝の集団体操、お口の体操
機能訓練指導員	個別機能訓練	関節可動域訓練、ポジショニング・シーティング、口腔リハ、座位・立位訓練など
	集団活動	集団体操(朝の集団体操、お口の体操) 集団レクリエーション(音楽クラブ、風船バレーなど)
理学療法士(非常勤)	個別機能訓練	関節可動域訓練、ポジショニング・シーティング、立位、歩行訓練、生活リハビリの指導など

【外部専門家によるスーパーバイズ】

	内容
河野歯科医師	・個別の歯科治療(随時) ・「基本サービスとしての口腔衛生の管理体制」のための技術的助言・指導(年2回) ・「口腔衛生管理加算」のための口腔内チェック(月1回)
阿部歯科衛生士	・「口腔衛生管理加算」のための口腔ケア(月2回) ・「経口移行」「経口維持」のためのミールラウンド(月1回)

機能訓練実施延べ人数 ※) 介護職員による生活リハビリを除く

機能訓練内容	今年度	前年度
①身体運動機能(うち嘱託 PT)	781(709)人	737(628)人
②摂食嚥下機能	140 人(評価含)	42 人
③認知言語機能	4 人	5 人
④集団活動	1,276 人	1,108 人

《総評:機能訓練指導員》

4月からユニット職員による「口腔健康状態の評価」を開始した。今年度については、状態の悪い人や歯科等につなげるべき事例の報告には至っていない。歯科衛生士による口腔ケアにおいては、状態悪化の助言指導がみられたため、口腔内状態を把握し、異常の早期発見・早期対応につなげるための評価として周知徹底していきたい。排痰を促すための体位ドレナージュについて、看護職員を中心に多職種で取り組み、排痰を促すことで、吸引の回数が減り、肺炎での入院者の減少につながっている。また、入所時や退院時等、状態変化に応じて、食事・移乗・ポジショニング等のケア方法について、多職種による検討を実施。食事カードやポジショニングカードの活用により、介護職員のケア統一を図った。レクリエーション活動について、令和6年10月から縫布(ほうふ)クラブを再開した。最初は、ボランティアのみで活動し、クッションやクッションカバー等の補修や製作を依頼した。令和7年3月より、入所者1名も参加を開始した。今後は可能な範囲で入居者との創作活動にも取り組んでいきたい。

2-4 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	《全部門》 ■ 総合記録シートを活用したケア向上の継続実施〔記録システムの継続〕 ■ オペレーションシート(シフトマニュアル)を活用した統一したケアの実施〔業務マニュアルの継続〕 ■ 多職種連携室を情報共有拠点とした会議、ミーティングの実践〔多職種共同による情報共有〕 《ノーリフティングケア》「目的」:入所者の拘縮予防及び職員の腰痛予防のため。 1. ノーリフティングケアについて新人研修及び内部研修の開催と外部研修への参加。 2. 介護職員に対する移乗技術のラウンドチェック実施 3. 適応者に関する定期的な使用状況の確認実施。 【福祉機器の使用状況※年度末適応者数】 ● 移乗時:床走行式リフト(28人)/フレックスボード(1人)/スライディングボード(8人) ● トイレ・入浴時:スタンディングマシン(1人) 《ICT・介護ロボット》「目的」:多職種協同による業務効率化、重度化対応のため。 1. 介護記録ソフト・見守りセンサー導入に向けた職員研修の実施 2. 運用開始に向けた検討と、運用開始後の状況確認の実施 3. 医療機関利用時における情報共有 4. システム・機器等の定期点検及びメーカー等との使用状況の共有 5. 業務効率化に向けた、システム連動の検証実施。 【システム・機器等の使用状況】 ● 介護記録ソフト(絆 core-内田洋行) 特養・短期全ユニット・部署設置。 PC・タブレット機器の設置 PC6台追加設置。タブレット22台新規設置。 ● バイタル機器各種(システム連動可能機種) 新規必要数設置。 ● 見守りセンサー(眠り SCAN-パラマウントベッド) 特養 48台 短期6台 新規設置 センサー検知に伴うWi-Fi設備増設

2.-5 ユニットの取り組み

特別養護老人ホーム/短期入所

重点ケア 食事・排泄	個別対応が適切に実施され、利用者に寄り添ったケアが行われた。食事介助では遅食対応や食事姿勢の調整が実施されたが、記録管理の徹底が課題として残った。排泄ケアではナースとの連携により排便促進の工夫がされたが、皮膚観察の強化が必要とされる。また、羞恥心への配慮や同性介助の意識が保たれた一方で、職員間での対応の統一に課題が見られた。次年度は、記録管理の改善や介助の質の向上、情報共有の強化を図り、より質の高いケアを目指す。
重点ケア 認知症	認知症の利用者への対応では、独語がみられる際に好きな音楽を流すなどの工夫がされ、穏やかな環境づくりが意識された。不穏時の声掛けの質に差があり、対応の統一が課題となった。共通の呼びかけが徹底されていない場面もあり、尊厳を守るための意識向上が必要。見守りが不足する場面があり、転倒リスクを減らすための配置や対策が求められる。今後、声掛けや対応の標準化、職員間の学び合いの機会を増やし、より安定したケアを目指す。
イベント企画 及びアクティビティ	年間行事は概ね予定通り実施され、食事イベントでは利用者の満足度が高かった。一方、写真撮影のみで終わる場面があり、参加の工夫が必要。感染症等の影響で人員不足により一部のイベントが中止となり、少ない職員でも運営可能な企画を検討する必要がある。日中活動の機会が限られ、体操やレクリエーションが毎日実施できないことが課題。今後は、簡単に実施できるプログラムの導入や環境の整備を進め、利用者の活動の幅を広げる取り組みを強化していく。
ユニット環境 及び衛生管理対策	季節ごとの飾り付けは利用者の参加もあり、面会時の家族から好評を得た。居室清掃は月2回実施されたが、リビングやキッチン周りの掃除が滞る場面が見られた。感染症対策では一定の成果を上げたが、手指消毒や換気の徹底が不十分な場面もあった。便器や洗面台の清掃意識が低下しており、環境美化への意識向上が必要。今後は、掃除の重要性を再認識し、清潔な空間を維持するための具体的な取り組みを強化する。
スタッフの連携 ・情報共有	日誌やノートを活用した情報共有が実施されたが、業務多忙時には伝達漏れが発生し、ケアの統一が困難になる場面があった。職員同士の声掛けが少なくなる場面もあり、円滑な連携が課題となった。記録ソフトでの排便確認やホワイトボードの活用が進み、伝達手段の工夫が見られたものの、活用の徹底が必要。ユニット職員の勤務状況に偏りが生じ、業務分担の適正化が求められる。今後は ICT 活用を含め、情報共有の仕組みを整理し、職員間での認識の統一を進めることで、連携の強化を目指す。

2.-6 年間のユニットイベント(実績)

【中1丁目】

4月	花壇づくり	10月	秋の味覚を楽しもう(さつまいも)
5月	手作り喫茶(どら焼き)	11月	お好み焼きパーティー
6月	あんみつ作り	12月	クリスマス会
7月	麺パーティー(蕎麦・素麺)	1月	新年会
8月	夏祭り	2月	生け花(花瓶に投げ入れ)
9月	お月見団子作り	3月	お茶会

【南1丁目】

4月	パンケーキ作り	10月	ハロウィンパーティー
5月	買い物ドライブ	11月	いもたき
6月	七夕飾り	12月	ゆず湯、クリスマス
7月	たらいそうめん	1月	新年会
8月	手持ち花火	2月	節分
9月	コスモスまつり	3月	手作りおやつ

【中2丁目】

4月	散歩(日向ぼっこしよう)	10月	ミニ運動会
5月	手作りおやつを食べよう(ホットケーキ)	11月	手作りおやつを食べよう(スイートポテト)
6月	季節の花を見にいこう(ドライブ)	12月	クリスマス会を楽しもう
7月	スイカ割り	1月	新春 フライング福笑い
8月	夏祭り	2月	豆まき
9月	敬老会	3月	季節の花を見つけにいこう(ドライブ)

【南2丁目】

4月	お花見おやつ	10月	ハロウィンパーティー
5月	手作りおやつ	11月	いもたき
6月	あじさい鑑賞	12月	クリスマス会・忘年会
7月	たらいそうめん	1月	新年会
8月	スイカをいただく	2月	チョコレートフォンデュ
9月	外出(ポエムスイーツパーク)	3月	ひなまつり

【北2丁目】

4月	お茶会～皆で和菓子を食べよう～	10月	いもたき
5月	外周散歩・菖蒲湯	11月	さつまいもでおやつ作り(芋さんつば)
6月	未実施	12月	ゆず湯・クリスマス会
7月	そうめんを食べ涼を感じよう	1月	新年会
8月	スイカ割り	2月	節分豆まき
9月	レモン湯	3月	未実施

《総評:介護係長/生活相談員主任・副主任》

目標稼働率 96.3%に対し 96.0% 総延べ入院(外泊)日数 1,135 日(内 年末年始 2 名で外泊 6 日)。

基礎介護力の維持・向上について、今年度は食事ケア・口腔ケア・排泄ケアに重点を置き継続的な実践ができた。新たに体位ドレナージュを実践することで肺炎での入院が減少したが、転倒による骨折も発生し稼働に影響があった。入所者の状況について、平均要介護度 4.3(年度末)となり、身体的・精神的に重度化傾向の中、各感染症の状況に合わせながら、イベントも工夫し実施することができた。内部研修について集合研修を再開したが、これまでの感染対策状況が影響し参加者が減少している傾向にあるため、オンライン研修を併用しながら実施することで一人でも多く参加できるよう努めていきたい。

特養短期ユニットの振り返りでは、利用者に寄り添ったケアが実施された一方、介護記録ソフト導入間もないことでの、記録管理の不徹底や職員間の情報共有の課題が浮き彫りとなった。食事・排泄介助では個別対応が充実したが、姿勢確認や声掛けの統一に改善の余地がある。認知症ケアでは、不穏時の対応のばらつきや転倒防止策の強化が求められた。イベント企画は概ね好評だったが、人員不足による影響も見られた。清掃や衛生管理の徹底、スタッフ間の連携向上が次年度の重要課題となる。これらを踏まえ、業務効率の改善とケアの質向上に取り組み、より良い支援体制を構築していく。

3. II. ショートステイ（〔介護予防〕短期入所生活介護）

3-1 利用状況（令和7年3月31日現在）

【利用状況】

延べ人数	男	女	計
予防短期入所	0	36	36
短期入所	1,391	4,445	5,836
合計	1,391	4,481	5,872
平均利用者数	3.8	12.3	16.1

実人数	男	女	計
東温市	15	40	55
松山市	1	9	10
砥部町	0	1	1
新居浜市	0	1	1
滋賀県大津市	1	1	2
合計	17	52	69

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
要支援1	0	0	0
要支援2	0	36	36
要介護1	37	224	261
2	226	728	954
3	578	1,856	2,434
4	210	944	1,154
5	340	693	1,033
計	1,391	4,481	5,872
平均要介護度	3.4	3.2	3.3

≪総評：介護係長/生活相談員主任・副主任≫

目標稼働率 82.5%に対し 80.4% 一日の平均利用者 16.1 名

介護記録ソフトの導入により、利用者の情報確認が円滑に対応できるようになり、家族やケアマネジャーからの問い合わせに対し、スムーズな返答ができるようになった。その結果、折り返しの連絡や長時間、相手を待たせることが減少し、職員の業務を中断させるこ

とも減ったことは業務の効率化に繋がったのではないかと思います。そしてタイムロスが減ることにより、利用者にケアを待たせることも軽減できたのではないかと感じる。稼働について、目標に達することはできなかったが、前年度よりは上回ることができた。空き状況については、週半ばの平日に空きが目立つが、徐々に空いているところの利用で構わないという方も増えてきている。ロングショートや定期利用の方の入所や、急な入院により、調整が間に合わず、稼働に影響したケースもある。ケアマネジャーや病院の地域医療連携室などに、積極的に空き状況を発信して、利用者獲得に努めたい。

4. III. デイサービス（〔介護予防〕通所介護）

4-1 利用者の状況（令和7年3月31日現在）

【利用状況】稼働日数 310 日

延べ人数	男	女	計
通所介護	1,746	5,263	7,009
総合事業(独自)	454	946	1,400
総合事業(A型)	0	0	0
合計	2,200	6,209	8,409

登録者人数	男	女	計
東温市	16	55	71
松山市	1	1	2
合計	17	56	73

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
事業対象	0	0	0
要支援1	71	133	204
要支援2	383	813	1,196
要介護1	535	1,683	2,218
2	677	1,828	2,505
3	346	1,188	1,534
4	188	348	536
5	0	216	216
計	2,200	6,209	8,409
平均要介護度	1.7	1.9	1.9

4-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
個別性を把握し、それぞれに合った個別対応を実践	① 認知症困難ケースに対し、多職種協働によるカンファレンスを行い、スタッフへフィードバックすることで、異常の早期発見、体調悪化を未然に防ぐ。 ■ ミーティングの強化(朝礼・終礼)による情報共有の実施 ■ デイサービス会議において、認知症加算対象者の事例検討を実施。施設トータルケア勉強会

	に出席し事例検討を実施。 ② HOL(Happiness of life)の提供を目指して、アクティビティの充実を図り、利用者の笑顔を増やす取り組みをする。(毎日のイベント計画と実践) ■ 紙芝居劇場やスタッフの趣味特技(ギター・篠笛・ピアノ・三味線など)を活かしたアクティビティの実践 ③ マシントレーニングや個別機能訓練を実施し、利用者の在宅生活継続と身体機能の分析評価を行い、機能維持・向上を目指す。 ■ マシントレーニングの実施(利用者約7割実施)。体力測定(利用者約8割実施) ■ 小集団体操(5名以下)の内容強化 ④ 認知症の方が役割を持ち、在宅で穏やかに生活できるように家族や関係事業所との連携を図りながら、寄り添った支援をする。 ■ 奉仕活動(洗濯物干し、洗濯たたみ、メモ紙づくり、シール貼りなど)の実践 ■ 脳トレプリントの工夫(スタンプラリーによる景品提供)による意欲向上
地域との交流を増やし、連携を深める	① 公益的な地域活動(おとこ塾(男性介護者の会)・地域サロン出前講座、法人地域共生センターとの連携による活動)へ積極的に参加し、利用者家族や地域住民との関係を深める。 ■ おとこ塾、未開催。えがお食堂、随時可能な範囲で参加。 ② 突合等、関係会議へ積極的に参加し、近隣の他事業所との連携を図る。 ■ 突合に参加し、他事業所のケアマネやヘルパーなどとの情報交換の実施 ③ ボランティアの受け入れや地域(保育園・学校等)、家族(家族会等)との交流の充実を図る。 ■ 東温市社協へのボランティア派遣依頼(オカリナ、コーラスなどの受入)。 ■ スタッフの友人知人を介して、フラダンス、民謡など新規ボランティア受入。 ■ 近隣小中学校、幼稚園等のほか、交流のあった認定こども園へ卒業・卒園メッセージ製作。
働きやすい職場作りの実践。基礎介護力を高め、質の高いケアを提供	① 業務内容の見直し(記録のデジタル化と省力化、希望休が取得できる体制作り等) ■ インカムを活用した情報伝達・共有。 ■ リフレッシュ休暇や希望休の取得推奨。 ② 施設内・外研修への参加をし、基礎介護力とサービスの質の向上を目指す。 ■ 内部研修は概ね文書回覧。毎月デイ向上会でデイでの勉強会を実施。 ■ 外部研修(県老協協デイサービスセンター研修会)への参加。 ③ ノーリフティングケアの環境整備や勉強会を実施し、利用者や職員の身体的負担軽減を図る ■ 重度の方への移乗にフレックスボードを使用し、使い方の説明や勉強会など実施。
安定した運営のため、広報活動を増やし、新規利用者の獲得を目指す	① 行事予定表とブログの充実を図り、広報・営業活動を通じて新規利用者の獲得を行う。 ■ 行事予定表の工夫(スタッフのお気に入りの風景など)、ブログでの取り組み発信 ■ 居宅介護支援事業所訪問でのPR活動(体験利用者30名、新規利用者31名) ② 年6回チラシを作成し、近隣の居宅や利用者、地域住民に配布することで、デイサービスの取り組みを広める。 ■ チラシを作成し、関係事業所や近隣事業所へ配布。
業務の効率化と適正利益の確保に努め、安定した運営を目指す	① 毎月の収支に関心を持ち、車輛管理、備品管理、水道光熱費等のコスト意識を高める。 ■ デイサービス会議内で利用者の動向を共有して、コスト意識に関する周知 ■ 送迎車両へのドライブレコーダーの導入による安全運転意識の向上し、事故減少。車輛の小さな傷などあり。安全運転の勉強会実施。 ② 安定した運営のために加算を取得し、サービス提供内容の充実を目指す。介護報酬改定に合わせた

	各種利用料・取組みについて、利用者や家族、各居宅介護支援事業所へ丁寧に説明する。 ■ 今年度算定している加算や料金について、デイサービス向上会でスタッフに周知。 ③ デイルームの環境改善を計画的に実施する。(レイアウト・設備・備品の工夫など) ■ 観葉植物やテーブルクロスを採用。利用者の靴箱やその他の設置物の場所の見直し実施。
感染症対策、防災防犯対策を強化し、快適な居住環境を整備する	① サービス提供による感染発生「0」を目指し、平常時から感染予防に努める。感染症対策の研修に参加し、感染症の予防と利用者・職員へ周知して感染予防を徹底する。 ■ 感染症勉強会を実施。感染症に罹患するスタッフはいたが、デイサービスでの感染症発生なし。 ② 防災・防犯対策訓練に参加し、安心して利用できる環境を作る。 ■ 施設防災訓練に参加し、消火訓練は利用者も一緒に参加。 ③ 利用者へ向けて、感染症対策や防災・防犯対策のお話をする機会を作る。 ■ 利用者へ向けて、レクリエーションの時間に感染症対策や防災・防犯対策の講話を実施。

4.-3 年間のイベント(実績)※)月 1 回開催のメイン

4 月	花見ドライブ週間、春まつり	10 月	デイ運動会、月まんじゅう作り
5 月	かしわ餅づくり	11 月	秋まつり
6 月	びわの葉湯	12 月	ゆず湯、クリスマス会、忘年会
7 月	七夕会	1 月	新年会、七草粥
8 月	デイサービスミニ夏祭り、フラダンス	2 月	節分会、冬まつり
9 月	敬老会	3 月	ぼた餅作り、桜餅作り

4.-4 その他の状況

内容	件数	備考
苦情解決件数	0	
事故報告件数	24	内、受診を伴う市への事故報告 0 件
ヒヤリハット件数	36	

《総評:通所係長》

目標稼働率 79.4%に対し 77.4% 一日の平均利用者 27.1 名 年度末登録者数 75 名

1 月以降、利用者の状態・状況の変化から登録及び利用稼働の減少がみられ、例年と比較し 3 月以降の利用相談も少ない状況がみられた。要因として入所や入院、当日のキャンセルが多くみられたこと、また現在利用者状況として、90 歳以上の方が半数近くを占めており、在宅生活に支障がでている方も多くなったことが挙げられる。今後に向け、利用者の満足度の向上を目指し、他事業所の取組等も参考とし、これまでの取り組み等も見直ししながら、利用者とのコミュニケーションを大切にし、利用者個々に関わる時間を延ばす工夫やアクティビティの強化に努めていきたい。広報活動や営業活動について、定期的にチラシを作成し、前年度以上に配布することができた。今まで関わりのなかった近隣事業所にも営業活動を行ってきたい。

5. IV.ホームヘルプサービス(訪問介護)

5-1 利用者の状況(令和7年3月31日現在)

【利用状況】

延べ件数	男	女	計
身体介護	1	875	876
身体生活	81	408	489
生活援助	998	1,081	2,079
訪問型独自	104	1,143	1,247
計	1,184	3,507	4,691

【要介護度別延べ利用人数】

要介護度	男	女	計
要支援 1	0	262	262
要支援 2	104	881	985
要介護 1	183	1,127	1,310
2	194	404	598
3	703	422	1,125
4	0	0	0
5	0	411	411
計	1,184	3,507	4,691

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
事業対象	0	0	0
要支援 1	0	39	39
要支援 2	12	108	120
要介護 1	18	88	106
2	30	44	74
3	21	42	63
4	0	0	0
5	0	12	12
計	81	333	414
平均要介護度	2.3	1.6	1.9

5-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
在宅生活の維持	① ケアマネジャーやサービス事業者と情報共有を密にしながら利用者の体調管理に努める ② サービス担当者会議へ参加し関係機関との情報交換を図る ③ 利用者だけでなく、家族との交流も深め、問題の把握に努める。

職員研修	① 施設内研修への参加を通し全体の資質の向上を図る。 ② ホームヘルパー会(毎月)を開催し、ヘルパーの専門性の向上と情報共有を図る ③ 介護ネット(東温市)へ参加し意見交換や情報収集を図る ④ サービス提供責任者の業務を分担していく。常勤ヘルパーの専門性を高める。
安定運営の確保	① ホームヘルパー会での安全なサービス提供や接遇に関する学習を図る ② 介護支援専門員と連携し、広報活動を積極的に行い、新規利用者の獲得を目指す ③ 東温市のみにこだわらず、通勤範囲内で松山市を含めた訪問先を増やしていく。 ④ 特定事業所加算などの加算を取得することで、より質の高いサービスを提供することを心がける。

5-3 その他の状況

内容		備考
苦情解決件数	0	
事故報告件数	0	

《総評:サービス提供責任者》

目標稼働率 65%に対し 64.4% 一日の平均利用者 12.9 名 年度末登録者数 57 名

常勤ヘルパー及び登録ヘルパーの休職、退職がみられ、そのため勤務シフトの調整が難しくなり、新規依頼をお断りすることもあった。在籍ヘルパーも生活援助の技量はある程度備えているが、高齢に伴い、身体介護や長時間の通院介助を任せることが難しくなっている。今後は身体介護の依頼があった時にケアマネジャーとの相談が必要になってくると感じている。在籍ヘルパーについては、経験年数も長く、利用者とのコミュニケーションに関する心配はない。今後は常勤ヘルパー2 名がサービス提供責任者として、サービスの調整や管理また、登録ヘルパーへの指示・助言指導等を行いながら、業務継続に努めていきたい。

6. V.居宅介護支援事業所(居宅介護支援)

6-1 利用者の状況(令和7年3月31日現在)

【利用状況】 居宅サービス担当 月間人数 予防 27 件 介護 116 件 暫定利用 0 件

利用者	予防		介護	
	男	女	男	女
東温市	5	22	40	74
松山市	0	0	1	0
西予市	0	0	1	0
牟岐町	0	0	0	1
計	5	22	42	75
	27		116	

【要介護度別利用人数】

要介護度	男	女	計
要支援 1	3	4	7
要支援 2	2	18	20
要介護 1	12	28	40

2	12	23	35
3	11	13	24
4	5	7	12
5	2	4	6
計	47	97	144

6-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
在宅生活の維持	① ニーズに適合した多様なサービスのプランへの位置付け。 ② ビジネスケアラー等への家族全体を包括的に支援するマネジメントの実施。 ③ 適切なケアマネジメント手法の取得によるプランニング技術の向上。
資質向上	① 専門課程の外部研修を受講し、最新の個別援助技術を身につける。 ② ICT の活用による生産性の向上とケアマネジメントの質の向上。 ③ 地域包括支援センターと協働し、地域全体の課題の表出や問題の提起。
地域活動への参加	① 東温市地域包括支援センターや主任ケアマネの会と協働して災害時に備えたマネジメントを行い、勉強会やシミュレーションを通じて防災への意識を高める。 ② 地域支援活動の推進において情報を発信し、介護予防、地域を支える互助の大切さを伝える。 ③ 男性介護者の会を継続実施し、趣味活動や家族同士の交流を図る。

6-3 その他の状況

内容	件数	備考
苦情解決件数	0	
事故報告件数	0	

《総評：居宅管理者》

新人教育等の影響もあったが、担当件数増加や制度理解の充実は昨年度より向上することができた。今後も高度な専門的な知識の向上のためトータルケア（認知症ケア等）の知識を学び、資質の向上と信頼できる事業所を目指す。新規相談は年間 50 件で、前年よりやや減少しているものの、年間を通して担当ケースは増加傾向。平均介護度が上がっており、より重度化が進んでいる状況。災害や感染症対策としては事業継続計画の周知と対策の検討を継続して行う必要があるため、引き続き防災への対策を強化する。ICT の活用等により業務の効率化と負担軽減により働きやすい職場づくりを目指す。

7. VI.在宅介護支援センター（委託事業）

7-1 活動実績報告

業 務 内 容	実績
東温市地域包括支援センターのランチの設置運営及び地域包括支援センター業務への協力	
パンフレット 作成部数(部)	255
民生児童委員協議会 出席回数(回)	11
市・包括・在支 調整会 出席回数(回)	12
第 2 層協議体 出席回数(回)	10

実態把握	
個別連絡・訪問等による実態把握(独居高齢者等) 実人数(人)	10
配食事業、緊急通報装置等の利用に係る調査 実人数(人)	7
総合相談支援	
相談支援 延べ人数(人)	396
高齢者虐待に関する相談・支援 延べ人数(人)	1

7-2 ふれあい・いきいきサロン参加事業

日 時	サロン等	場 所	人数	内 容
11 月 18 日	天神サロン	天神集会所	6 名	健康推進課サポート
1 月 20 日	天神サロン	天神集会所	2 名	健康推進課サポート
合 計			8 名	

7-3 地域関連事業

	事 業 名	内 容	主 催 者
地 域 関 連 事 業	介護ネット東温	搜索訓練 メールでの連絡訓練	介護ネット東温
	東温市健康相談	診察相談 東温市地域包括支援センター出張窓口 介護相談及び広報支援	東温市健康推進課
	生活支援体制整備事業	第1層・第2層協議体 「助け合い・支えあいとうおん」 地域課題の表出 月1回実施 サロン活動のインタビュー	生活支援コーディネーター

《総評:在支担当》

地域支援活動については、実態把握やサロン参加で、地域の実情を把握することができた。サロン活動は各地で開催されており、サロン単位での外出も再開されている。ふれあい給食は再開したものの経費面での課題が多く今年度末で終了、ふれあい訪問が開始となった。配食サービスについては2事業所が助成を受けてのサービス提供を行っている。通所や訪問系のサービス利用日の事業利用は難しく、対象者は減少傾向。相談支援内容として、介護保険以外の相談についてはノウハウが少ないため、内容に応じて必要な関係各所と連携を図った。引き続き、地域の実態把握や関係機関の会議等へ参加し、関係の維持構築に努める。

8. 各部門報告(委員会活動を含む)

8-1 防災・防犯活動

訓練項目	開催日時	参加者	内容
避難訓練 (ガリラヤ荘)	R6年6月9日(日) 14:00-15:30	利用者 100 名 職員 30 名	地域の自主防災組織、消防署員監修の上通報訓練及び全体での避難訓練実施。避難誘導、消火器を使用した消火訓練の実施。
夜間想定通報訓練	R6年12月17日	職員 50 名	夜間緊急時連絡表での非常招集訓練。

(ガリラヤ荘)	(火)18:45~20:00		通報訓練。
シェイクアウトえひめ (ガリラヤ荘)	R6 年 12 月 17 日 (火)11:00~11:15	利用者 110 名 職員 30 名	愛媛県全体での地震を想定した安全行動をとる訓練を実施。模擬消火訓練実施。

8-2 感染症対策

① 衛生管理委員会の開催

新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行し感染対策が緩和されたが、季節を問わず様々な感染症が流行していることもあり、毎月の委員会及び運営委員会などで平常時の感染予防対策について周知徹底を図った。感染症発生時には直ちにレッドゾーン対応し、施設全体で情報を共有し連携を図ることで感染拡大予防に努めた。

② 新型コロナウイルス感染症報告

- 1 例目 令和6年6月17日に特養南2丁目介護職員が新型コロナウイルス陽性となり、ユニット入居者1名に感染し入院治療された。6月17日からレッドゾーン対応とし、それ以上の感染拡大はなく6月23日に解除とした。
- 2 例目 令和6年10月18日に特養南1丁目の介護職員が新型コロナウイルス陽性となり、ユニット入居者1名に感染し施設内で内服治療した。10月19日からレッドゾーン対応とし、それ以上の感染拡大はなく10月25日に解除とした。
- 3 例目 令和7年3月18日に特養南1丁目の入居者が発熱、検査にて新型コロナウイルス陽性と診断された。直ちにレッド対応開始した。当該入居者は3月17日に退院されたばかりで、その後入院先で院内感染が認められたため、病院からの持ち込みと考えられる。ユニット職員の感染は3名、入居者の感染は5名のうち2名は入院治療された。4月7日に解除した。

	特養	短期	通所	その他	計
利用者(施設内感染)	7	1	0	0	8
職員(感染報告者)	7	0	1	6	14

③ インフルエンザウイルス感染症報告

令和7年1月7日に特養中1丁目介護職員がインフルエンザA型陽性者となり直ちにレッドゾーン対応としたが、ユニット職員の感染は2名、入居者の感染は4名のうち2名が入院治療された。1月20日に解除とした。

	特養	短期	通所	その他	計
利用者(施設内感染)	4	0	0	4	4
職員(感染報告者)	6	0	1	1	8

④ ノロウイルス感染症報告

発生なし

⑤ その他

毎日の朝礼や生産性向上委員会、特養会などで現在の感染症の動向などの情報提供を行った。今後も様々な感染症の動向を注意深く観察しながら、引き続き感染対策を徹底していく。

8-3 褥瘡対策

褥瘡対策委員会の開催(毎月)

例年通りきめ細やかな観察・対策を行い、褥瘡予防に取り組んだ。令和6年度も皮膚科 Dr を含む栄養士や機能訓練指導員など、多職種で今まで以上に褥瘡予防に取り組んでいく。

8-4 権利擁護・苦情解決

権利擁護苦情相談委員会の開催(随時)

令和6年度苦情件数 0件

8-5 身体拘束・高齢者虐待対策

身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会の開催(毎月)

身体拘束件数 0件 高齢者虐待件数 0件

施設指針の周知、コロナウイルス感染予防のため、書面にて毎月不適切ケア等の事例検討を行い、虐待等に繋がらない環境づくりや意識付けをすることができた。生産性向上委員会に参加して、ユニット以外の部署にも毎月報告を行った。年2回内部研修実施した。コロナウイルス感染予防を講じつつ、介護相談員来荘受入れをし、利用者の気持ちなど聞き取りして頂き、各部署に情報配布した。安全面での環境づくりをする際や、困難事例の際は安全を保ちつつ、拘束廃止、虐待防止の観点から、利用者様一人一人を尊重した、支援を行った。

8-6 栄養対策

給食委員会の開催(毎月)

栄養ケアマネジメントを実施。利用者の摂食状況や提供方法、献立等について施設長、各事業所職員、多職種、委託業者と検討。「人として最期まで口から食べる」ことに重きをおき、ソフト食・やわらか食を提供。また、便秘対策のため食物繊維の多い食事の提供を継続実施。一人ひとりの身体状態や嗜好を考慮した個別対応を行い、季節感のある食材や行事食を取り入れ、食事イベントを行い、利用者により一層満足していただける食事提供に努めていきたい。

8-7 事故対策

① 安全委員会の開催(毎月)

毎月の状況報告及びヒヤリハット報告を確認し再発防止の注意喚起につながるよう各担当係とユニットリーダーが検討し、生産性向上委員会内においても活動を報告することができた。発生数の多い事例について、特に重大アクシデントに発展しないよう日頃より注意喚起できる活動につとめていきたい。

② 事故状況・ヒヤリハット報告

I 月別発生件数(特養/短期入所別)

月	特養	短期	計
	報告件数	報告件数	報告件数
4月	53	5	58
5月	41	11	52
6月	58	7	65
7月	51	11	62
8月	42	12	54
9月	43	5	48
10月	57	6	63
11月	48	10	58
12月	46	0	46

1 月	44	11	55
2 月	59	8	67
3 月	59	12	71
総計	601	98	699

II 内容別発生件数

内容	件数	内容	件数
内出血※3)	204	食事提供ミス	6
他※5)	143	異食	4
傷※3)	92	異食未遂	3
転倒未遂	66	誤薬※4)	3
転倒※1)	58	設備環境不具合	2
転落※2)	39	誤薬未遂※4)	1
転落未遂	24	在宅酸素ミス	1
服薬ミス※4)	20	誤嚥	1
服薬ミス落薬※4)	17		
服薬ミス未遂※4)	15		
総計			699

※1) 立上りや歩行での転倒

※2) 車椅子、椅子、ベッドなどからのしりもち、座り込みを含む

※3) 軽度の発赤・腫脹、その他傷全般を含む(看護師による処置実施)原因が特定されない軽症や事故危険があったものを含む

※4) 服薬ミス(本人の薬)、誤薬(本人の薬ではない)。未遂について事前に発見できたものを含む

※5) その他(ケアの方法等見直しが必要で合った事項)

III 報告レベルの内訳

※ヒヤリハットを含む、すべての状況報告

0	ヒヤリハット報告(未遂含)	458
I	ヒヤリハット報告(未遂以外) または看護師による処置、バイタル異常	234
II	病院受診(異常なし)	0
III	病院受診(怪我ありまたは再受診必要)	4
IV	病院受診(入院加療必要)	3
V	後遺症が残るあるいは死亡	0
他	精神的苦痛・機械・物品破損等	0
総計		699

IV 受診の内訳

事業所	内容	発生状態	発生日	診断
特養	内出血	車椅子座位	4/15	左第 2.4 指内出血
特養	転倒	床立上り	11/19	左大腿骨近位端骨折

特養	転倒	歩行独歩	R7.1/3	右大腿骨頸部骨折
特養	意識消失による 転落	車椅子座位	R7.3/4	てんかん発作
特養	転落	ベッド臥床	R7.3.4	右骨盤ひびき
特養	転倒	歩行独歩	R7.3.19	右橈骨遠位端骨折

(考察)

事故発生件数については、アクシデントにつながる可能性のあるヒヤリハット及び状況から軽微なものを含め、状況報告として取り扱い、分析方法の見直しを図った。前年と比較し 60 件弱の報告減、また重大アクシデント(レベルⅢ以上)については 7 件減少した。今年度においても、軽介助で歩行が可能な利用者の居室内での転倒・転落による骨折が発生し、認知症の方々の見守りの難しさが課題となっている。引き続き、見守り機器の導入をすすめるなど、事故発生防止の一つとして活用していきたい。

9.行事・施設内研修・実習等受入の状況

	全体行事等	施設内研修	実習・見学等受入
4	辞令交付/入職式		
5	松山しのめ認定こども園花の日訪問 職員会議	新人職員研修 法令遵守・守秘義務	愛媛大学医学部看護科 松山学院高等学校
6	愛媛ひとまち百景イラスト展示 防災総合訓練(南方東自主防災合同) 介護記録ソフト(絆core)導入開始	こころ塾相談体験会 トータルケア勉強会【WEB】	愛媛大学医学部看護科
7	県実地指導(特養)	基礎介護勉強会(認知症ケア) 基礎介護勉強会(排泄ケア)※光洋	愛媛大学医学部看護科 東温高等学校 川内中学校ジョブチャレンジ 嘉南薬理大学(台湾)
8	【中止】普通救命救急講習Ⅰ 里帰り推進 入居者レントゲン健診 職員ストレスチェック実施 (株)いづら車椅子清掃訪問	リスクマネジメントⅠ	愛媛県立医療技術大学看護科 人間環境大学看護科 嘉南薬理大学(台湾)
9	【中止】東温市長一日施設長就任・赤 ちゃんこ贈呈式 消防設備点検	法人初任者研修会 トータルケア勉強会【WEB】 身体拘束虐待防止Ⅰ	松山学院高等学校 愛媛大学医学部 嘉南薬理大学(台湾)
10	【中止】運動会 地域共生「えがお食堂」 地方祭(森地区神輿訪問) 県伊方原発防災訓練参加 長寿祝い撮影会 職員会議	法人管理者研修会 法人BCP研修会 介護記録ソフト(絆core)操作等勉強会 看取りケアⅠ 感染症対策Ⅰ(総合訓練①) 感染症対策Ⅱ(食中毒)	河原医療福祉専門学校 松山学院高等学校 福角会生活支援事業所MORE通所見学受入

11	【中止】ガリラヤ荘感謝祭 2024 永眠者記念会 松山しのめ認定こども園収穫感謝訪問	法人ネクストリーダー研修	松山学院高等学校
12	年末里帰り推進 防災総合訓練/シェイクアウト訓練 東温市社協共同募金歳末施設訪問 東温市婦人会歳末訪問 東温高等学校歳末訪問 クリスマスツリー・クリスマスイルミネーション	トータルケア勉強会【WEB】	
1	愛媛銀行見奈良支店作品展示 県・市実地指導(通所)		
2	職員会議	感染症対策Ⅲ(感染症全般) 感染症対策Ⅳ(総合訓練②)	
3	消防設備点検 東谷小学校花の寄贈訪問(通所) 愛媛日産車椅子寄贈訪問 技能実習生(第2期)開始 24時間テレビ福祉車両贈呈式 職員会議	トータルケア勉強会【WEB】 リスクマネジメントⅡ 身体拘束虐待防止Ⅱ 看取りケアⅡ	桜谷福祉会施設見学受入
他	通年	委員会等活動	
	毎月・誕生昼食献立 毎月・イベント食(企画による) おやつ、お茶の時間(毎日) 各外出(散歩・ショッピング他) 訪問理容(フルライン・たかの子理容・ヘア・デザイン Qoo) 訪問マッサージ 東温市移動図書館「かぼちゃん号」 訪問販売(移動スーパーとくし丸、パン屋)	運営会議/部長課長会議 ・災害対策推進委員会(BCP) ・感染症対策推進委員会(BCP) ・安全対策推進委員会 ・運営改善委員会(5S改善・ICT推進) 生産性向上委員会 ・安全(事故発生防止)委員会 ・衛生管理委員会(新型コロナ対策会議含) ・身体拘束廃止高齢者虐待防止委員会 ・給食委員会 権利擁護・苦情相談委員会 在宅委員会 入所判定委員会 居宅会議(週例会) デイサービス会議/デイサービス向上会 ヘルパー会議(訪問介護) 特養会議(リーダー会)/ユニット会	
	クラブ活動	ボランティア等	
	陶芸(隔週水曜日) 習字(月1回・第2水)	奉仕活動(不定期) 縫布ボラ(第4金曜)R6.10月から再開	

俳句会【未実施】 音楽/風船バレー(各ユニット月1回) 縫布クラブ(第4金曜)R6.10月から再開	ほっこり喫茶(デイ・隔週火水木)(法人地域共生) 介護相談員(基本:第1火曜日) オカリーナそよ風(季節毎・第3火曜日)〔再開〕 (新規)東温市ハッピーサポート事業(サポータ派遣*随時)
---	--

10.施設外研修の状況

【施設外研修】

	全体共通		特養/短期		通所介護		訪問介護		居宅介護		合計		
研修項目	延数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数				
介護		5	19	8	14	1	2	2	2	1	2	17	39
看護・保健・医療・感染症		2	2	2	6	0	0	0	0	0	0	4	8
防災・防犯		1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	3	3
人材育成・マネジメント		3	4	4	10	0	0	0	0	0	0	7	14
専門(スキル向上・資格等)		3	5	19	19	1	2	0	0	5	7	28	33
行政(介護保険・制度他)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人事・労務管理・会計		2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
他		12	24	5	5	1	1	2	2	0	0	20	32
小計		28	57	39	55	4	6	4	4	6	9	81	131

※)各感染症対策に伴い、オンライン及び書面開催を含む

11.職員の状況

部門等	前年度末	令和6年度当初				令和6年度中の状況				常勤換算
		退職	入職	異動	計	入職	異動	退職	計 (年度末)	
特養/短期	84	-1	3	0	86	8	0	-7	87	63.7
(介護職員)	60	-1	3	0	62	6	0	-5	63	45.5
(看護職員)	10	0	0	0	10	0	0	-1	9	7.5
(その他)	14	0	0	0	14	2	0	-1	15	10.7
デイサービス	14	0	0	0	14	0	0	0	14	11.9
訪問介護	10	0	0	0	10	0	0	-1	9	3.4
居宅	5	0	0	0	5	0	0	0	5	4.0
計	113	-1	3	0	115	8	0	8	115	

※)医師等嘱託契約者の数は上記に含めず【医師4名、歯科衛生士1名、理学療法士1名(特養)、作業療法士2名(デイ)】

12.サービス別 利用状況一覧

特別養護老人ホーム「介護老人福祉施設」定員 80 名・8 ユニット(1 ユニット定員 10 名)

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	3	261	248	239	186	186	180	177	210	217	190	176	217	2,487
	4	1,002	1,134	1,100	1,170	1,185	1,177	1,246	1,100	1,137	1,082	1,088	1,186	13,607
	5	1,007	980	943	952	978	959	958	937	951	1,044	911	937	11,557
総計	平均介護度	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.30
	延べ利用人数	2,300	2,393	2,312	2,339	2,380	2,346	2,412	2,277	2,336	2,347	2,203	2,371	28,016
	平均利用人数/1日	76.7	77.2	77.1	75.5	76.8	78.2	77.8	75.9	75.4	75.7	78.7	76.5	76.8
	稼働率	95.8%	96.5%	96.3%	94.3%	96.0%	97.8%	97.3%	94.9%	94.2%	94.6%	98.3%	95.6%	96.0%

ショートステイ「(介護予防)短期入所生活介護」定員 20 名・2 ユニット(1 ユニット定員 10 名)

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護	利用実人数	35	31	31	36	34	37	36	36	32	29	29	30	330
	1	48	16	30	52	70	28	14	3	2	0	0	0	263
	2	66	77	35	45	49	90	88	97	86	105	108	117	963
	3	177	181	208	181	221	237	265	246	204	183	148	183	2,434
	4	84	78	103	102	86	71	75	75	113	85	124	147	1,143
	5	83	102	90	96	94	92	95	92	86	78	63	62	1,033
	利用延べ人数計	458	454	466	476	520	518	537	513	491	451	443	509	912
	平均介護度	3.19	3.38	3.40	3.30	3.16	3.21	3.28	3.30	3.40	3.30	3.32	3.30	3.29
	平均利用人数/1日	15.3	14.6	15.5	15.4	16.8	17.3	17.3	17.1	15.8	14.5	15.8	16.4	15.0
要支援	利用実人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0.75
	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	0	0	36
	利用延べ人数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	0	0	36
	平均利用人数/1日	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.00	0.00	0.00	0.13
総計	延べ利用人数	462	458	470	480	524	522	541	517	495	451	443	509	5,872
	平均利用人数/1日	15.4	14.8	15.7	15.5	16.9	17.4	17.5	17.2	16.0	14.5	15.8	16.4	16.1
	稼働率	77.0%	73.9%	78.3%	77.4%	84.5%	87.0%	87.3%	86.2%	79.8%	72.7%	79.1%	82.1%	80.4%

デイサービス「(介護予防)通所介護」 定員 35 名

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数		26	27	25	27	27	25	27	26	25	25	24	26	310
要介護	利用実人数	60	65	61	59	56	62	64	67	64	58	60	58	61.2
	1	212	223	195	184	176	180	186	202	168	170	165	157	2218
	2	170	210	182	187	208	201	234	243	227	197	211	240	2510
	3	140	142	132	169	152	144	135	113	111	99	95	110	1,542
	4	36	42	28	29	48	47	66	58	48	51	33	32	518
	5	19	22	12	14	12	12	17	18	22	26	23	19	216
	利用延べ人数計	577	639	549	583	596	584	638	634	576	543	527	558	1,216
	平均介護度	2.10	2.11	2.05	2.15	2.18	2.16	2.21	2.13	2.18	2.20	2.12	2.13	2.10
	平均利用人数/1日	22.2	23.7	22.0	21.6	22.1	23.4	23.6	24.4	23.0	21.7	22.0	21.5	22.9
要支援	利用実人数	17	16	17	18	20	20	18	16	18	17	15	14	17.17
	1	18	16	17	18	18	16	22	20	19	16	12	12	204
	2	106	98	99	112	133	112	98	87	89	94	86	82	1196
	利用延べ人数	124	114	116	130	151	128	120	107	108	110	98	94	1400
	平均利用人数/1日	4.77	4.22	4.64	4.81	5.59	5.12	4.44	4.12	4.32	4.40	4.08	3.62	4.50
総計	延べ利用人数	701	753	665	713	747	712	758	741	684	653	625	652	8,404
	平均利用人数/1日	27.0	27.9	26.6	26.4	27.7	28.5	28.1	28.5	27.4	26.1	26.0	25.1	27.1
	稼働率	77.0%	79.7%	76.0%	75.4%	79.0%	81.4%	80.2%	81.4%	78.2%	74.6%	74.4%	71.6%	77.4%

ホームヘルプサービス「(介護予防)訪問介護」

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
要介護	利用実人数	22	22	23	21	20	21	22	22	22	20	20	20	21.6
	1	104	117	109	104	101	94	125	126	107	121	93	109	1310
	2	55	72	74	66	40	46	45	49	37	44	38	32	598
	3	118	107	108	103	106	111	103	97	95	56	57	64	1125
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	36	38	33	36	31	34	38	34	33	32	32	34	411
	利用延べ訪問件数	313	334	324	309	278	285	311	306	272	253	220	239	3,444
	平均介護度	2.4	2.3	2.3	2.3	2.4	2.4	2.3	2.2	2.3	2.1	2.3	2.2	2.4
総合事業 / 要支援	1	2	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	2	39
	2	12	9	10	11	10	10	12	12	12	11	11	11	131
	利用実人数	14	13	14	15	14	14	15	15	15	14	14	13	13.5
	利用延べ件数	14	13	14	15	14	14	15	15	15	14	14	13	170
障害	実人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
	訪問回数	4	3	4	4	4	3	3	5	3	5	4	3	45
総計	実人数	37	36	38	37	35	36	38	38	38	35	35	34	437
移動支援	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	移動支援延べ件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

居宅介護支援

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
介護支援専門員数		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0
要介護	1	38	40	38	38	39	40	39	41	40	39	36	39	467
	2	28	30	32	31	34	34	36	39	38	36	37	34	409
	3	24	22	21	22	21	21	21	18	19	18	23	24	254
	4	8	8	10	10	10	11	11	12	11	10	10	10	121
	5	5	6	4	3	2	2	3	3	5	5	5	6	49
	介護 利用人数	103	106	105	104	106	108	110	113	113	108	111	113	108.3
	介護 稼働率	73.6%	75.7%	75.0%	74.3%	75.7%	77.1%	78.6%	80.7%	80.7%	77.1%	79.3%	80.7%	77.4%
要支援	1	7	7	7	7	6	5	5	7	7	7	7	7	79
	2	25	25	25	24	25	26	24	20	22	22	23	20	281
	予防 利用人数	32	32	32	31	31	31	29	27	29	29	30	27	30.0
	予防 稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	96.9%	96.9%	96.9%	90.6%	84.4%	90.6%	90.6%	93.8%	84.4%	93.75%
総計	介護+予防 利用人数	135	138	137	135	137	139	139	140	142	137	141	140	138.3
	介護+予防 稼働率	78.5%	80.2%	79.7%	78.5%	79.7%	80.8%	80.8%	81.4%	82.6%	79.7%	82.0%	81.4%	80.43%
新規利用人数		7	5	0	3	7	2	3	5	7	4	9	7	59.0

	特別養護老人ホーム 定員80名 【介護老人福祉施設】	ショートステイ 定員20名 【短期入所生活介護】	デイサービス 定員35名 【通所介護】	ホームヘルプサービス 20名/日(目標) 【訪問介護】
目標稼働率	96.3%	82.5%	79.4%	65.0%
実績稼働率	96.0%	80.4%	77.2%	64.4%
対目標比	-0.3	-2.1	-2.2	-0.6
前年稼働率	95.8%	75.6%	71.9%	66.3%
対前年比	0.2	4.8	5.4	-1.9

2024 年度(令和 6 年度)
ガリヤ久米 事業報告

〔事業の種類〕

I. 小規模特別養護老人ホーム(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)	定員 29 名
II. ショートステイ(〔介護予防〕短期入所生活介護)	定員 10 名
III. グループホーム(〔介護予防〕認知症対応型共同生活介護)	定員 18 名
IV. 介護付有料老人ホーム(〔介護予防〕特定施設入居者生活介護)	定員 35 名(30 室)
V. デイサービス(地域密着型通所介護)(介護予防通所サービス)	定員 18 名
VII. 居宅介護支援事業所(居宅介護支援)	

1.ガリヤ久米(全体)

取組事項	取 組 内 容
命と尊厳を守り 安心して生活できる ケア構築	① 専門職として基礎介護力を高め、多職種連携による、重度化ケアに対応した生活支援の提供を行う。 ■ ノーリフティングケア推進への取組み ■ 内部研修(新任・現任研修、看取り介護研修 他)開催 ■ 外部研修への積極的参加による知識・技術等の習熟 ■ 運営会議の開催による情報の共有、多職種連携〔全 12 回 ※毎月〕 ■ 施設部門会議の開催による、入所部門の情報の共有〔全 12 回 ※毎月〕 ■ 朝礼(全体)の開催〔月～金〕 ② 利用者の人権、プライバシーの保護と共に、虐待防止・身体拘束廃止を徹底する。 ■ 身体拘束・虐待防止委員会開催〔全 4 回〕 ■ 内部研修(身体拘束虐待防止)開催〔全 4 回〕 ■ 家族との面会機会の確保 ③ 多職種協同による、根拠に基づいたケアを実践し、重症化予防に努める。 ■ トータルケア研修会の定期的な開催等による個別ケアに関する知識・技術の向上 ■ 定期的なカンファレンスの実施によるケア検討
やりがいを持ち 働き続けられる 職場づくり	① 組織風土の浸透及び活性化を図り、職員一人一人が生きがいとやりがいをもって働き続けられる職場づくりを行う。 ■ 人事評価制度による適正評価の実施にて働きがいを確保 ■ 定期的な職員面談により相談・指導の実施とフォローアップ体制の確保 ■ リフレッシュ休暇取得推進(7 連休取得または分割取得) ② 福祉の専門職として各事業所・部署間のチームワーク体制を維持し、運営に関する課題改善をより効果的に実践できる環境に努める。 ■ 部課長会議による情報共有及び課題整理・対応の実施 ■ 主任・リーダー等の定期的な会議・カンファレンスの開催 ■ 事業所・ユニット間の人事異動等による適切な環境の保持 ③ スタッフが成長できる内部研修の実施、及び外部研修への参加支援を継続する。 ■ 内部研修の開催〔全 21 回(書面開催 1 回) 参加者計 367 名〕 ■ 外部研修への参加〔全 48 回 参加者計 121 名〕 ■ 職員のメンタルヘルスに関する取組みの実施(ストレスチェック・フォローアップ研修など)

	④ 外国人介護従事者の定着・育成のための体制づくりに取り組む。 ■ 定期的な面談の実施により不安や課題解決への積極的なかわり ■ 組合担当者との綿密な連携と相談・支援の実施 ■ 生活支援、余暇活動の支援等
地域福祉の確立	① 地域共生センター「あいりん」の活動を中心に、関係機関との連携・地域の福祉ニーズを捉えた取り組みを実施し、地域共生の推進に努める。 ■ 関係機関の活動及び研修会等への積極的に参加を行った。 ■ 地域包括支援センターとの連携推進〔包括の委員会活動への職員派遣・各種会議・研修参加〕 ② 「ふらりカフェ」の活動を通じ、地域住民のニーズ把握や各種相談を進める。介護予防・認知症予防の活動等を推進し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指す。 ■ ふらりカフェの定期的な実施により地域住民との関係づくり ■ ふらりカフェでの生活動作・運動機能の維持、改善に向けた取り組みの実施 ③ 地域行事活動、防災・防犯活動の協力等、学校、保育、他関係機関との連携を継続する。 ■ 介護福祉士養成校実習・看護師養成校実習・中学生職場体験実習等の受入 ■ 地域防災総合訓練「シェイクアウトえひめ」参加 ■ 地域行事(地方祭・水路清掃等)への参加 ④ 在宅生活をトータル的にサポートするため、地域の実情に合わせた活動の実現に向けた情報収集、広報活動を行う。 ■ 地域包括支援センターの部会参加による関係機関との連携、地域福祉活動への参画。
職場環境改善	① 介護記録ソフト導入により、介護記録作成業務の効率化を図る。また、介護ソフトの各種機能を活用することにより、ケアの充実・質の向上に努める。 ■ 記録システムの各種機能を活用しケアの質の向上、業務改善へつなげる取組み ② 眠りセンサーの導入により、入居者の状態把握を行い、個別ケアをより充実させ、入居者一人一人のより良い生活を目指す。また、各種機能を活用し、業務の効率化を図る。 ■ 見守り機器(眠りスキャン)の導入による睡眠状態の可視化・生活の質向上への取組み ③ ノーリフティングケアの推進により、入居者及び介護職員双方の負担軽減を図り、ケアの質の向上を目指す、安心安全なケアを提供する。 ■ 定期的な研修等により職員への取組みの意識向上 ■ 移動式リフト増備・関連備品の整備 ④ 生産性向上の取組みにより、業務の可視化を行い、業務の効率化・環境改善を図る。 ■ プロジェクトチームの活動を基に生産性向上に向けた課題の抽出・取組み内容の検討
安定運営の確保	① 各事業所において収益向上・収支改善を図り、適正利益を確保して、安定した運営を目指す。 ■ 各種会議による運営状況の共有と課題の確認〔運営会議全 12 回・施設部門会議全 12 回 部課長会議全 16 回〕 ■ デイサービス運営改善に向けた取組 ■ 経費(水道光熱費・備品・衛生用品等)削減に関する取り組みの継続 ② 広報活動、各機関との関係構築を進め、施設入居待機者及び在宅サービス利用者の確保に取り組む。 ③ 介護ロボット・ICT 導入を推進し、業務効率化及び生産性向上を図る。
快適な住環境の整備、事業継続体制の	① 施設の整備・環境保全に努め、快適な住環境の維持、より良いサービス提供を目指す。 ② 感染症予防対策の徹底に取り組み、大規模クラスター発生防止に努める。

確保	■ 衛生管理委員会開催〔全12回〕 ■ 内部研修(感染症対策訓練・研修会)開催〔全3回〕 ■ 職員への感染予防啓発の取組み・予防意識の維持 ③ 事業継続計画(BCP)の運用と研修等の取組みにより、大規模災害等の緊急時におけるサービス提供体制を維持構築する。 ■ BCP(事業継続計画書)の内容の見直し・検討 ■ 訓練の実施、職員への周知
----	--

1.Ⅱ.新型コロナウイルス感染症対策に関する報告

新型コロナウイルス感染者数(令和6年4月～令和7年3月)

事業所	入所者	介護職員	看護職員	その他職員	合 計
小規模特養	0	6	1	3	10
グループホーム	0	1	0	0	1
介護付有料	0	2	0	0	2
デイサービス	0	0	0	0	0
居宅介護支援	0	0	0	0	0
合 計	0	9	1	3	13

① 感染対策 設備・備品

1. 衛生用品、防護具等の対策備品の管理 不織布マスクの配布継続
2. 抗原検査キットを必要に応じてスタッフに配布
3. 共用箇所への手指消毒用アルコールの設置

② 感染対策 環境整備

1. 各事業所および各ユニットのオゾン発生装置メンテナンス
2. 共用部分(手すり・ドアノブ等)の消毒(毎日定時に実施)
3. 定期的な換気

③ 事業所の対応

□入所部門(小規模特別養護老人ホーム・グループホーム・介護付有料老人ホーム)

1. 面会時の健康チェック・注意喚起の継続
2. 訪問理美容・訪問マッサージの再開
3. 実習生の受入時の健康チェック継続
4. 行事・イベント時の予防対策取組み

□短期入所(ショートステイ)

1. 受入時の健康状態確認継続 ※必要に応じ抗原検査実施

□通所介護(デイサービス)

1. 受入時の健康状態確認継続 ※必要に応じ抗原検査実施
2. 行事・イベント時の予防対策取組み

□居宅介護支援

1.各事業所・地域との連携継続

④ スタッフの対応

□日常生活での行動

1. 県内の感染状況等の周知・注意喚起を実施
2. スタンダードプリコーションの徹底

□体調管理

1. 毎日の健康チェックと出退勤時の検温実施
2. 体調不良時の報告、医療機関受診の励行
3. 勤務中における体調不良時の抗原検査実施

□施設内の移動等について

1. 通常時の移動制限等は無し
2. 会議・委員会活動・行事等は通常開催

2. 小規模特別養護老人ホーム(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

2-1 入所者の状況(令和7年3月31日現在)

【入所・退所状況】

待機者数(令和7年3月末現在 29名)

入 所			退 所		
男	女	計	男	女	計
2	13	15	4	11	15

【年齢構成】

	男	女	全体
入所者数	7	22	29
平均年齢	82.3	91.6	88.7
最高齢	97	102	-
最年少	57	84	-

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
介護1	0	1	1
介護2	0	0	0
介護3	2	3	5
介護4	3	10	13
介護5	2	8	10
平均	4.1	4.0	4.1

2-2 医療の状況

【入院状況】

月	実人数	延日数
4 月	0	0
5 月	2	16
6 月	1	16
7 月	2	33
8 月	1	7
9 月	1	3
10 月	3	65

月	実人数	延日数
11 月	6	79
12 月	2	28
1 月	2	4
2 月	4	35
3 月	5	73
合計	29	349
月平均	2.4	29

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	6	5
心疾患	0	0
脳梗塞	1	0
尿路感染	3	3
腸閉塞	0	1
骨折	0	0
食欲不振	0	0
肝機能低下	0	0
腎機能低下	0	0
その他	10	6
合計	20	15

【医療管理状況】

医療行為	今年度	前年度
胃ろう	3	3
在宅酸素療法	1	1
人工肛門	0	0
尿道留置カテーテル	3	3
インシュリン注射	0	0
痰の吸引(常時)	0	0
合計	7	7

※緊急搬送回数 0 回 (前年度 0 回)

2-3 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取 組 内 容
トータルケアの実践 多職種協働システム	≪全部門≫ ■ 「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」を活用したケアの実践。 ■ 多職種協同による「状態確認(ダブルチェック)」と「ケアの方法検討(カンファレンス)」の実践 ■ エビデンスに基づいたケアの実施(BPSD の悪化、誤嚥性肺炎、尿路感染等の予防) ■ ノーリフティングケアの取り組み、実践
イベント企画	≪全部門≫ ■ 感染予防対策を徹底した上でのイベント開催 ■ ブログ、インスタグラム等で施設活動や生活の様子を発信 ■ 感染状況に応じた面会の実施、地域、家族とのつながり
環境整備	≪全部門≫ ■ 居室担当制・備品整備・環境美化推進 ■ 季節感を感じる飾りつけ等の環境づくり

研修運営	≪全部門≫ ■ 年間計画に基づく各種研修の開催(感染対策に配慮した研修) ■ 基礎介護勉強会の開催 ■ 感染症・災害に係る業務継続のための研修・訓練
------	--

2-4 運営推進会議の状況

開催日等	内 容
第1回 令和6年5月29日 13:30～14:30 令和6年4月～令和6年5月報告 出席者 4名 職員8名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第2回 令和6年7月25日 13:30～14:30 令和6年6月～令和6年7月報告 出席者 5名 職員8名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第3回 令和6年9月24日 13:30～14:30 令和6年8月～令和6年9月報告 出席者 5名 職員7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第4回 令和6年11月29日 13:30～14:30 令和6年10月～令和6年11月報告 出席者 6名 職員7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第5回 令和7年1月21日 13:30～14:30 令和6年12月～令和7年1月報告 出席者 5名 職員7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第6回 令和7年3月14日 13:30～14:30 令和7年2月～令和7年3月報告 出席者 5名 職員5名	④ 活動状況報告 ⑤ 活動状況に関する評価 ⑥ 要望、助言等

≪総評≫

目標稼働率は目標 97.2%に対し実績 95.9%。総延べ入院(外泊)日数 353 日 平均要介護度 4.3

年間の平均要介護度はここ数年大きく変わらず重度化しており、また、基礎疾患を有する入居者が多い。令和6年度上半期は入院者が少なく、また、退所される方も少なかったが、下半期から入院者、退所者が増加した。下半期に退所者が増加したことで年間の入退所者もこれまでで最も多い 15 名であった。

新型コロナウイルス感染症については、感染予防対策を継続したことで、施設内の発生、拡大を防ぐことができ、入居者の皆様の制限も緩和することができた。施設内の交流や外出等の活動も予定通り行うことができ、季節を感じるができるイベント等を通じて楽しみを持って過ごしていただくことができるように努めた。

また、令和6年度からは介護記録システム、見守り機器(眠りSCAN)を導入し、ICT 推進を行った。今後も活用を進めることで、効率化のみならず、入居者の状態を把握・分析し、良質なケアを行うためのツールとして使用し、合わせて生産性向上、業務改善につなげていけるよう取り組みを継続していきたい。

3. ショートステイ（〔介護予防〕短期入所生活介護）

3-1 利用状況（令和7年3月31日現在）

【利用状況】

延べ人数	男	女	計
予防短期入所	13	6	19
短期入所	1132	2084	3216
合計	1145	2090	3235
平均利用者数	3.1	5.7	8.9

実人数	男	女	計
石井・浮穴・久谷	3	5	8
小野・久米	3	18	21
湯築・桑原・道後	1	2	3
生石・味生	0	0	0
味酒・清水	0	0	0
雄郡・新玉	1	0	1
垣生・余土	0	0	0
東・拓南	0	0	0
三津浜	0	1	1
東温市	1	1	2
西条市	1	0	1
姫路市	0	1	1
滋賀県	0	1	1
合計	10	29	39

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
要支援1	13	6	19
要支援2	0	0	0
要介護1	7	206	213
要介護2	83	490	573
要介護3	336	544	880
要介護4	706	388	1094
要介護5	0	456	456
平均介護度	3.5	3.2	3.3

《総評》

目標稼働率 85.0% に対し実績 88.6%。一日の平均利用者 8.8 名

コロナ禍以降、例年、新型コロナウイルス感染症の発生により利用受け入れを控えることがあったが、令和6年度は新型コロナウイルス感染症の発生なく、予定通りの利用をしていただくことができた。感染症の施設内感染発生は、サービス利用予定の利用者の方々

にも大きく影響するため、安心してサービスをご利用いただけるよう、今後も施設内での感染症予防対策に努めていきたい。

利用者の平均要介護度は 3.3 で比較的軽度な利用者も多いが、重度利用で長期利用後に特養に入居となった方も 3 名おられた。

今後もイベントの実施や活動等で生活に楽しみをもってもらいつつ、在宅生活をなるべく継続していただけるようなサービスを提供できるように、個別支援の充実を図り、家族、地域に安心して利用いただけるよう努めていきたい。

4. グループホーム（〔介護予防〕認知症対応型共同生活介護）

4-1 入居者の状況（令和 7 年 3 月 31 日現在）

【入居・退居状況】

待機者数（令和 7 年 3 月末現在 18 名）

入 所			退 所		
男	女	計	男	女	計
0	5	5	1	4	5

【年齢構成】

	男	女	全体
入居者数	1	17	18
平均年齢	92	90.1	90.2
最高齢	92	97	97
最年少	92	74	74

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
1	0	4	4
2	0	2	2
3	1	2	3
4	1	7	8
5	0	1	1
平均	3.5	3.2	3.6

4-2 医療の状況

【入院状況】

月	実人数	延日数	月	実人数	延日数
4 月	0	0	11 月	1	24
5 月	0	0	12 月	0	0
6 月	0	0	1 月	0	0
7 月	0	0	2 月	0	0
8 月	0	0	3 月	0	0
9 月	0	0	合計	2	45
10 月	1	21	月平均	0.16	3.75

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	0	2
心疾患	0	1
脳梗塞	0	0
腎機能低下	0	0
骨折	1	1
その他	0	3
合計	1	7

※緊急搬送回数 1 回（前年度 0 回）

4.-3 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取 組 内 容
トータルケアの実践 多職種協働システム	《全部門》 ■ 「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」を活用したケアの実践。 ■ シフトマニュアル(オペレーションシート)の作成。平常時の統一した業務内容の明確化を図り、入所者及びユニットの状況変化に応じた体制づくり。 ■ ケアスタッフと看護師との連携による重度化対応。
イベント企画	《全部門》 ■ 感染予防対策を実施した上でのイベント開催 ■ ブログ、インスタグラム等で施設活動や生活の様子を発信 ■ 感染対策に留意した上での面会の実施、地域、家族とのつながり
環境整備	《全部門》 ■ 居室担当制・備品整備・環境美化推進
研修運営	《全部門》 ■ 年間計画に基づく各種研修の開催 ■ 基礎介護勉強会の開催 ■ 感染症・災害に係る業務継続のための研修・訓練

4.-4 運営推進会議の状況

開催日等	内 容
第1回 令和6年5月29日 13:30～14:30 令和6年4月～令和6年5月報告 出席者 4名 職員 8名	1.活動状況報告 2.活動状況に関する評価 3.要望・助言等
第2回 令和6年7月25日 13:30～14:30 令和6年6月～令和6年7月報告 出席者 5名 職員 8名	1.活動状況報告 2.活動状況に関する評価 3.要望・助言等
第3回 令和6年9月24日 令和6年8月～令和6年9月報告 出席者 5名 職員 7名	1.活動状況報告 2.活動状況に関する評価 3.要望・助言等

第4回 令和6年11月29日 令和6年10月～令和6年11月報告 出席者 6名 職員7名	1.活動状況報告 2.活動状況に関する評価 3.要望・助言等
第5回 令和7年1月21日 令和6年12月～令和7年1月報告 出席者 5名 職員7名	1.活動状況報告 2.活動状況に関する評価 3.要望・助言等
第6回 令和7年3月14日 令和7年2月～令和7年3月報告 出席者 5名 職員5名	1.活動状況報告 2.活動状況に関する評価 3.要望・助言等

《総評》

目標稼働率 98%に対し実績 98.8%。総延べ入院(外泊)日数 45 日で、前年度と比べ入院日数が半分となった。認知症の進行や重度化化する中で、基本的なケアを丁寧に実践することを意識し、効果的な多職種連携のケアを目指してきた。

入所者の状況については、平均要介護度 2.6 (R7.3.31)と、重度の方も増えてきている。今後も、重度化対応や看取りについて、適切な対応ができるようスタッフの知識・技術の向上に努めていきたい。平均年齢は 90 歳と高齢であり、健康管理と丁寧なケアの実践を通して、重度化予防に努めた。

新型コロナウイルス感染症について、平時から感染予防に心がけた結果、施設内感染の発生を防ぐことができた。行事等の余暇活動も、予定通りに実施できた。ドライブ、おやつ作り、近所への散歩、施設内の池の鯉に餌をあげるなど、日々の生活の行動範囲も広げることができた。また、認知症の進行を予防するため、個々の利用者に対して、日々生活の中に楽しみを見つけることができるよう働きかけた。

今後も感染症対策を続けながら、個別支援の充実や、家族の協力も得られる働きかけに工夫し、その人らしい暮らしの提供を目指したい。

5. 介護付有料老人ホーム((介護予防)特定施設入居者生活介護)

5-1 入居者の状況(令和7年3月31日現在)

【入居・退居状況】

待機者数(令和7年3月31日現在 単身 23名 夫婦 3組 計 29名)

出身地 保険者	保険者別入居者数			令和5年度中の移動状況					
				入居			退居		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
松山市	5	21	26	2	5	7	2	6	8
東温市	0	0	0	0	0	0	0	2	2
砥部町	1	1	2	0	0	0	0	0	0
四国中央市	0	1	1	0	0	0	0	0	0
西条市	0	0	0	0	0	0	0	1	1
新居浜市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇和島市	0	1	1	0	1	1	0	0	0
久万高原町	0	1	1	0	1	1	0	0	0
大津市	1	1	2	1	1	2	0	0	0
合計	7	26	33	3	8	11	2	9	11

【年齢構成】

	男	女	全体
入所者数	7	26	33
平均年齢	92	92	92
最高齢	96	102	102
最年少	90	81	81

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
自立	0	0	0
要支援 1	0	2	2
要支援 2	1	3	4
要介護 1	2	6	8
2	1	7	8
3	3	6	9
4	0	2	2
5	0	0	0
平均	1.91	1.84	1.86

5.-2 医療の状況

【入院状況】

月	実人数	延日数
4 月	2	28
5 月	1	12
6 月	0	0
7 月	0	0
8 月	1	11
9 月	1	13
10 月	1	22

月	実人数	延日数
11 月	1	26
12 月	1	9
1 月	2	42
2 月	2	25
3 月	1	10
合計	13	198
月平均	1.08	16.5

【疾患名】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	4	6
心疾患(心不全等)	0	4
尿路感染	0	0
骨折	2	3
貧血(出血)	0	2
脳出血・脳梗塞	0	1
コロナウイルス感染症	0	7
带状疱疹	0	1
癌	0	1
蜂窩織炎	0	1
胆石	3	1
その他(痔、めまい、尿閉、ノロウイルス)	2	2
合計	11	29

【医療行為】

医療行為	今年度	前年度
胃ろう	0	0
在宅酸素療法	0	0
人工肛門	0	0
尿道留置カテーテル	0	0
インスリン注射	0	1
痰の吸引(常時)	0	0
尿路ストーマ	1	0
合計	1	1

緊急搬送回数 0 回 (前年度 1 回)

5.-3 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取 組 内 容
トータルケアの実践 多職種協働システム	《全部門》 ■ 食事・排泄・口腔のケアに重点をおき、丁寧なケアに努め、誤嚥性肺炎、尿路感染症予防を行った。 ■ BPSD の悪化につながる、身体の問題を見極めながら根拠あるケアを実践した。
イベント企画	《全部門》 ■ イベント開催 4 月(お花見散歩)(お花見弁当)(フラワーアレンジメント) 5 月(母の日お祝い会)(若葉昼食会) 6 月(新緑ドライブ)(父の日お祝い会)(102 歳お祝い会) 7 月(七夕飾り)(たらいそうめん)(愛媛ひとまち百景イラスト展示) 8 月(夏祭り) 9 月(敬老会)(100 歳お祝い会) 10 月(運動会)11 月(文化祭)(芋炊き)12 月(忘年会)(クリスマス会) 1 月(初詣)(新年会)(書初)2 月(節分)(ハレソング) 3 月(ひなまつり)(七折ドライブ) ■ 体操・散歩(毎日)、ピアノ音楽会(毎週)、誕生会・散歩表彰式・カラオケ(毎月)
環境整備	《全部門》 ■ 居室担当制・備品整備 ■ 大掃除(エアコン・窓・換気扇)6・12 月 ■ 各箇所の消毒、換気
研修運営	《全部門》 ■ 年間計画に基づく各種研修の開催(感染対策に配慮し開催) ■ 基礎介護勉強会の開催 ■ 感染症・災害に係る業務継続のための研修・訓練

《総評》

R6 目標稼働率 92.5%に対し実績 92.7% 総延入院日数 198 日(外泊は除く) 平均要介護度 1.86(R7.3.31)

入居者の高齢化及び重度化に伴う看取りや重介護への対応、また、軽度の入居者へのアクティビティの充実や精神面のフォローなど、職員は多種多様な技術や知識、観察力、コミュニケーション能力を求められる状況である。今後も健康管理と丁寧なケアを行い、多職種が連携することで、日々の変化を早期に発見し、穏やかに過ごして頂けるように努めていきたい。

生活の中に生きがいや季節を感じていただけるように、行事等を企画し行った。また、施設での生活の様子などを SNS 等で情報を発信することで、ご家族等にも安心していただけるよう取り組んだ。今後も入居者、ご家族に安心して生活いただける生活支援を目指していきたい。

6. デイサービス(地域密着型通所介護)

VI. デイサービス(介護予防通所サービス)

6.-1 利用者の状況(令和 7 年 3 月 31 日現在)

【利用状況】稼働日数 309 日

延べ人数	男	女	計
地域密着通所	0	3195	3195
介護予防通所	0	1326	1326
合 計	0	4521	4521
1 日の平均利用者数	0	14.6	14.6

登録者人数	男	女	計
石井・久谷	0	6	6
小野・久米	0	43(2)	43(2)
桑原・道後	0	1	1
雄郡	0	0	0
東拓南	0	0	0
合計	0	50(2)	50(2)

※)()…中止者を含む

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
要支援 1	0	608	608
要支援 2	0	718	718
要介護 1	0	2199	2199
2	0	730	730
3	0	141	141
4	0	104	104
5	0	21	21
平均介護度	0	1.1	1.1

6-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取 組 内 容
個別ケアの実施	①人生 100 年時代を人が人らしく自立して生活をしていくために、環境や要因を考察しながら個別ケアの充実を図る。 ■体力測定を実施し、結果の報告(家族及びケアマネジャー) ■体力測定結果や起居動作の状況に合わせた、マシントレーニング等の見直し ■LIFE の活用 ②HOL(happiness of life)の提供を目指して、レクリエーション等アクティビティの充実を図る。 ■参加型レクリエーション ③7つの基本動作を踏まえた上でのマシントレーニング、レッドコードを含む個別機能訓練を充実させる。 ■利用者の状態・状況に合わせたマシントレーニング等のメニューの設定 ■トレーニング成果の報告(見える化)による継続の働きかけ
地域との交流	①地域と連携し、地域包括ケアの促進を目指す。 ■地域連絡会への参加 ②感染予防対策を徹底しながら、できる範囲での行事・イベント活動を実施する。また、地域の高齢者向けの情報発信を行う。 ■レクだよりでの情報発信。
職員研修	①デイサービスにおける専門業務(マシン・レッドコード技能、送迎業務など)について継続研修を行う。 ②施設内・外研修に参加し、基礎介護とサービスの質の向上を目指す。 ■松山市主催の事業者説明会への参加

	■年間計画に基づく各種研修の開催
安定運営の確保	①長期入院や他サービスとの併用による利用率の状況を把握し、介護支援専門員と連携をとりながら調整を行う。 ② プログラムの見直し等を行うことで利用者の満足度高め、利用者の増加、利用回数の増加に繋げ、運営の安定化を図る。 ③ 新規登録者の安定獲得を目指すため、定期的に情報を発信するとともに、居宅と密に連絡を取り、営業活動に取り組む。

6.-3 運営推進会議の状況

開催日等	内 容
第1回 令和6年9月24日 令和6年4月～令和6年9月報告 参加者 7名 第2回 令和7年3月14日 令和7年10月～令和7年3月報告 参加者 7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等

6.-4 その他の状況

内 容	件数	備 考
苦情解決件数	0件	
事故報告件数	4件	投薬ミス 1件 物との接触 2件 離設 1件
ヒヤリハット件数	3件	バイタル測定忘れ 1件 転倒未遂 1件 サポーター付け忘れによるマシントレーニング 1件

《総評》

稼働目標 80%に対し実績 81.4%、前年の実績を約 7%上回る実績となった。

新規利用者獲得、また利用継続のために、レクリエーションやサービス内容のマンネリ化を防ぐように努めた。それと共に関係機関への定期的な情報発信、情報共有を積極的に行うことで、利用体験者及び新規利用者の獲得に取り組み、利用中の方の情報を定期的に報告することで、信頼関係の構築を図った。今後もこの活動を継続し、デイサービスのより良い事業運営を目指していきたいと思う。

また、利用者の楽しめるサービス、元気につながるサービスの提供に努め、住み慣れた地域で安心して生活を続けていけるようサービスを充実していきたい。

7. 居宅介護支援事業所(居宅介護支援)

7-1 利用者の状況(令和7年3月31日現在)

【利用状況】 居宅サービス担当月間人数 予防 20 件 介護 53 件

利 用 者	予 防		介 護	
	男	女	男	女
小野・久米	4	14	6	29
石井・浮穴・久谷	0	0	3	3
湯築・桑原・道後	0	0	1	2
味酒・清水	0	0	1	1
生石・味生	0	1	0	0
三津浜	0	0	0	1
東温市	0	1	2	4
計	4	16	13	40
	20		53	

【要介護度別利用人数】

要介護度	男	女	計
要支援 1	3	10	13
要支援 2	1	6	7
要介護 1	6	18	24
2	3	7	10
3	1	10	11
4	2	3	5
5	0	3	3
計	16	57	73

7-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容の振り返り
在宅生活の維持	① アセスメントシートを活用し、自宅で安心して生活できるためのトータルケアを、サービス事業所と協働で行うよう努め、居宅からも連絡し、密に連携がとれる環境を作るよう関わった。 ② 本人だけでなく家族の意見も聞き、より良い支援は何かを探求しながら対応した。また、双方の意見の食い違いや考え方の違いについて円満に解決できるようこころがけた。 ③ 外部研修も進んで取り組むことができた。社会資源調査を行うことでより地域の様子を理解でき、今後のマネジメント、地域で暮らすことの意義を考えていきたい。
資質向上	① 事業所内・外の研修に参加し、在宅生活に必要な知識向上を目指すことができた。医療知識の理解や薬の効果・副作用など不十分な点を向上させたい。 ② トータルケア研修の参加、日頃から職員同士話し合いを持ち、根拠に基づいたケアができるよう取り組んだ。 ③ 電子機器の活用を勧めるよう働きかけた。

地域活動への参加	① 民生委員との交流会に参加し親交を深めた。 ② ふらりカフェのメンバーになり地域の理解や関わりを持つことができた。
安定運営の確保	① 秋から冬にかけての利用人数低下傾向であったが、3月には持ち直している。前年と比べ、重度者が増えており、より丁寧な支援が求められる状況になっている。円滑な施設入所につながる事案もおおくなつた。 ② 職員間の連携を取り業務がスムーズに行われるよう取り組んだ。困難なことや答えが明確ではないことに対して話し合いを持ち、問題解決の方向性や将来の見込みを付けることで現状の改善に努めた。 ③ 法人全体の状況を理解し、居宅として何ができるか、協働を考えた行動を心がけた。

7-3 その他の状況

内 容	件数	備 考
苦情解決件数	0 件	
事故報告件数	0 件	

《総評》

令和 6 年 4 月利用者数 75 名をピークに徐々に低下傾向になっていた。急な施設入所や入院等があり、利用人数減少傾向であったが、令和 7 年 3 月に 73 名となり持ち直す。また、重度の利用者への支援も増えており、バランスよく稼働できていると考える。これからも月利用者 70 名以上を目標に支援を行っていききたい。

令和 7 年 1 月にケアプラン点検があり住宅型高齢者施設入所の方のケアプランを提出指示があり対応する。現在の、支援の見直しや課題分析のチェック、介護保険のサービスだけでなく、施設内でのサービス内容の記入など指摘を受けた。事業所として、視点を細かく見ていくとともに、俯瞰的な見方の必要性も必要である。ケアプラン等書類に適切な起債に心掛けたい。

新人職員が 10 月入職したがすぐに退職となった。介護支援専門員は状況を見極め一人で判断して動く仕事である。ある程度の判断力や理解力が必要になる。今後、次に引き継ぐことも考えながら業務を行っていききたい。居宅介護支援事業所として安定した仕事が継続できるよう今後も話し合いながら業務を励めていきたい。

8. 各部門報告(委員会活動を含む)

8-1 防災・防犯活動

訓練項目	開催日時	参加者	内 容
消防訓練 (消火・通報・避難)	令和 6 年 10 月 8 日 14:00～15:00	140 名	松山市南消防署東部支署職員及び ALSOK 警備員の派遣あり、全員参加にて 1F 厨房より出火(火災)を想定した消火・通報・避難訓練を行った。
地震訓練 (シェイクアウトえひめ)	令和 6 年 12 月 17 日 11:00～11:10	140 名	シェイクアウトえひめに参加、在館者が一斉に安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かないを 1 分間」を行った。
水害訓練・消火器訓練	令和 6 年 12 月 17 日 11:10～11:30	職員 10 名	床上浸水が発生したと想定し訓練を実施。避難誘導と備蓄確認を行った。また、併せて消火器・屋内散水栓の場所・使用方法と避難経路の確認を行った。
夜間火災想定訓練 (通報・非常招集)	令和 6 年 12 月 17 日 19:30～20:00	職員 50 名	夜間火災想定での通報及び非常招集訓練を行った。
防犯訓練	令和 7 年 2 月 26 日 14:00～15:00	職員 14 名 聖カ大学生 4 名	松山南警察署職員の協力のもと、防犯に関する講話、さすまたの使用方法などの訓練を行った。

8-2 感染症対策

① 衛生管理委員会の開催(1回/月)

法人合同衛生委員会開催(令和6年9月)

② 職員研修の実施

○感染症について

実施月	内 容	参加者	研修内容	備 考
6 月	食中毒勉強会	21 名	食中毒の予防について、普段の業務で注意すること	資料全職員配布
6 月	感染症対策訓練	21 名	防護具着脱訓練	
7 月	感染症対策研修	1 名	「感染症対策机上訓練」参加※保健所主催	衛生管理者
1 月	感染症対策勉強会	19 名	手洗い、手指消毒について	資料全職員配布

○メンタルヘルスについて

実施月	内 容	参加者	内 容	備 考
7 月	職員面談	7 名	こころ塾専任カウンセラーによる個別面談	
9 月	ストレスチェック	74 名	全職員に対してストレスチェックを実施	
3 月	メンタルヘルス研修	18 名	「ストレス対処法」(楽しくセルフケア)	こころ塾講師
3 月	相談体験会	8 名	こころ塾専任カウンセラーによる個別面談	

令和6年度も1年を通して、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行が続いていたため、感染の動向や対策については、朝礼、運営会議、衛生管理・感染症防止委員会、各事業所のユニット会にて、情報共有・注意喚起を行った。また、昨年へ続き、感染症対策研修や訓練を実施することができた。

メンタルヘルスについては、職員対象のストレスチェックは例年通り実施。高ストレス者は74名中14名と、全体の18.9%であり、昨年の12.3%を上回った。項目別の結果では、精神的には比較的安定しているが、気持ちが沈み、疲れが蓄積している状況、上司からのサポートはあるが同僚や家族からのサポートが少ない状況などが、目立っていた。7月以降、人員不足が続いており、その影響もあったと思われる。

3月には、こころ塾主催のメンタルヘルス研修を実施し、ストレス対処法について学ぶ良い機会となった。また、今年度より、主任以上を対象とした、こころ塾産業カウンセラーによる相談体験会を実施。実際にカウンセリングを受けることで、管理職業務を遂行する上でのコミュニケーション能力の向上や、自身のスキルアップに繋げる、良い機会となったと思われる。その他、メンタルヘルスについて対応が必要なケースについては、個別に外部委託機関(こころ塾)を活用するよう働きかけを行った。

③ 感染症報告

<インフルエンザ>

11月12日より利用者、施設職員に対するワクチン接種を実施。数名の感染はあったが、新型コロナウイルス感染症対策の継続効果もあり、施設内での感染拡大は認めなかった。

	利 用 者					職 員				
	GH	特養	SS	有料	他	GH	特養	SS	有料	他
A 型	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1
B 型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1

※GH(グループホーム) SS(ショートステイ)

<新型コロナウイルス感染症>

新型コロナウイルス感染症ワクチンの施設内集団接種を希望する利用者に対して、12 月 10 日にワクチン接種実施。当施設では入所者の新型コロナウイルス感染はなし。職員については、合計 13 名の感染事例があったものの、いずれも単発の感染にとどまり、事業所内で感染拡大することはなかった。(集団感染なし)

<その他>

感染性胃腸炎など、施設内での他の感染症の発症は認めなかった。

<まとめ>

前年に続き、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行がみられ、近隣の病院や施設では集団感染事例も多く聞かれた。当施設においては、今年度も、国・県内の感染状況を確認しながら標準予防策を徹底し、施設内の感染拡大を予防することができた。重症化リスクの高い高齢者が、施設で安心して穏やかに日常生活を続けることができるよう、今後も感染対策研修を実施し、各職員が感染症についての正しい知識と技術を身に付け、継続して感染回避行動や感染予防対策を徹底できるよう努めていきたい。また、職員が日々のストレスと上手く向き合い、モチベーションを維持しながら、心身ともに健康に業務に携わることができるよう、職員に対する取り組みについても検討していきたい。

8.-3 褥瘡対策

① 褥瘡対策委員会の開催(毎月) ※褥瘡発症者 1 名

毎月入居者の褥瘡発症予備軍を抽出し対応を検討している。

表皮剥離などステージが軽い時期に早期の対応を行うことで、重症化することなく治癒できている。また、個人の肌質にあった保湿に努めながら、症状改善に至らない場合は皮膚科への相談、受診を行っている。

8.-4 権利擁護・苦情解決

① 権利擁護苦情相談委員会の開催

令和 6 年 8 月 28 日(ガリラヤ荘合同) 出席者:第三者委員 3 名、職員 10 名

令和 5 年度苦情件数 グループホーム1件

8.-5 身体拘束・高齢者虐待対策

① 身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会の開催(年 4 回)

身体拘束件数 0 件 高齢者虐待件数 1 件

毎月チェックリストを用いて、日常のケアの中において、不適切ケアや行動を制限する目的で実施された行為がないかを確認した。また、各事業所の会議においても、委員会の開催や年 4 回の研修にて、身体拘束適正化、高齢者虐待防止の意識づけを行った。施設全体での委員会は年 4 回開催(内 1 回は書面開催)し事例検討等行い情報共有を図った。

R6.8.13 18:30 介護付有料にて入居者 O 様に対して介護職 A の暴力行為を確認する。内容は頭頂部を拳で叩いてしまい

皮下出血(たんこぶ)ができる。病院受診し頭部 CT 検査を行うが異常なし。家族へ状況報告と謝罪を行い、直接家族と面談し謝罪する。保険者に電話にて報告を行い、後日事故報告書を提出する。

全職員へ周知及び再度徹底を目的に虐待防止に関する研修を2回追加実施した。また、施設長において各ユニット・各事業所の会議にて状況報告及び虐待防止について話を行い、再発防止の取組みを実施した。

8-6 栄養対策

① 給食委員会の開催(書面開催)

残食調査を毎食実施し、残食の多い献立は提供頻度を減らすほか、食べやすいように調理法や味付けに工夫している。また、各事業所からの意見聴取、各要望にも可能な限り対応し、利用者により一層満足していただける食事提供に努めた。

8-7 事故対策

① 安全委員会の開催(年4回)

委員会内においてヒヤリハットや事故の事例検討を行い、情報、対応方法の共有、検討に努め、ケア方法の見直しや環境整備を行った。また、入所者(入居者)の状態・状況が事業所によって異なるため事業所別に介護事故を集計、分析し検討を行った。それぞれにおいて重点的に注意すべき事故の考察、対策を行うことで事故の発生予防に努めた。今後も事故検討や集計、分析を行い、対策の実施、評価、再検討を行うことで、介護過誤の発生予防に努めたい。

② 事故・ヒヤリハット報告

今年度の事故・ヒヤリハットについて、それぞれの集計結果を報告する。なお、事故報告は、ヒヤリハットを除く全ての事故報告を集計している。

I. 月別発生件数(事業所別)

月	グループホーム	小規模特養	短期入所	介護付有料	計
4月	11	15	6	20	52
5月	15	24	3	15	57
6月	19	29	4	15	67
7月	12	16	3	18	49
8月	10	18	5	15	48
9月	18	11	1	18	48
10月	22	10	1	18	51
11月	14	10	6	17	47
12月	20	14	4	10	48
1月	18	9	8	19	54
2月	18	11	13	17	59
3月	12	20	13	11	56
総計	189	187	67	193	636

Ⅱ. 症状別件数

事故内容	件 数
皮下出血	264
異常なし	207
剥離	45
擦過傷	37
切創・裂傷	21
発赤	5
骨折	4
腫脹	3
誤嚥	3
その他	47
総計	636

Ⅲ. 状況別件数

事故内容	件 数
不明 ※1	136
転倒	95
服薬ミス(落薬等)	51
掻き壊し	50
打撲	50
転落	46
服薬ミス(服薬忘れ等)※2	33
対人トラブル	8
誤薬(取り違い)	5
異食	4
座り込み	3
その他	155
総計	636

※1 不明は皮下出血の発生原因が不明等を含む

※2 服薬忘れはその後服薬した場合を含む

Ⅳ. ヒヤリハット件数

内 容	件 数
転倒未遂	131
対人トラブル未遂	49
転落未遂	40
服薬ミス未遂 ※	34
設備・環境の不具合	15
異食未遂	9
誤嚥未遂	5
食事提供ミス未遂	2
他	106
総計	391

※服薬ミス未遂は服薬ミスになりかけたが、未然に防いだ場合等

事業所別	転倒 (未遂)	転落 (未遂)	服薬 (未遂)		対人トラ ブル(未 遂)	誤嚥 (未遂)	設備環境 の不具合	異食 (未遂)
小規模特養	2	2	3		0	1	7	0
ショートステイ	42	7	3		0	1	6	2
グループホーム	20	12	7		0	0	2	1
介護付有料	67	19	21		49	3	0	6

事業所別	食事提供 ミス(未遂)	他	計
小規模特養	0	6	21
ショートステイ	1	11	73
グループホーム	0	46	88
介護付有料	1	43	209
総計	3	95	391

V. 受診及び市事故報告提出の内訳

事業所	発生日	内容	受診	市報告	受診結果	入院の有無
短期入所	7/15	転落	7/19	7/22	圧迫骨折	なし
短期入所	7/20	転倒	7/20	7/22	踵部不全骨折	なし
介護付有料	8/13	職員の違法 行為、不祥事	8/14	8/14	皮下出血	なし
介護付有料	9/20	転倒	9/20	9/20	右手首骨折	なし
介護付有料	9/26	転倒	9/26	9/27	右側の肋骨2ヶ所骨折	なし
グループホーム	10/9	転倒	10/10	10/13	左大腿骨頸部骨折	あり
小規模特養	10/14	胃ろうチュー ーブ抜去	10/15	10/15	胃ろうチューブ再挿 入	なし
グループホーム	11/12	転倒	11/12	11/13	後頭部3～4cm 裂創	なし
介護付有料	12/21	転倒	12/21	12/23	腰3番目圧迫骨折疑い	なし
介護付有料	12/22	転倒、転落	12/23	12/25	腰3番目圧迫骨折	あり
小規模特養	12/26	胃ろうチュー ーブ抜去	12/27	12/27	胃ろうチューブ再挿 入	なし
短期入所	1/16	転倒	1/17	1/17	下腿裂傷箇所の処 置	なし
小規模特養	2/10	転落	2/10	2/13	前額部裂傷部位縫 合	なし
小規模特養	3/20	胃ろうチュー ーブ抜去	3/20	3/20	胃ろうチューブ再挿 入	なし

(考察)

ヒヤリハット件数は前年度の349件から391件に増加。内訳として、前年度に対人トラブルが一旦減少したものの再度増加し49件となっている。その他、転倒未遂の報告も増加している。

事故報告件数は前年度611件から636件と微増。特に皮下出血(内出血)や剥離、擦過傷等の皮膚トラブルが多い。皮下出血に関しては、これまでは転倒や転落等と同じく皮下出血そのものを事故状況として取り扱っていたが、「転倒、打撲による皮下出血」等、皮下出血そのものが事故状況ではなく、事故による結果(症状)として皮下出血が起こっていることから症状として分類した。その結果、636件の症状のうち3分の1程度は異常なし。58%が何らかの皮膚トラブルであることが分かった。また、皮膚トラブルのうち50件はご本人によるかき壊し、136件は原因が不明の皮膚トラブルであった。皮膚トラブルに関しては、皮膚科相談や知覚異常に対する内科的な疾患、血液凝固阻止剤、保湿等にも留意しているが、同一利用者による発生や微小の皮下出血

もあり件数としては数が多くなっている。

事故状況として多いのは転倒、次いで服薬ミスとなっている。転倒は前年度より減少しているが、服薬ミスは増加している。服薬ミスでは、薬が落ちている状況を見つけた(落薬)や口の中に薬が残っていた等の状況もあり、飲み込むまでの確認を確実にすることに努めていきたい。

今後も事故防止委員会での事例検討会および個別事例でのケース検討、全体状況での対応検討を行うことで、事故防止に努めたい。

9. 行事・施設内研修・実習等受入の状況

	全体行事等	各事業所行事	実習等受入
4	入職式 介護記録システム導入 ミニふらりカフェ 運営推進会議(H5 年度 6 回分)	[特]お花見昼食会/花見散歩 久米地区春祭り出張相談 [GH]フラワーアレンジメント [有]お花見散歩/お花見弁当/フラワーアレンジメント	
5	町内清掃(久米地区) 運営推進会議 消防設備点検 ふらりカフェ	[特]若葉昼食会/母の日お祝い [GH]ドライブ/おやつ作り [有]母の日お祝い会/若葉昼食会	河原医療福祉専門学校(介護福祉科) 松山学院高等学校(福祉科) 河原医療大学校(看護学科)
6	職員会 松山学院高校花の日訪問 人事考課(夏期) ミニふらりカフェ	[特]父の日お祝い(手作りおやつ)/あじさいを見に行こう/103 歳お祝い会 [GH]運動会 [有]新緑ドライブ/父の日お祝い会 102 歳お祝い会	河原医療福祉専門学校(介護福祉科)
7	運営推進会議 愛媛ひとまち百景イラスト展示 メンタルヘルス面談(こころ塾) ミニふらりカフェ	[特]七夕飾り作り/そうめん [GH]おやつ作り/スイカ割り [有]七夕飾り/たらいそうめん/愛媛ひとまち百景イラスト展示	東温高等学校(普通科) 河原医療福祉専門学校(高校生オープンキャンパス)
8	愛媛ひとまち百景イラスト展示 ストレスチェック 松山市運営指導(GH・DS) ミニふらりカフェ	[特]すいか割り/夏祭り [GH]夏祭り [有]夏祭り [DS]夏祭り	愛媛県立医療技術大学実習(看護学科) 人間環境大学(看護科) 松山学院高等学校(福祉科)
9	運営推進会議 入居者レントゲン検査 松山市指導検査(介護付有料) ふらりカフェ 職員会	[特]敬老会/お月見団子作り [GH]敬老会 [有]敬老会/100 歳お祝い会	久米中学校職場体験 松山学院高等学校(福祉科)
10	消防訓練(総合) 地方祭(神輿) ミニふらりカフェ	[特]ミニ運動会/コスモスドライブ [GH]]フラワーアレンジメント/ドライブ [有]運動会	松山学院高等学校(福祉科) 聖カタリナ大学(看護学科) 河原医療福祉専門学校(高校生見学)

11	運営推進会議 ミニふらりカフェ インフルエンザ予防接種 (入居者・職員) 地域密着型サービス外部評価(GH) 消防設備点検 嘉南薬理大学見学受入	[特]クリスマス飾りつけ/映画鑑賞/芋炊き [GH]おやつ作り/干し柿作り [有]文化祭/芋炊き	聖カタリナ大学(看護学科)
12	職員会 人事考課(冬期) 地震訓練(シェイクアウトえひめ) 水害訓練・消火器訓練/夜間想定訓練 大掃除 餅つき ふらりカフェ	[特]忘年会/クリスマス会/白寿祝い [GH]忘年会/クリスマス会 [有]忘年会/クリスマス会	
1	運営推進会議 ミニふらりカフェ	[特]初詣に行こう/新年会 [GH]新年会/新春茶会/初詣 [有]初詣/新年会/書初	聖カタリナ大学(看護学科)
2	防犯訓練(松山南警察署) ミニふらりカフェ	[特]豆まき/バレンタイン/101歳祝い [GH]節分豆まき/バレンタイン手作りおやつ [有]節分/バレンタイン	聖カタリナ大学(看護学科) 職場体験実習(愛媛県社会福祉協議会)
3	職員会 ふらりカフェ 技能実習生増員(フィリピン2名) 運営推進会議 桜谷福祉会見学受入(赤穂市) 相談体験会(こころ塾)	[特]ひなまつり会/ホワイトデー/菜の花ドライブ [GH]ひなまつり/ドライブ [有]ひなまつり/七折ドライブ	聖カタリナ大学(看護学科)
他	通年		委員会活動
	各事業所での誕生日会(昼食会) 各事業所でのイベント食(昼食会) おやつ・お茶の時間 レクリエーション(散歩・体操・音楽・風船バレーなど) 訪問理美容(3か所) 訪問マッサージ(随時) 訪問歯科診療(随時) 医師の回診 嘱託医2名 訪問販売(とくし丸、パン)		運営委員会 安全(事故防止)委員会 衛生管理委員会 身体拘束廃止委員会 高齢者虐待防止委員会 給食委員会 権利擁護・苦情相談委員会 入所判定委員会 各事業所スタッフ会議
	ボランティア等		
	[個人:定期]	[団体:定期]	[個人:随時] 河原医療福祉専門学校生
			[団体:随時]

10. 施設内、施設外研修の状況

【施設内研修】

月	研 修 名	参加人数	月	研 修 名	参加人数
4	介護システム(絆Core)操作説明会①	21 名	9	第 3 回身体拘束虐待防止研修	14 名
	介護システム(絆Core)操作説明会①	30 名		第 4 回身体拘束虐待防止研修	20 名
	介護システム(絆Core)操作説明会①	12 名	1	褥瘡勉強会	17 名
	全国先端ケア研究会(2 日間)	13 名		看取り(死生観)研修	19 名
5	第 1 回身体拘束虐待防止研修	22 名	2	感染症対策研修/訓練	19 名
	基礎介護(移乗・入浴研修)	16 名		防犯訓練	16 名
6	衛生管理:食中毒	21 名		メンタルヘルス研修	18 名
	基礎介護(食事研修)	10 名	3	第 2 回リスクマネジメント研修	28 名
	高齢者ケア研究会リーダー研修会	12 名		緊急時対応研修	28 名
7	第 1 回リスクマネジメント研修	書面開催		バーセルインデックス研修	12 名
8	第 2 回身体拘束虐待防止研修	19 名			

【施設外研修】

	小規模特養/ショートステイ		介護付有料		グループホーム	
研修項目	件数	人数	件数	人数	件数	人数
介護	6	14	3	4	3	10
防災・防犯	0	0	0	0	0	0
人材育成・マネジメント	2	8	1	4	1	2
専門(スキル向上・資格等)	6	32	4	14	1	2
人事・労務管理	1	1	0	0	0	0
その他	5	6	2	2	0	0
小 計	20	61	10	24	5	14

	デイサービス		居宅介護支援		合 計	
研修項目	件数	人数	件数	人数	件数計	人数計
介護	0	0	1	1	13	29
防災・防犯	0	0	1	2	1	2
人材育成・マネジメント	0	0	0	0	4	14
専門(スキル向上・資格等)	2	2	8	16	21	66
人事・労務管理	0	0	0	0	1	1
その他	1	1	0	0	8	9
小 計	3	3	10	19	48	121

11. 職員の状況

部門等	前年度末	令和6年度当初			令和6年度中の状況			令和6年度末	常勤換算
		入職 (4.1付)	異動 (4.1付)	職員計	入職	異動	退職		
特養/短期	39	1	-1	39	1	1/-2	3	36	32.2
(介護職)	24	1	-1	24	0	1/-2	1	22	21.2
(看護職)	4	0	0	4	0	0		4	3.5
(その他)	11	0	0	11	1	0	2	10	7.5
介護付有料	19	0	0	19	3	1	3	20	16.8
(介護職)	15	0	0	15	3	1	3	16	13.4
(看護職)	2	0	0	2	0	0	0	2	2
(その他)	2	0	0	2	0	0	0	2	1.4
グループホーム	12	0	1	13	2	1/-1	3	12	13.2
デイサービス	7	1	0	8	2	0	2	8	6.6
居 宅	2	0	0	2	1	0	1	2	2
計	79	2	1/-1	81	9	3/-3	12	78	70.8

医師等嘱託契約者の数は含めず【医師2名、歯科衛生士1名、作業療法士2名(デイ/特養/介護付有料)】

12. サービス別 利用状況一覧

小規模特別養護老人ホーム				定員29名・3ユニット（ユニット定員10名（1ユニットのみ9名））										
項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
総計	平均介護度	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.0	4.28
	延べ利用人数	870	881	844	861	889	863	835	783	836	892	773	819	10,146
	平均利用人数/1日	29.00	28.42	28.13	27.77	28.68	28.77	26.94	26.10	26.97	28.77	27.61	26.42	27.8
	稼働率	100.0%	98.0%	97.0%	95.8%	98.9%	99.2%	92.9%	90.0%	93.0%	99.2%	95.2%	91.1%	95.9%

ショートステイ			定員10名・1ユニット（ユニット定員10名）											
項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護	利用実人数	34	32	31	32	30	27	33	29	31	31	26	29	30.4
	利用延べ人数計	264	283	261	268	278	253	273	271	277	243	252	293	3,216
	平均介護度	3.10	2.90	3.10	3.10	3.10	3.40	3.60	3.60	3.50	3.50	3.50	3.40	3.32
	平均利用人数/1日	8.80	9.13	8.70	8.65	8.97	8.43	8.81	9.03	8.94	7.84	9.00	9.45	8.81
要支援	利用実人数	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0.42
	利用延べ人数	0	2	0	4	0	0	0	0	5	4	0	4	19
	平均介護度	0	0.4	0	0.4	0	0	0	0	0.4	0.4	0	0.4	0.17
	平均利用人数/1日	0.00	0.06	0.00	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.16	0.00	0.00	0.13	0.04
総計	平均介護度	3.10	2.90	3.10	3.10	3.10	3.40	3.60	3.60	3.40	3.40	3.50	3.30	3.29
	延べ利用人数	264	285	261	272	278	253	273	271	282	247	252	297	3,235
	平均利用人数/1日	8.80	9.19	8.70	8.77	8.97	8.43	8.81	9.03	9.10	7.97	9.00	9.58	8.9
	稼働率	88.0%	91.9%	87.0%	87.7%	89.7%	84.3%	88.1%	90.3%	91.0%	79.7%	90.0%	95.8%	88.6%

グループホーム

定員18名・2ユニット(ユニット定員9名)

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
総計	平均介護度	3.10	3.10	3.10	3.10	3.10	3.00	2.90	2.70	2.70	2.60	2.60	2.88
	延べ利用人数	540	558	540	558	549	539	529	516	558	548	496	6,489
	平均利用人数/1日	18.00	18.00	18.00	18.00	17.71	17.97	17.06	17.20	18.00	17.68	17.71	17.8
	稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.4%	99.8%	94.8%	95.6%	100.0%	98.2%	98.4%	98.8%

介護付有料老人ホーム

定員35名・30室(うち2人部屋5室)

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
総計	平均介護度	2.00	1.90	1.90	2.00	1.90	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.86
	延べ利用人数	950	930	948	1038	1017	1002	1033	995	1026	999	901	11836
	平均利用人数/1日	31.67	30.00	31.60	33.48	32.81	33.40	33.32	33.17	33.10	32.23	32.18	32.43
	稼働率	93.1%	88.2%	92.9%	98.5%	96.5%	98.2%	98.0%	97.5%	97.3%	94.8%	94.6%	95.4%

デイサービス

利用定員18名

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数	26	27	25	27	26	25	27	26	25	25	24	26	309
要介護	利用実人数	28	25	27	25	25	27	27	26	27	28	28	27
	利用延べ人数	268	262	248	258	241	260	286	280	270	273	265	3,196
	平均介護度	1.40	1.40	1.40	1.40	1.30	1.40	1.50	1.50	1.50	1.50	1.40	1.43
	平均利用人数/1日	10.31	9.70	9.92	9.56	9.27	10.40	10.59	10.77	10.80	10.92	11.04	10.35
要支援	利用実人数	21	20	20	22	21	21	22	20	21	21	20	20.7
	利用延べ人数	113	107	95	126	107	109	121	113	111	113	103	1326
	平均介護度	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
	平均利用人数/1日	4.35	3.96	3.80	4.67	4.12	4.36	4.48	4.35	4.44	4.52	4.29	4.29
総計	平均介護度	1.10	1.10	1.10	1.00	1.00	1.10	1.20	1.20	1.20	1.20	1.10	1.12
	利用延べ人数	381	369	343	384	348	369	407	393	381	386	368	4,522
	平均利用人数/1日	14.65	13.67	13.72	14.22	13.38	14.76	15.07	15.12	15.24	15.44	15.33	14.64
	稼働率	81.4%	75.9%	76.2%	79.0%	74.4%	82.0%	83.7%	84.0%	84.7%	85.8%	85.2%	81.4%

居宅介護支援事業所

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
介護支援専門員数	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	2	2.3
要介護	介護 利用人数	62	59	55	56	55	56	52	53	53	47	49	54.1
	介護 稼働率	88.6%	84.3%	78.6%	80.0%	78.6%	80.0%	74.3%	75.7%	75.7%	67.1%	70.0%	77.3%
要支援	予防 利用人数	15	14	14	14	12	13	15	16	16	16	20	15.2
	予防 稼働率	93.8%	87.5%	87.5%	87.5%	75.0%	81.3%	93.8%	100.0%	100.0%	100.0%	106.3%	94.79%
総計	介護+予防 利用人数	77	73	69	70	67	69	67	69	69	63	66	69.0
	介護+予防 稼働率	89.5%	84.9%	80.2%	81.4%	77.9%	80.2%	77.9%	80.2%	80.2%	73.3%	76.7%	80.5%
新規利用人数		0	0	0	0	0	1	1	3	2	0	3	1.3
営業訪問先		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6.0